

平成 29 年度
磯子区民意識調査報告書

横浜市磯子区役所

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	普段の生活について	11
3	地域への愛着や、地域での活動について	32
4	生活環境全般に対する満足度・重要度について	55
5	商店街について	85
6	災害対策について	86
7	あなたの健康づくりについて	94
8	その他（自由意見について）	99

I 調査の概要

1 調査の目的

磯子区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区の行政運営の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的に、区民の日常生活に関わる様々な事項について調査を実施しました。

2 調査対象

磯子区在住の18歳以上の方々の中から無作為抽出

3 調査期間

平成29年6月16日から平成29年6月30日

4 調査方法

郵送による配布・回収
無記名、選択式（一部記入式）

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,500通	1,299通	37.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・一部の設問については、平成27年度に実施した磯子区民意識調査と比較した調査結果を掲載しています。また、平成29年度に実施した横浜市民意識調査（横浜市民政策局実施）の結果との比較が可能な設問についても、同様に比較した調査結果を掲載しています。

調査実施機関

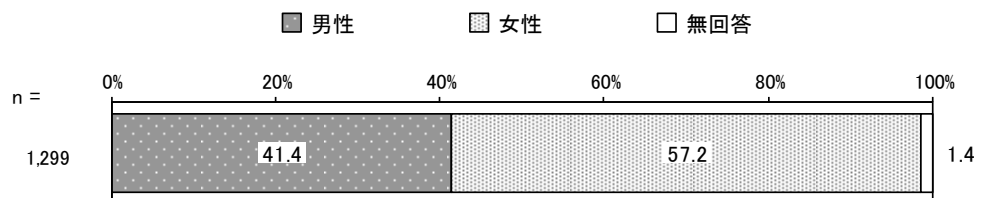
株式会社 名豊

II 調査結果

1 回答者属性

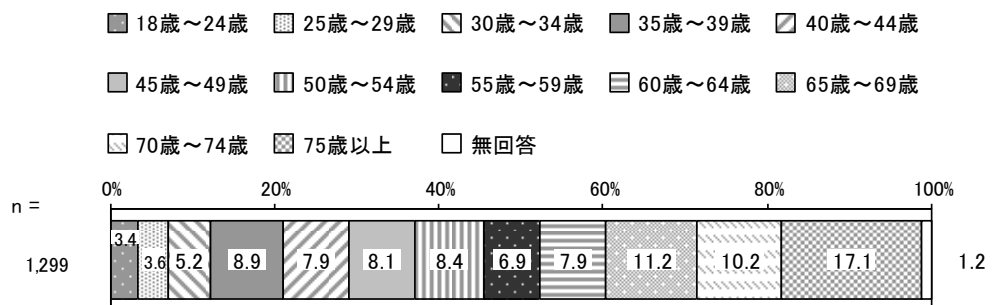
F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

磯子区の男女別人口(平成29年1月現在、18歳以上)をみると、男性が48.7%、女性が51.3%となっており、本調査の回答者は、実際の人口よりも女性の割合が高くなっています。



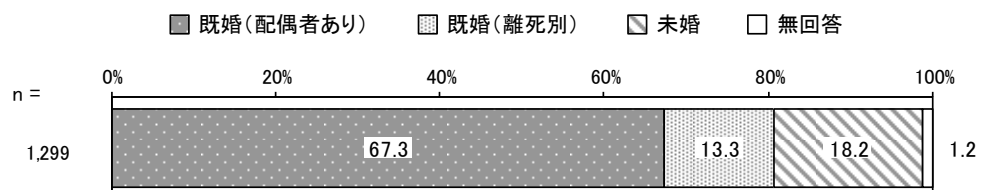
F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

「75歳以上」の割合が17.1%と最も高く、次いで「65歳～69歳」の割合が11.2%、「70歳～74歳」の割合が10.2%となっています。



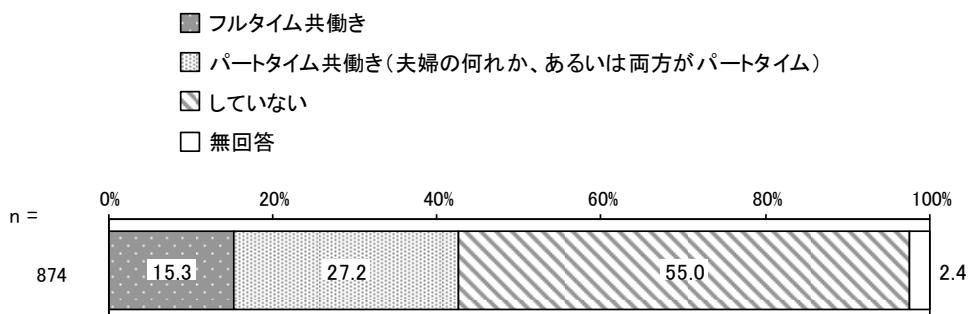
F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

「既婚(配偶者あり)」の割合が67.3%と最も高く、次いで「未婚」の割合が18.2%、「既婚(離死別)」の割合が13.3%となっています。



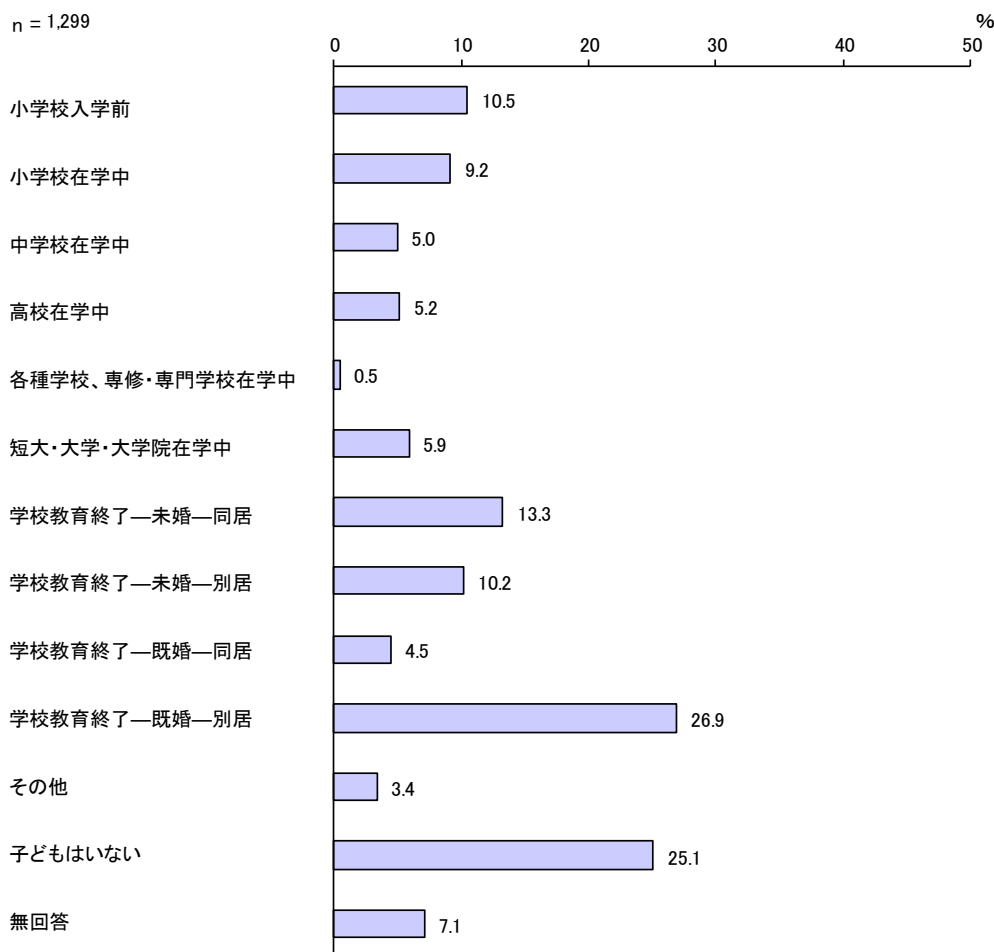
F 3-1 F 3で既婚（配偶者あり）と答えた方にお伺いします。あなたは共働きをしていますか。（○は1つ）

「していない」の割合が55.0%と最も高く、次いで「パートタイム共働き（夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム）」の割合が27.2%、「フルタイム共働き」の割合が15.3%となっています。



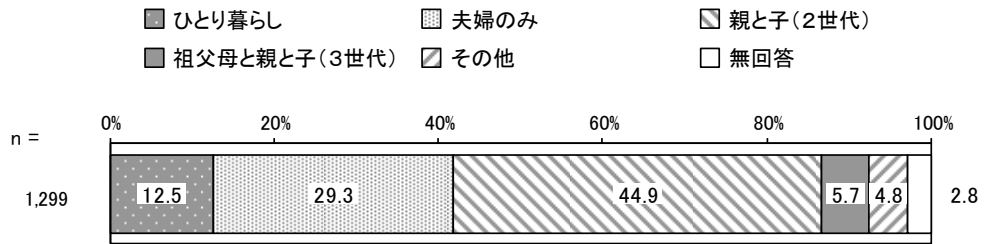
F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にいたりしますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。（○はいくつでも）

「学校教育終了—既婚—別居」の割合が26.9%と最も高く、次いで「子どもはいない」の割合が25.1%、「学校教育終了—未婚—同居」の割合が13.3%となっています。



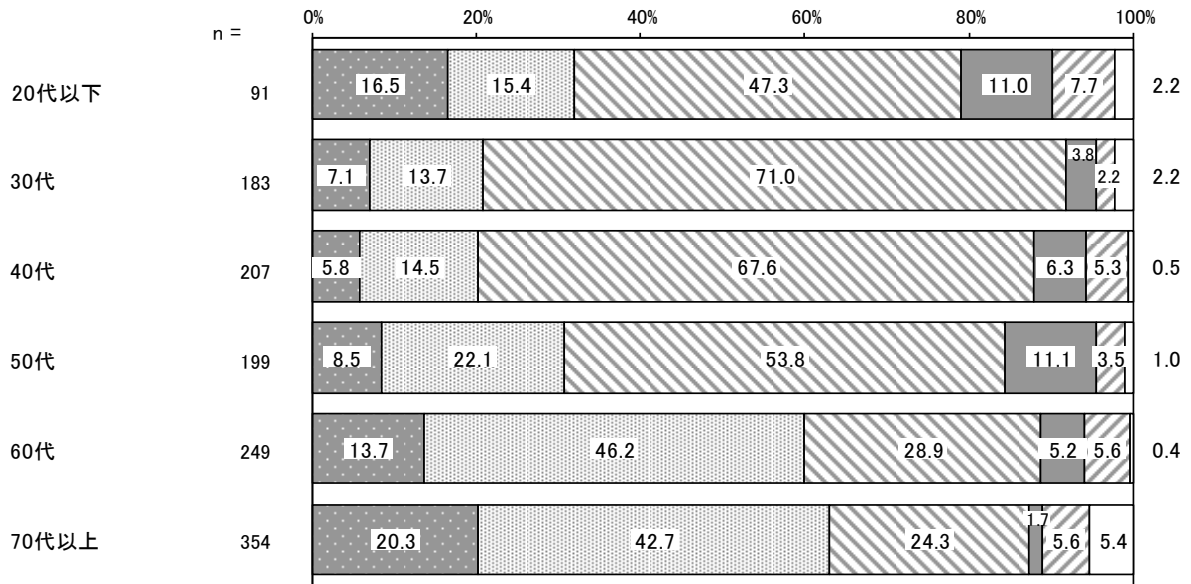
F 5 あなたのご家族（同居されている方）の構成をお選びください。（○は1つ）

「親と子（2世代）」の割合が44.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が29.3%、「ひとり暮らし」の割合が12.5%となっています。



【年代別】

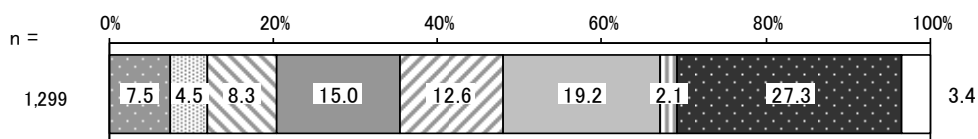
年代別でみると、年代が高くなるにつれて「ひとり暮らし」の割合が高くなる傾向がみられます。



F 6 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

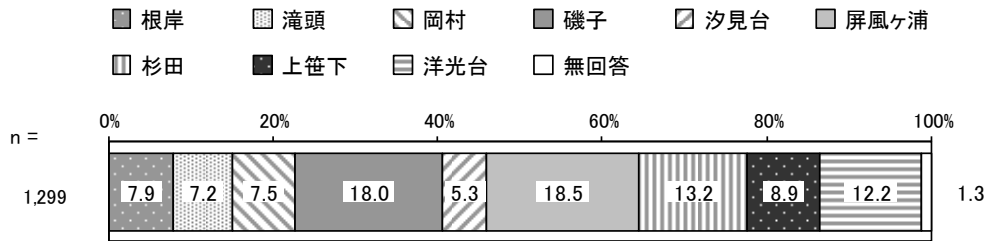
「無職」の割合が27.3%と最も高く、次いで「主婦・主夫」の割合が19.2%、「事務職（事務職、営業職、教員など）」の割合が15.0%となっています。

- 自営業・自由業(農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
- ▨ 管理職(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)
- ▧ 専門技術職(勤務医師、研究所研究員、技師など)
- 事務職(事務職、営業職、教員など)
- ▩ 生産・販売等の職業(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など)
- 主婦・主夫
- ▨ 学生
- 無職
- 無回答



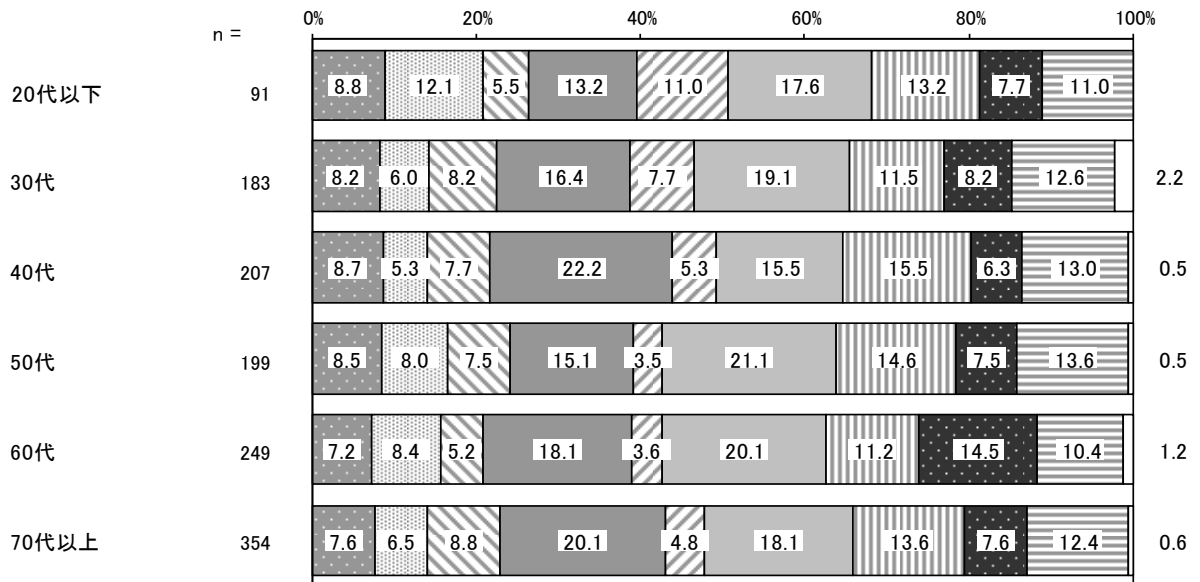
F 7 あなたの住んでいる町名をお選びください。(〇は1つ)

居住地区は、「屏風ヶ浦」の割合が18.5%と最も高く、次いで「磯子」の割合が18.0%、「杉田」の割合が13.2%となっています。



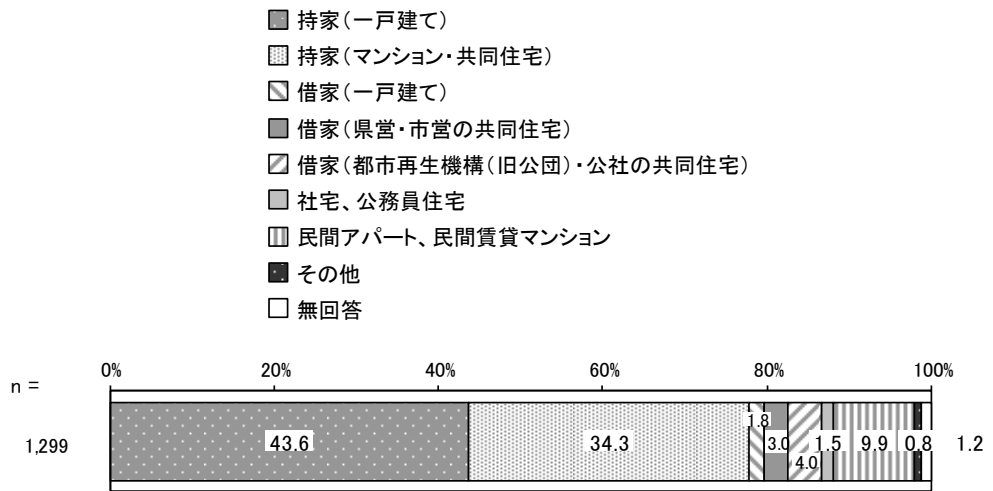
【年代別】

年代別でみると、60代で「上笹下」の割合が高くなっています。



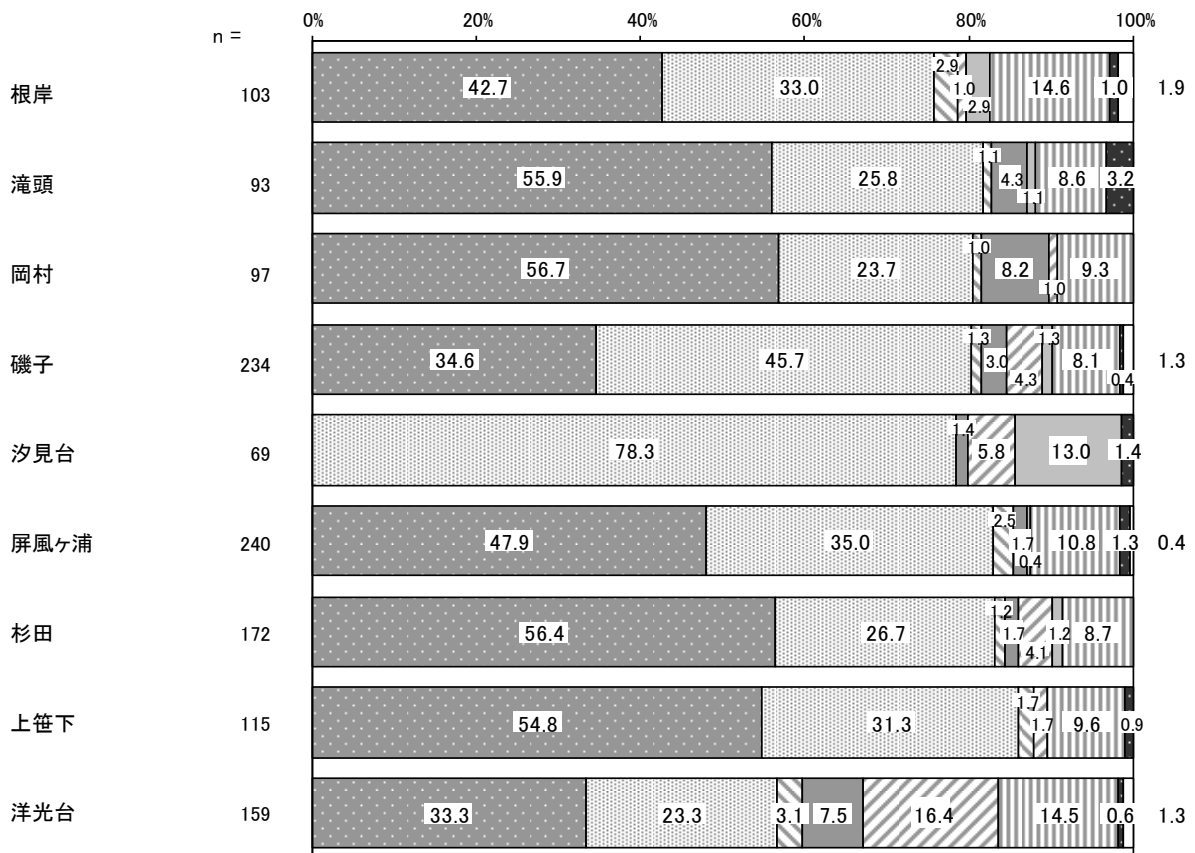
F 8 あなたのお住いの形態をお選びください。(〇は1つ)

「持家（一戸建て）」の割合が43.6%と最も高く、次いで「持家（マンション・共同住宅）」の割合が34.3%となっています。



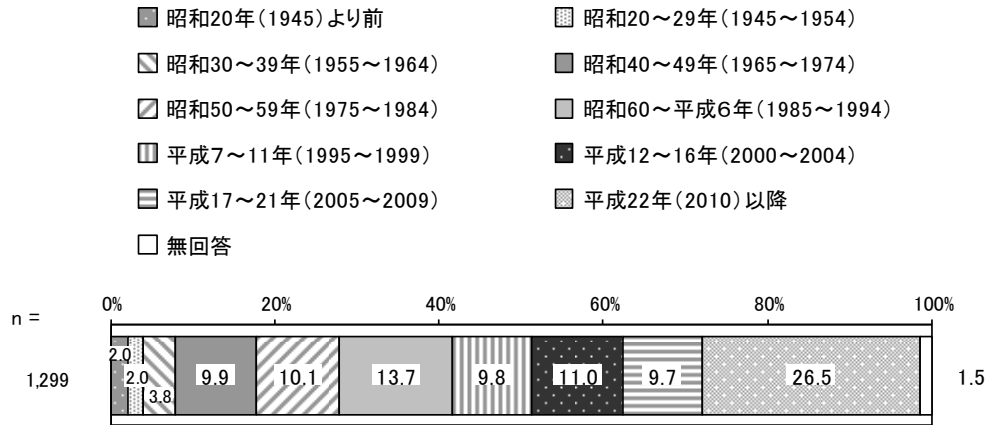
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、汐見台で「持ち家（マンション・共同住宅）」の割合が高くなっています。



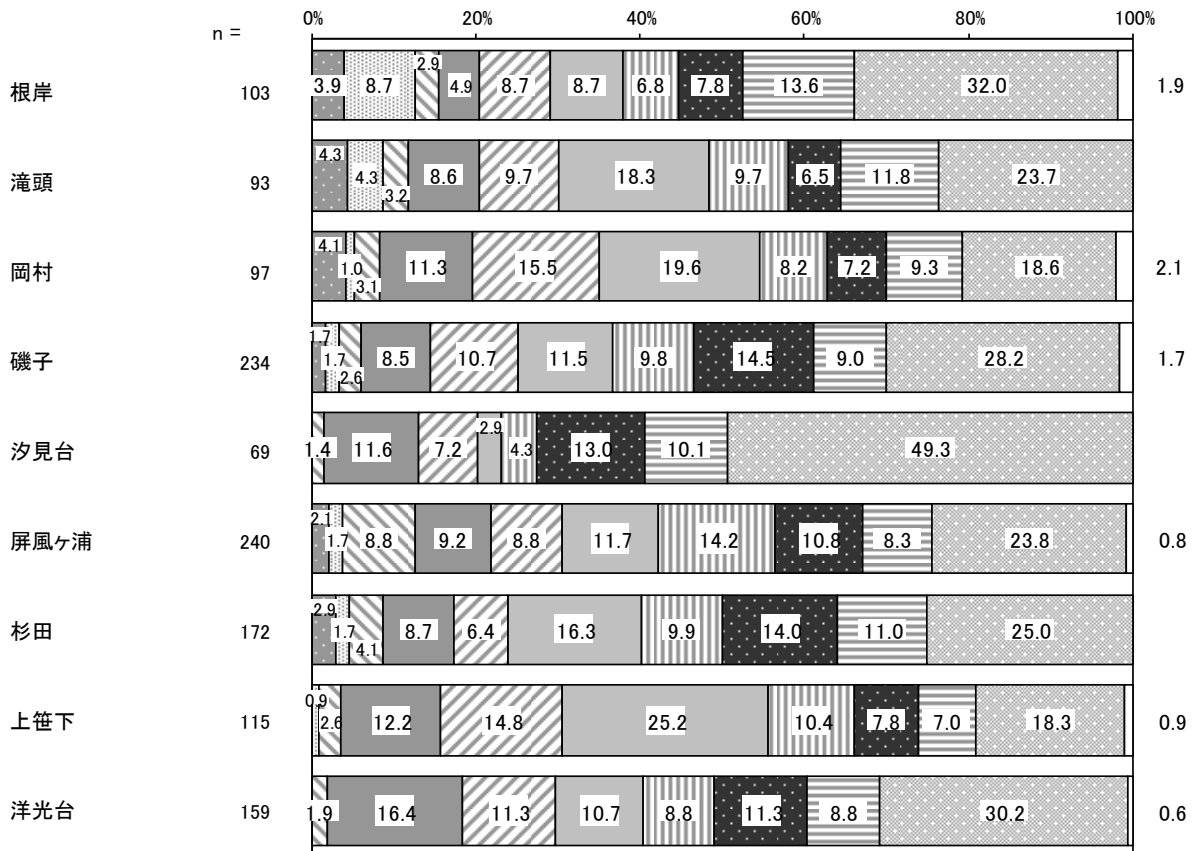
F 9 あなたは今のお住いにいつごろから住んでいますか。(〇は1つ)

「平成 22 年（2010）以降」の割合が 26.5%と最も高く、次いで「昭和 60～平成 6 年（1985～1994）」の割合が 13.7%、「平成 12～16 年（2000～2004）」の割合が 11.0%となっています。



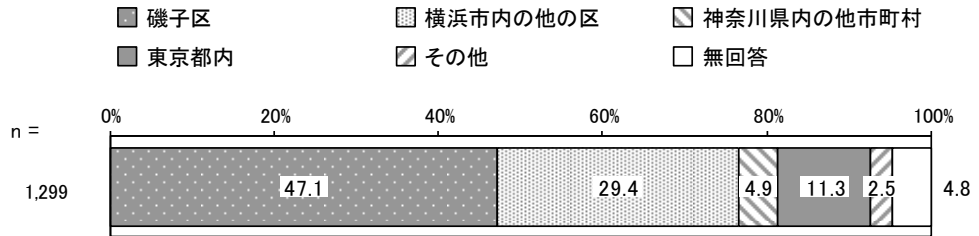
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、汐見台で「平成 22 年（2010）以降」の割合が高くなっています。



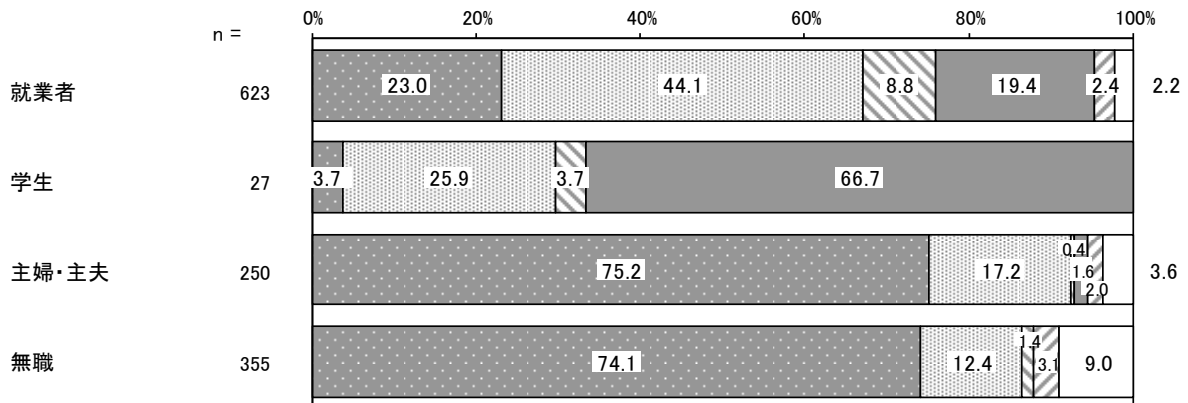
F10 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。(〇は1つ)

「磯子区」の割合が47.1%と最も高く、次いで「横浜市内の他の区」の割合が29.4%、「東京都内」の割合が11.3%となっています。



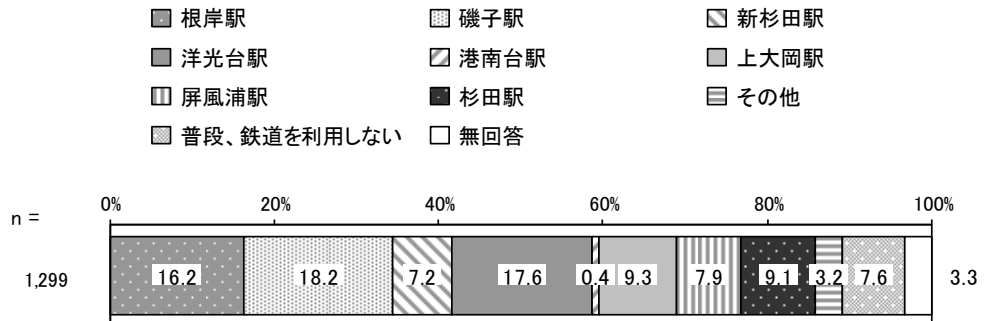
【就業状況別】

年代別で見ると、他に比べ、就業者で「横浜市内の他の地区」の割合が、学生で「東京都内」の割合が高くなっています。また、主婦・主夫、無職で「磯子区」の割合が高くなっています。



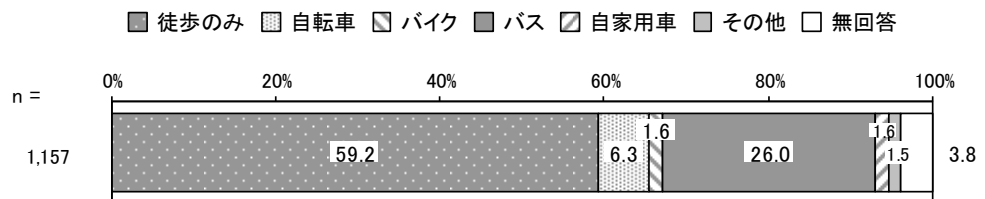
F11 あなたが普段利用している鉄道駅は、次のうちのどこですか。（最も利用頻度の高い駅に1つだけ○）

「磯子駅」の割合が18.2%と最も高く、次いで「洋光台駅」の割合が17.6%、「根岸駅」の割合が16.2%となっています。



F11-1 F11で普段鉄道を利用していると答えた方にお伺いします。あなたが普段利用している鉄道駅までの交通手段は何ですか。（○は1つ）

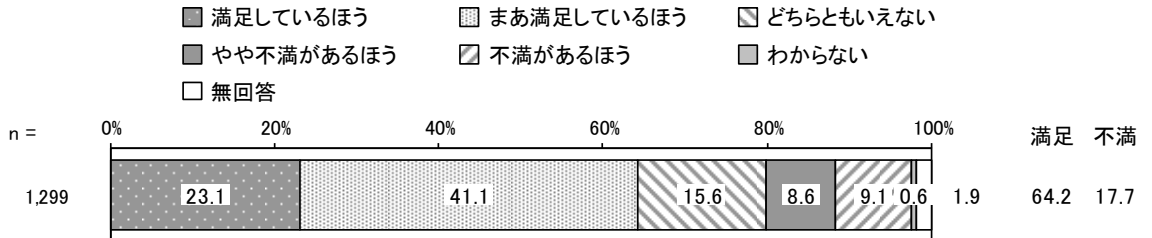
「徒歩のみ」の割合が59.2%と最も高く、次いで「バス」の割合が26.0%となっています。



2 普段の生活について

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足していますか、それとも、不満がありますか。
(○は1つ)

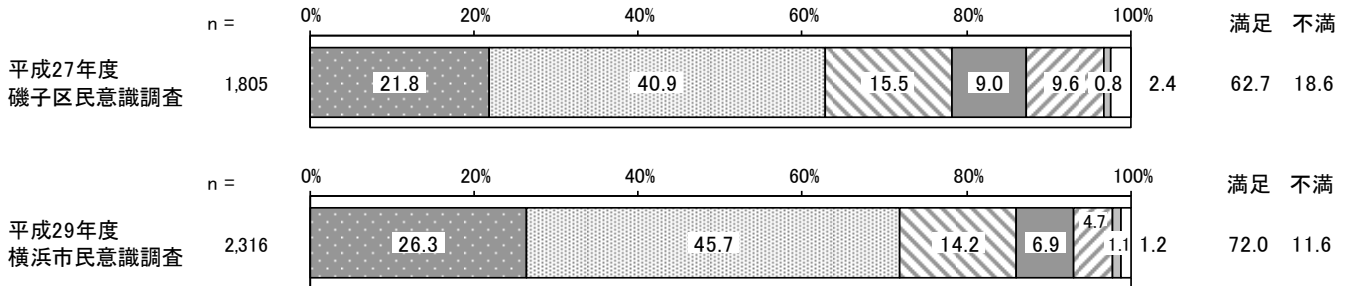
「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」をあわせた“満足”の割合が64.2%、「やや不満があるほう」と「不満があるほう」をあわせた“不満”の割合が17.7%となっています。



【前回及び市民意識調査との比較】

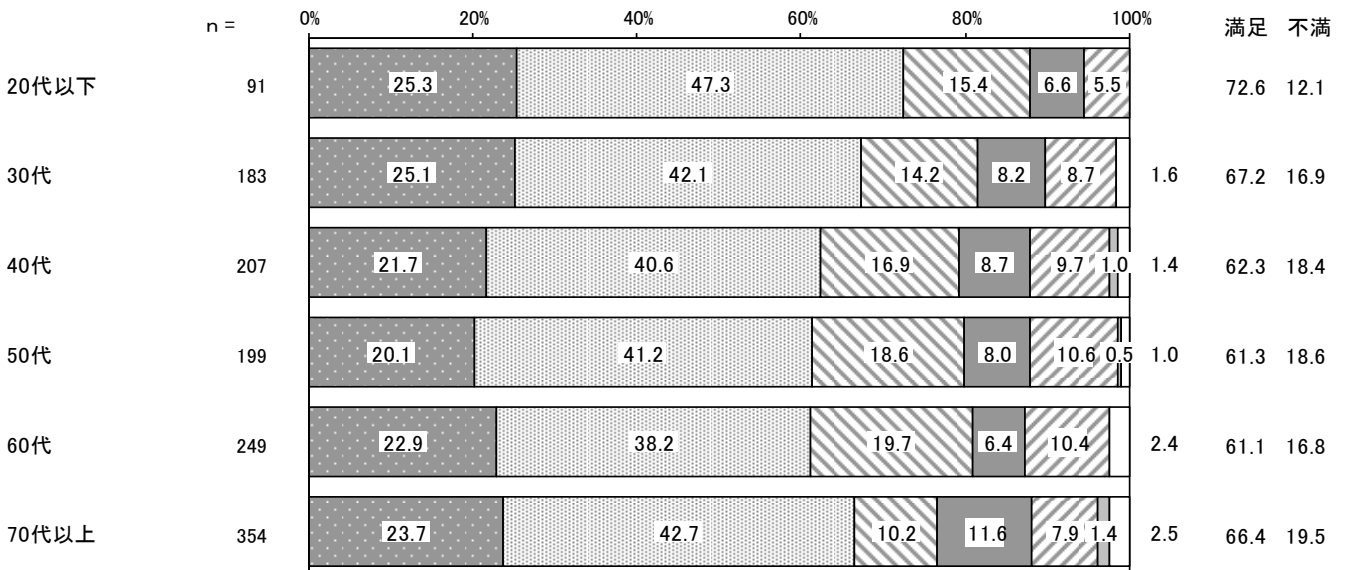
平成27年度調査の結果と比較すると、“満足”が、1.5ポイント高くなっています。

横浜市民意識調査の結果と比較すると、“満足”が、7.8ポイント低くなっています。



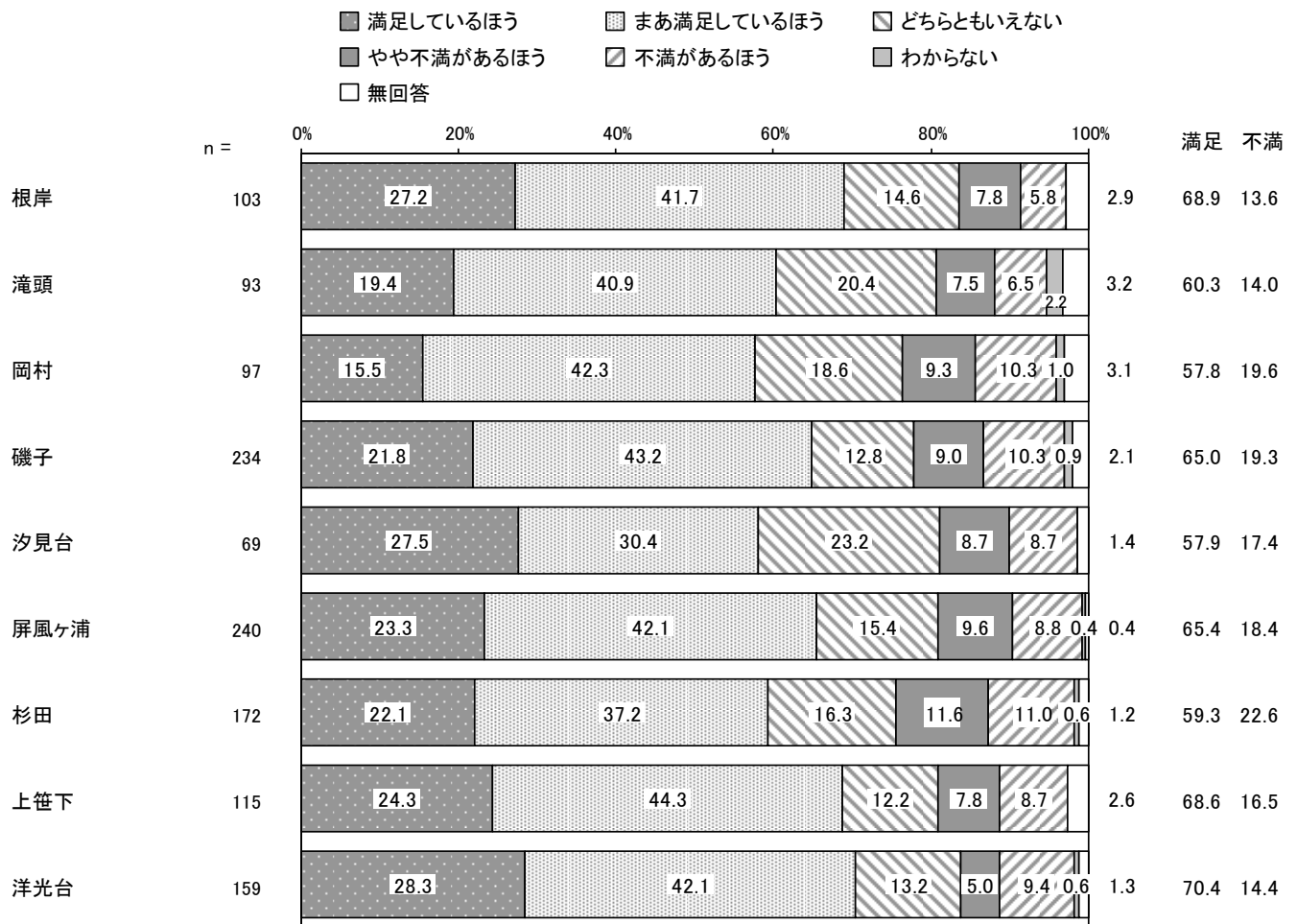
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代以下、30代、70代以上で“満足”の割合が高くなっています。



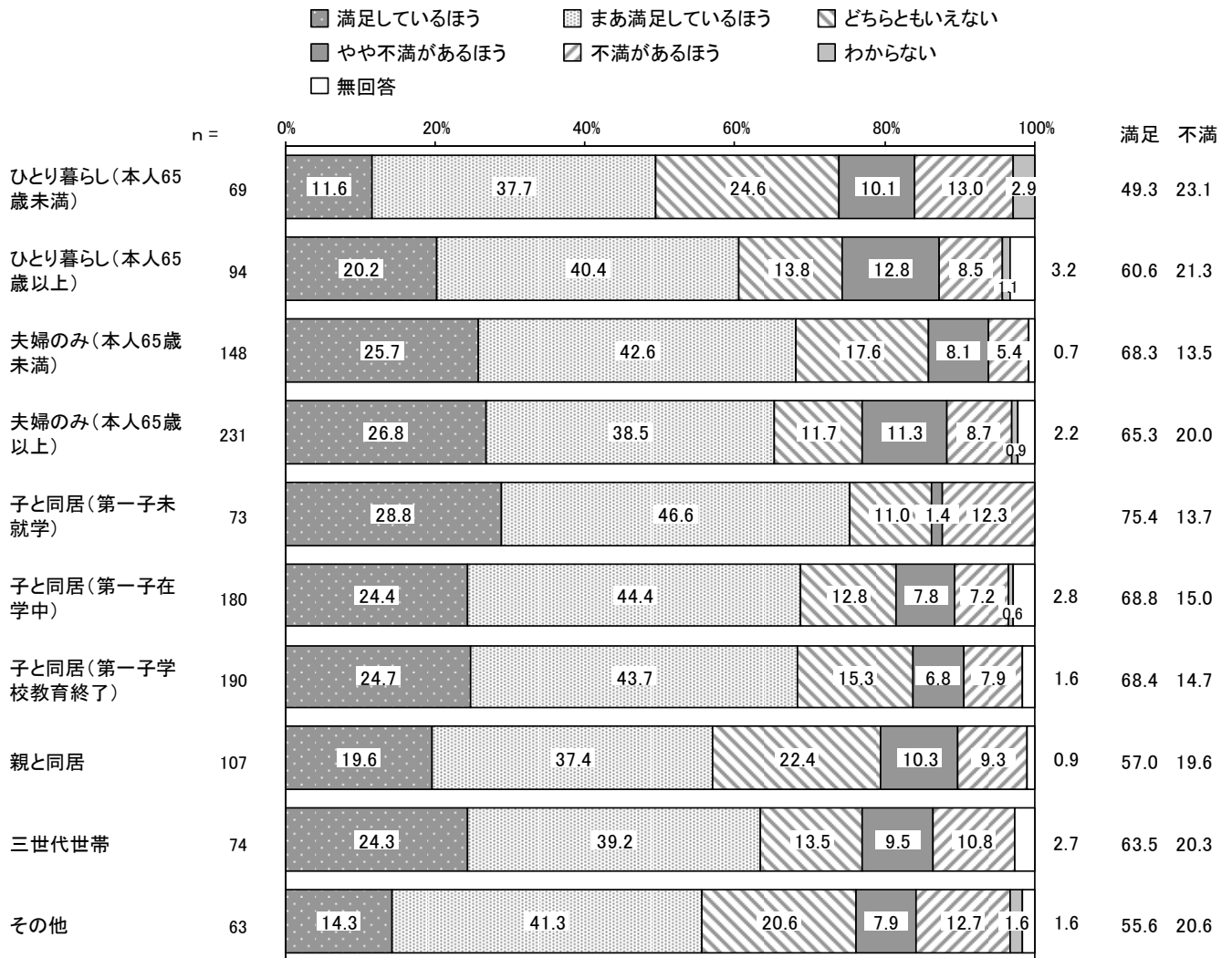
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸、磯子、屏風ヶ浦、上笹下、洋光台で“満足”の割合が高くなっています。



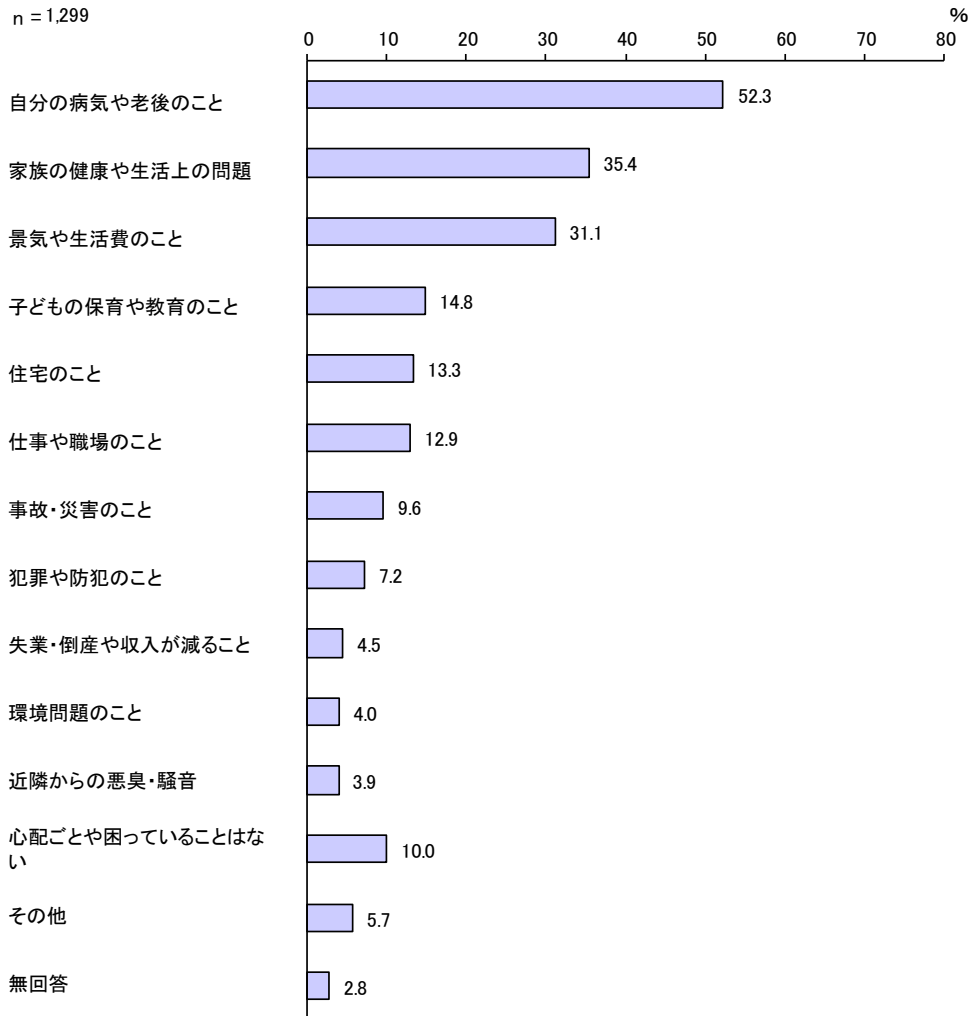
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、子と同居（第一子未就学）で“満足”の割合が高くなっています。また、ひとり暮らし（本人65歳未満）で“不満”の割合が高くなっています。



問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

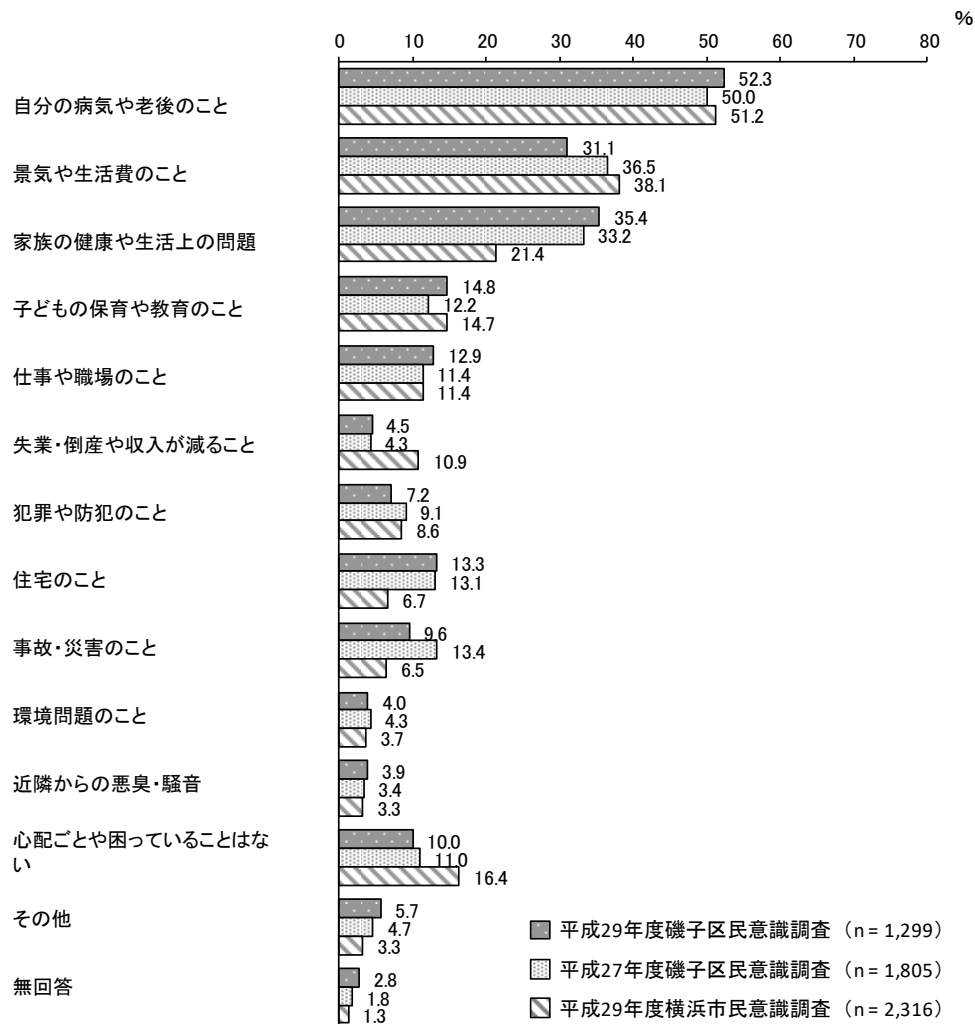
「自分の病気や老後のこと」の割合が52.3%と最も高く、次いで「家族の健康や生活上の問題」の割合が35.4%、「景気や生活費のこと」の割合が31.1%となっています。



【前回及び市民意識調査との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、「自分の病気や老後のこと」、「家族の健康や生活上の問題」などで高くなっており、一方で「景気や生活費のこと」などでは低くなっています。

横浜市民意識調査の結果と比較すると、「景気や生活費のこと」の割合が低くなっています。また、「心配ごとや困っていることはない」の割合が低くなっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分の病気や老後のこと	景気や生活費のこと	家族の健康や生活上の問題	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	事故・災害のこと	環境問題のこと	近隣からの悪臭・騒音	心配ごとや困っていることはない	その他	無回答
20代以下	91	15.4	33.0	31.9	14.3	36.3	6.6	11.0	8.8	9.9	3.3	5.5	17.6	5.5	—
30代	183	36.1	36.1	33.9	46.4	22.4	2.7	8.7	12.6	7.1	1.6	4.4	9.3	4.4	1.6
40代	207	42.5	33.3	33.8	35.3	20.8	6.3	6.8	9.7	7.2	2.4	5.8	8.7	3.4	2.4
50代	199	52.3	35.2	41.7	6.0	16.6	7.0	4.5	19.1	8.0	5.0	4.0	9.0	6.5	1.0
60代	249	64.7	33.7	36.1	3.2	4.4	6.0	4.8	14.1	8.4	6.4	3.6	10.4	4.8	3.2
70代以上	354	67.8	22.9	33.6	0.3	0.8	1.7	9.0	13.3	13.6	4.0	2.5	9.6	7.9	4.5

【地区別】

地区別でみると、いずれの地区においても「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分の病気や老後のこと	景気や生活費のこと	家族の健康や生活上の問題	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	事故・災害のこと	環境問題のこと	近隣からの悪臭・騒音	心配ごとや困っていることはない	その他	無回答
根岸	103	47.6	27.2	35.0	16.5	8.7	6.8	6.8	8.7	16.5	6.8	3.9	6.8	5.8	4.9
滝頭	93	48.4	26.9	32.3	16.1	17.2	7.5	6.5	21.5	10.8	2.2	3.2	6.5	9.7	3.2
岡村	97	60.8	36.1	37.1	14.4	11.3	5.2	10.3	8.2	11.3	4.1	4.1	5.2	8.2	1.0
磯子	234	53.4	27.8	36.3	16.2	11.5	6.4	6.4	13.7	11.5	5.6	7.7	9.0	5.6	1.7
汐見台	69	44.9	29.0	31.9	17.4	13.0	4.3	5.8	10.1	10.1	4.3	2.9	14.5	4.3	1.4
屏風ヶ浦	240	52.9	29.2	35.0	14.6	14.2	2.5	8.8	14.2	7.9	3.8	2.9	13.3	4.6	2.1
杉田	172	50.0	36.0	37.8	12.8	14.5	2.9	4.7	10.5	7.0	4.1	2.9	11.6	7.0	2.3
上笹下	115	54.8	41.7	34.8	14.8	12.2	4.3	4.3	13.9	9.6	0.9	3.5	8.7	—	6.1
洋光台	159	54.1	29.6	34.0	11.9	13.2	3.8	10.7	16.4	5.7	2.5	2.5	11.9	7.5	1.9

【家族構成別】

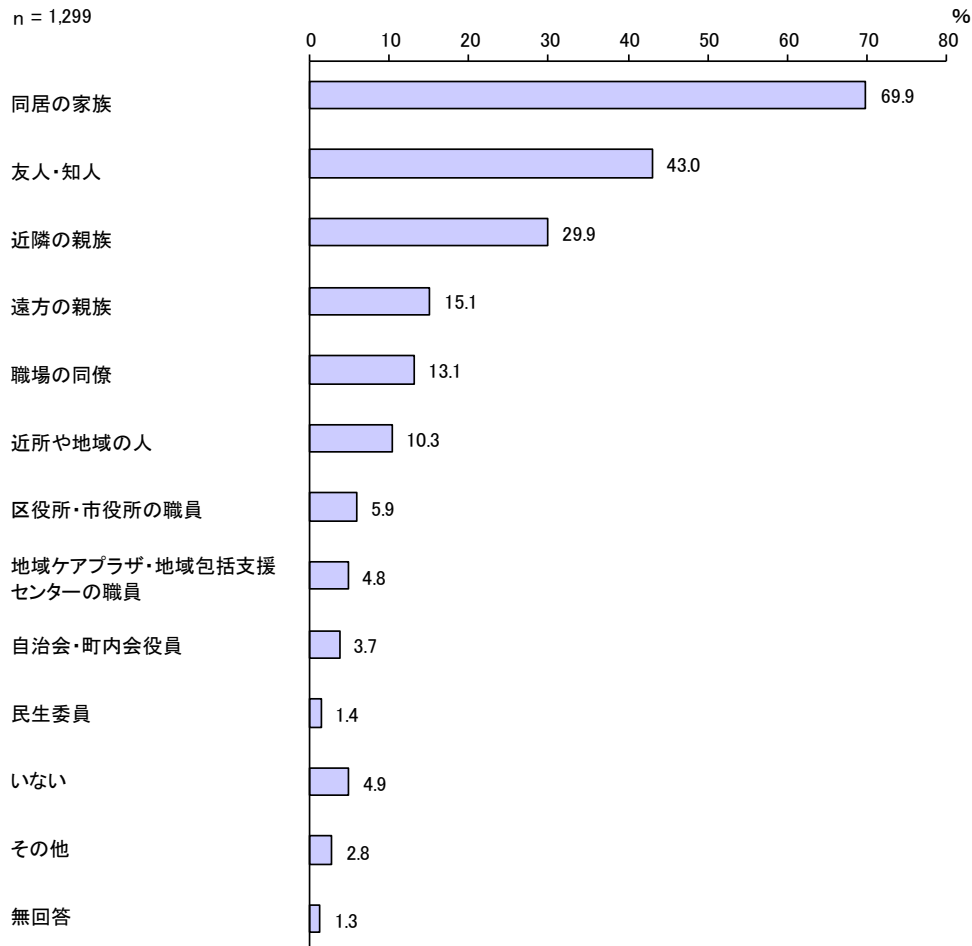
家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らし（本人 65 歳未満）で「景気や生活費のこと」の割合が、子と同居（第一子未就学）、子と同居（第一子在学中）で「子どもの保育や教育のこと」の割合が高くなっています。また、ひとり暮らし（本人 65 歳以上）で「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自分の病気や老後のこと	景気や生活費のこと	家族の健康や生活上の問題	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	事故・災害のこと	環境問題のこと	近隣からの悪臭・騒音	心配ことや困っていることはない	その他	無回答
ひとり暮らし(本人 65 歳未満)	69	46.4	49.3	21.7	—	24.6	20.3	10.1	21.7	4.3	5.8	8.7	8.7	5.8	—
ひとり暮らし(本人 65 歳以上)	94	75.5	25.5	20.2	—	1.1	3.2	18.1	16.0	17.0	2.1	3.2	5.3	5.3	5.3
夫婦のみ(本人 65 歳未満)	148	49.3	35.8	33.8	9.5	16.2	6.8	6.8	9.5	10.1	3.4	5.4	12.8	5.4	3.4
夫婦のみ(本人 65 歳以上)	231	66.2	25.1	40.7	0.9	0.9	2.2	6.1	11.7	13.0	5.2	1.7	13.0	4.8	2.6
子と同居(第一子未就学)	73	20.5	34.2	34.2	68.5	16.4	2.7	11.0	11.0	6.8	—	2.7	12.3	2.7	1.4
子と同居(第一子在学中)	180	36.7	32.2	27.2	52.2	15.6	2.2	8.3	13.3	8.3	2.8	4.4	6.7	2.8	2.8
子と同居(第一子学校教育終了)	190	57.9	28.4	39.5	4.2	8.9	4.2	3.7	13.7	8.4	5.3	4.7	11.6	5.8	2.6
親と同居	107	54.2	33.6	50.5	—	31.8	4.7	7.5	12.1	6.5	4.7	2.8	11.2	6.5	—
三世代世帯	74	40.5	28.4	37.8	23.0	20.3	4.1	6.8	13.5	13.5	4.1	5.4	8.1	12.2	—
その他	63	55.6	41.3	46.0	6.3	14.3	3.2	1.6	22.2	6.3	4.8	4.8	6.3	9.5	3.2

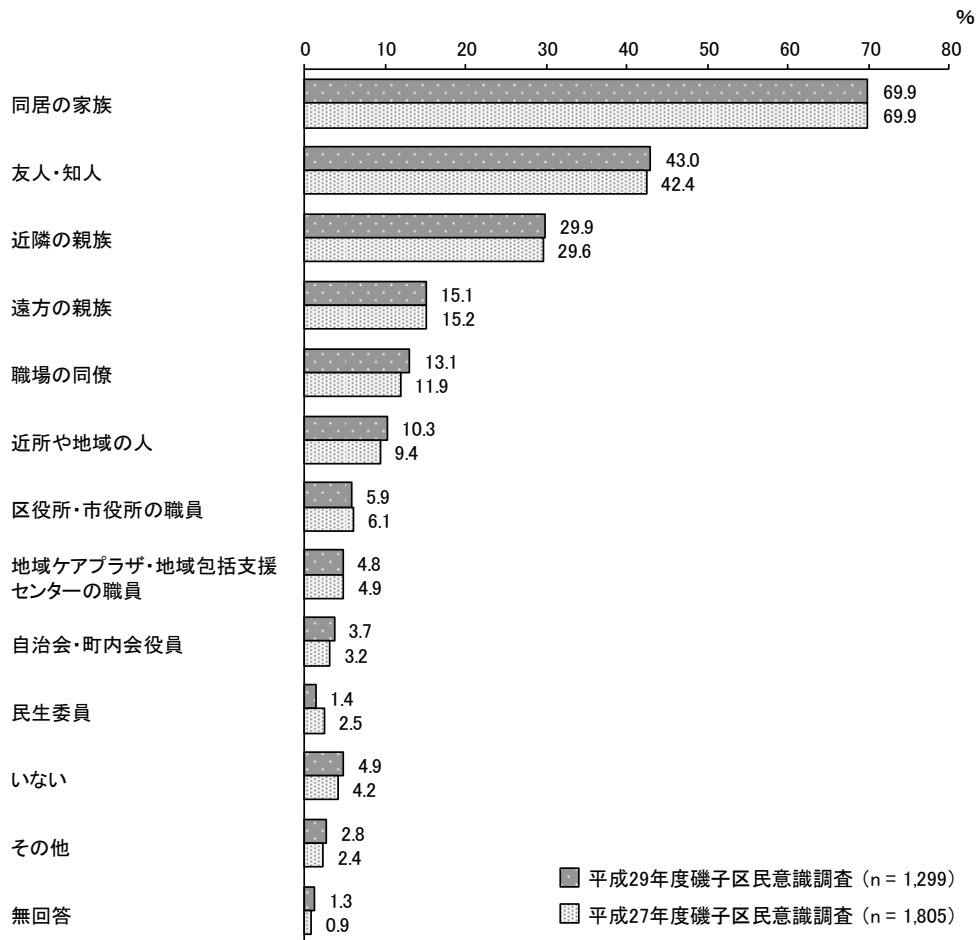
問3 あなたは、日常生活で困ったことが起きたとき、どなたに相談していますか、あるいは、どなたなら相談できると思いますか。(〇はいくつでも)

「同居の家族」の割合が69.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が43.0%、「近隣の親族」の割合が29.9%となっています。



【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれて「友人・知人」の割合が高くなっています。また、70代以上で「自治会・町内会役員」「民生委員」「区役所・市役所の職員」「地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	同居の家族	近隣の親族	遠方の親族	友人・知人	職場の同僚	近所や地域の人	自治会・町内会役員	民生委員	区役所・市役所の職員	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	いない	その他	無回答
20代以下	91	69.2	17.6	17.6	63.7	28.6	4.4	1.1	2.2	4.4	3.3	2.2	1.1	—
30代	183	77.6	35.5	21.3	54.6	26.2	6.6	0.5	—	3.8	1.1	4.4	2.2	—
40代	207	78.3	30.0	16.4	50.2	20.3	11.6	1.9	0.5	2.9	2.9	7.2	1.0	1.0
50代	199	71.9	19.1	12.6	44.7	16.6	9.0	2.0	—	3.0	1.5	8.0	2.5	0.5
60代	249	65.5	30.1	13.3	43.0	6.8	10.8	4.0	0.4	6.8	4.4	3.6	3.6	1.2
70代以上	354	63.6	37.0	13.8	27.4	0.8	13.8	7.6	4.0	9.9	9.9	3.1	4.5	2.8

【家族構成別】

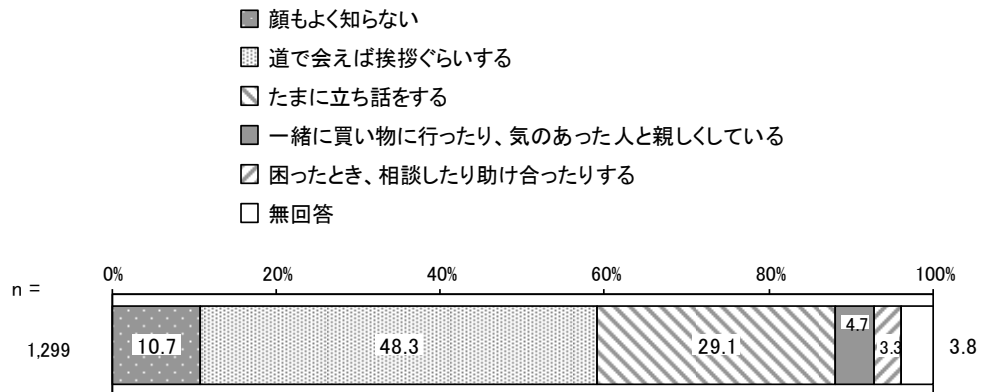
家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らし（本人65歳未満）で「友人・知人」の割合が、ひとり暮らし（本人65歳以上）で「近隣の親族」の割合が高くなっています。また、子と同居（第一子未就学）、子と同居（第一子学校教育終了）で「同居の家族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	同居の家族	近隣の親族	遠方の親族	友人・知人	職場の同僚	近所や地域の人	自治会・町内会役員	民生委員	区役所・市役所の職員	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	いない	その他	無回答
ひとり暮らし(本人65歳未満)	69	4.3	21.7	26.1	49.3	26.1	1.4	—	—	5.8	2.9	21.7	4.3	—
ひとり暮らし(本人65歳以上)	94	7.4	50.0	18.1	38.3	1.1	21.3	8.5	7.4	12.8	16.0	2.1	8.5	4.3
夫婦のみ(本人65歳未満)	148	77.0	25.7	18.9	44.6	16.9	8.8	2.7	0.7	4.1	3.4	6.1	—	0.7
夫婦のみ(本人65歳以上)	231	75.8	39.4	12.1	30.7	1.3	13.0	7.8	1.7	8.7	5.6	2.6	3.9	1.3
子と同居(第一子未就学)	73	86.3	47.9	24.7	53.4	21.9	6.8	1.4	—	2.7	1.4	4.1	1.4	—
子と同居(第一子在学中)	180	83.3	35.6	22.2	48.3	19.4	13.3	2.2	0.6	1.7	1.7	3.3	1.7	0.6
子と同居(第一子学校教育終了)	190	87.4	23.7	13.7	42.6	9.5	12.1	5.3	1.6	4.7	3.7	2.6	2.1	1.6
親と同居	107	72.9	15.0	3.7	57.9	25.2	3.7	—	0.9	6.5	3.7	7.5	2.8	—
三世帯世帯	74	83.8	13.5	8.1	54.1	18.9	10.8	—	—	4.1	1.4	2.7	1.4	1.4
その他	63	74.6	19.0	7.9	44.4	14.3	3.2	1.6	1.6	4.8	4.8	4.8	6.3	—

問4 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。(〇は1つ)

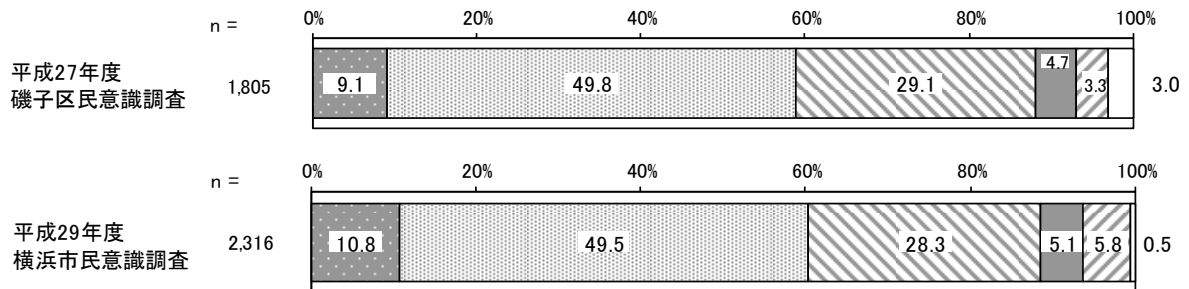
「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が48.3%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする」の割合が29.1%、「顔もよく知らない」の割合が10.7%となっています。



【前回及び市民意識調査との比較】

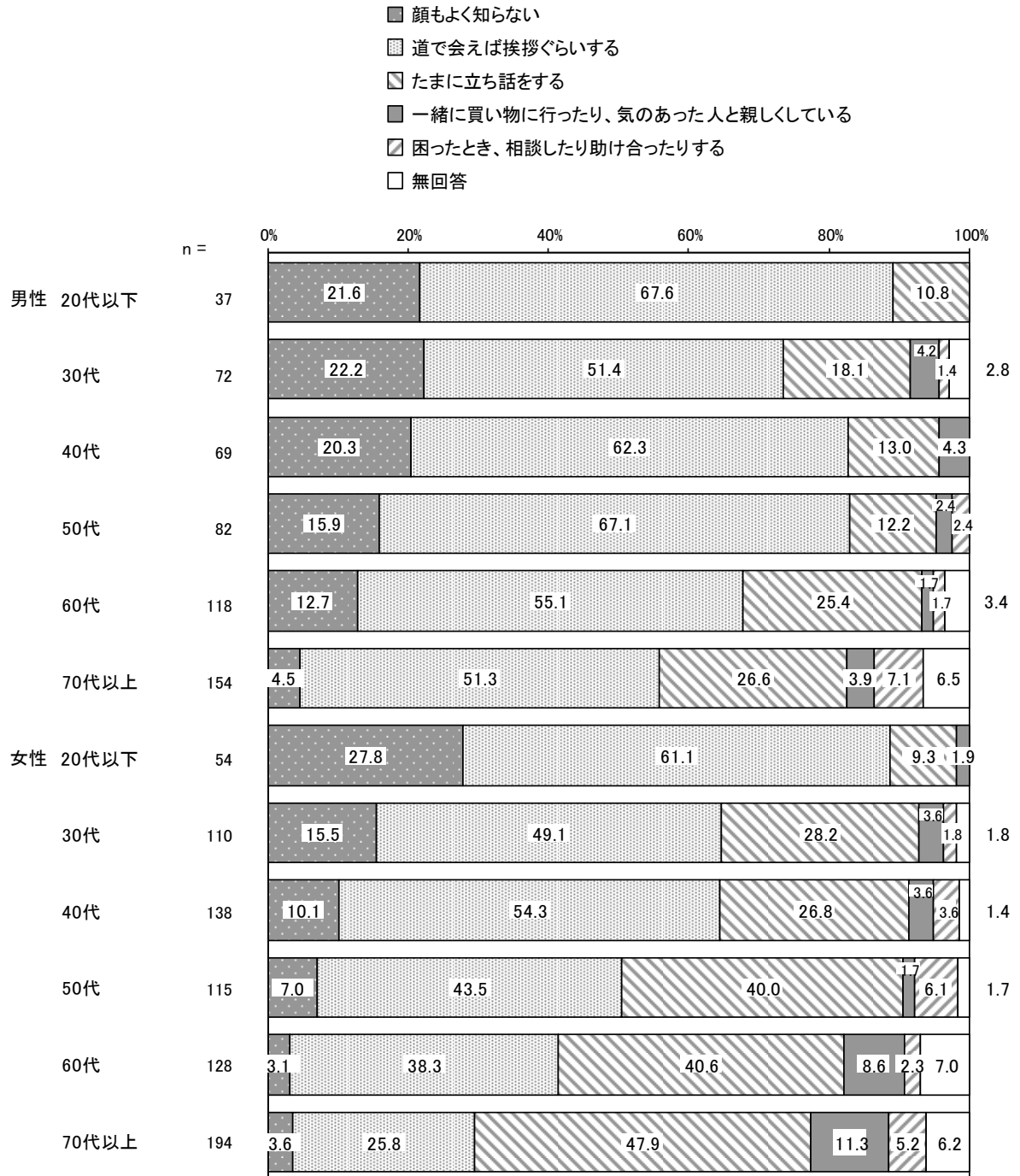
平成27年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。

横浜市市民意識調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

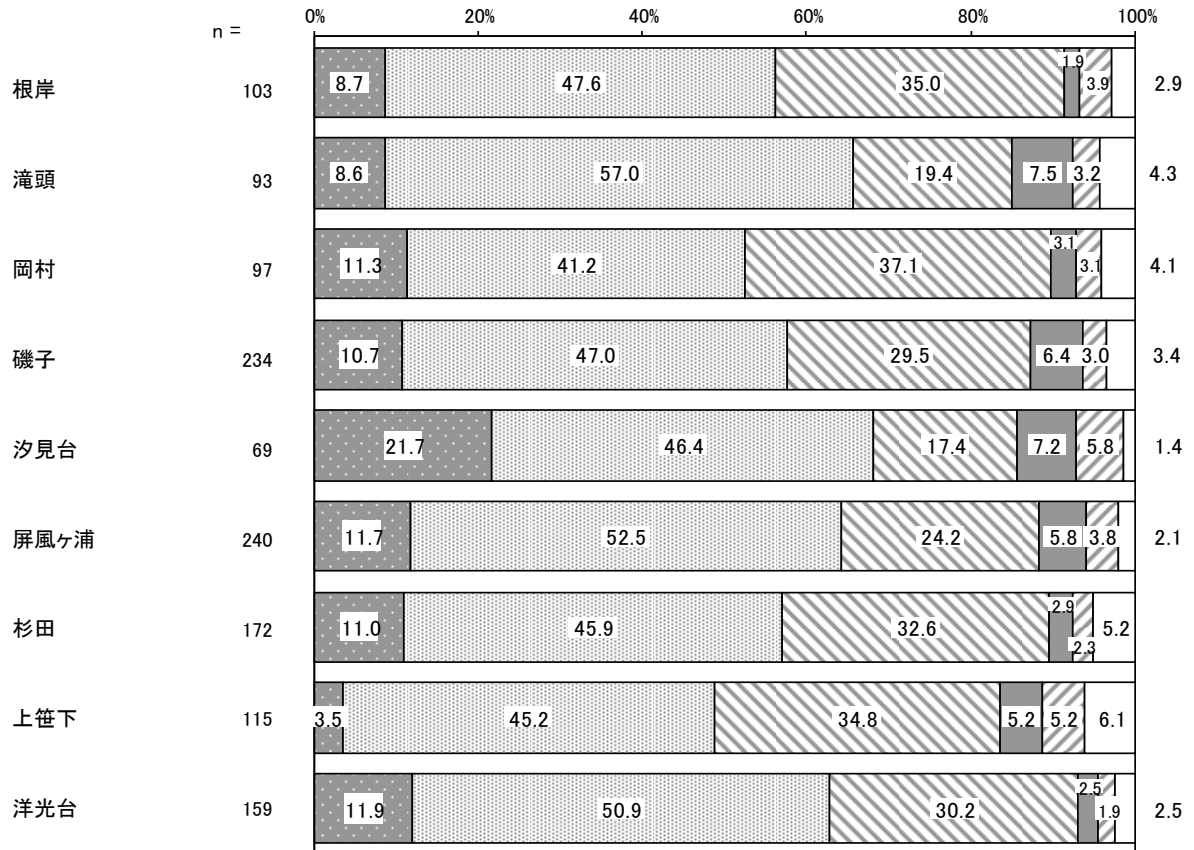
性・年代別で見ると、男女ともに年代が高くなるにつれて「たまに立ち話をする」の割合が高くなる傾向がみられます。



【地区別】

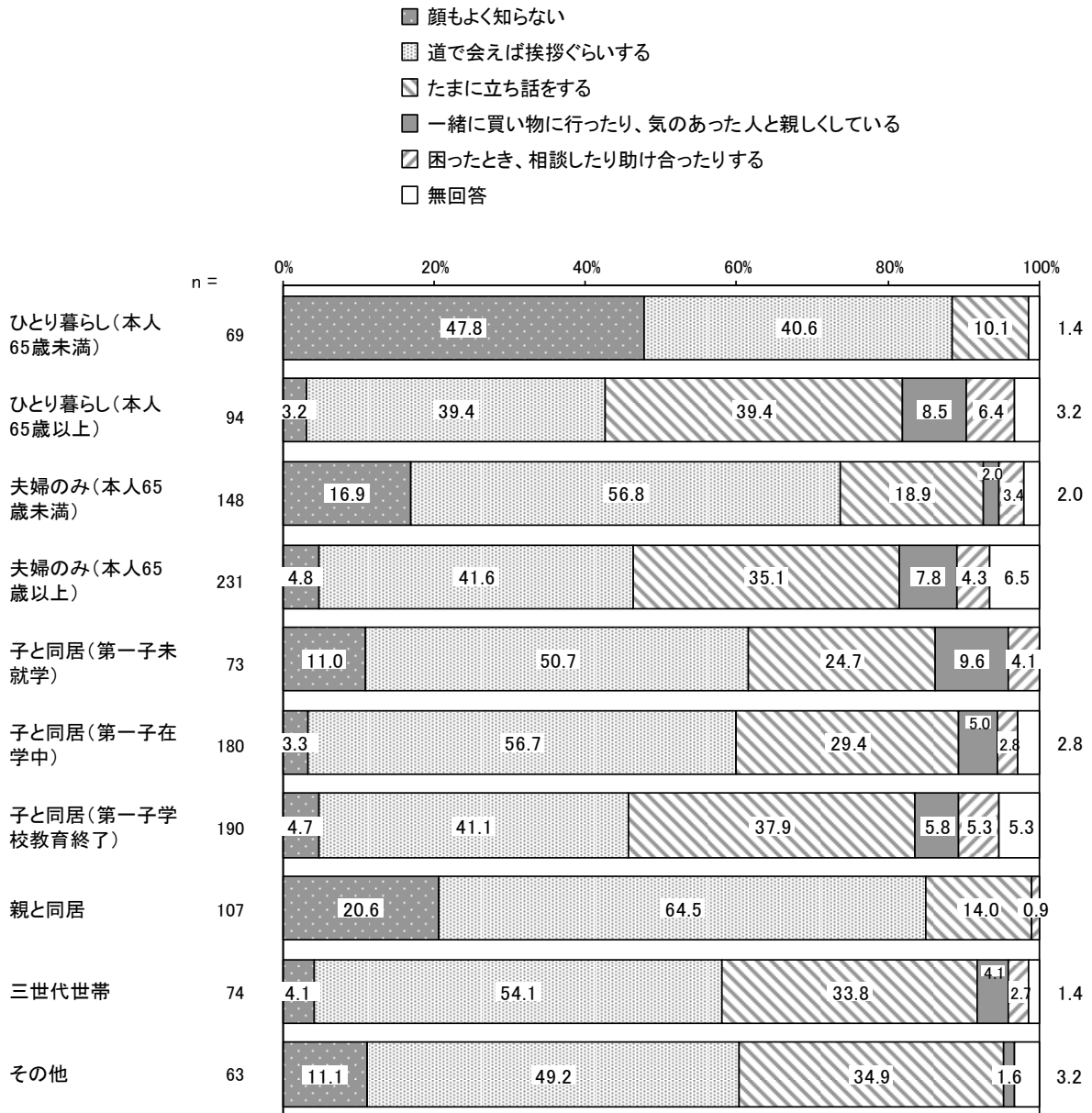
地区別でみると、他に比べ、汐見台で「顔もよく知らない」の割合が高くなっています。

- 顔もよく知らない
- ▨ 道で会えば挨拶ぐらいする
- ▧ たまに立ち話をする
- 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている
- ▩ 困ったとき、相談したり助け合ったりする
- 無回答



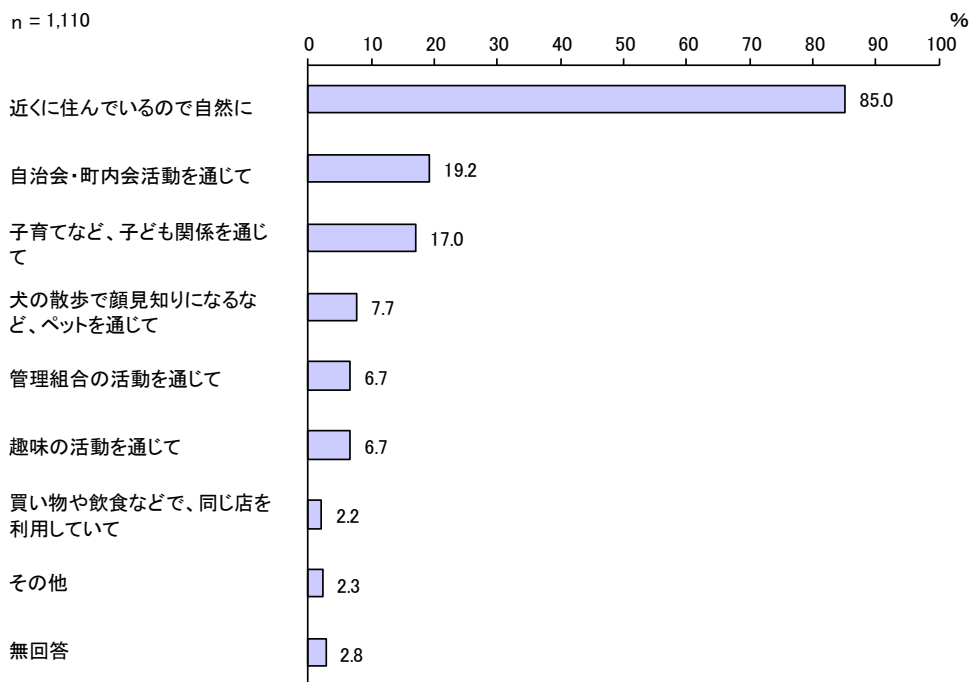
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らし（本人 65 歳未満）で「顔もよく知らない」の割合が高くなっています。また、親と同居で「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が高くなっています。



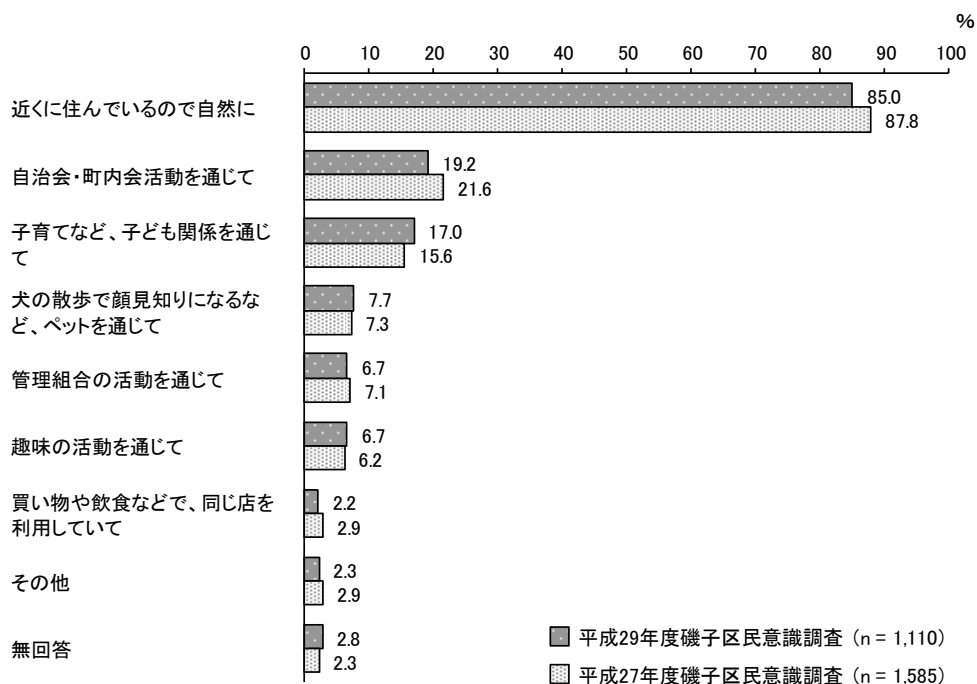
問4-1 問4で「道で会えば挨拶ぐらいする」、「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」と答えた方にお伺いします。お付き合いを始められたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

「近くに住んでいるので自然に」の割合が85.0%と最も高く、次いで「自治会・町内会活動を通じて」の割合が19.2%、「子育てなど、子ども関係を通じて」の割合が17.0%となっています。



【前回との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

性・年代別でみると、男女ともに年代が高くなるにつれて「自治会・町内会活動を通じて」の割合が高くなる傾向がみられます。また、男性では年代が高くなるにつれて「管理組合の活動を通じて」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	管理組合の活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	その他	無回答
男性 20代以下	29	93.1	3.4	3.4	3.4	3.4	—	—	3.4	3.4
30代	54	85.2	5.6	3.7	24.1	7.4	—	1.9	3.7	—
40代	55	90.9	16.4	7.3	27.3	1.8	1.8	3.6	—	—
50代	69	89.9	10.1	11.6	15.9	1.4	1.4	11.6	—	1.4
60代	99	81.8	23.2	11.1	4.0	4.0	3.0	9.1	1.0	2.0
70代以上	137	81.0	26.3	16.8	4.4	6.6	2.9	8.0	2.2	4.4
女性 20代以下	39	94.9	2.6	—	10.3	2.6	—	7.7	2.6	—
30代	91	90.1	8.8	2.2	40.7	—	1.1	2.2	3.3	—
40代	122	85.2	15.6	4.1	33.6	1.6	2.5	5.7	3.3	—
50代	105	90.5	17.1	4.8	23.8	1.9	—	7.6	1.9	1.9
60代	115	80.0	26.1	5.2	13.9	10.4	1.7	15.7	4.3	5.2
70代以上	175	78.9	31.4	4.0	9.1	21.1	4.6	9.1	1.7	6.9

【近所づきあい別】

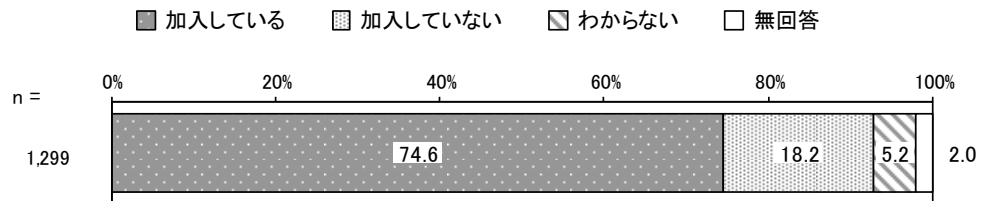
近所づきあい別でみると、他に比べ道で会えば挨拶ぐらいする、たまに立ち話をするで「近くに住んでいるので自然に」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	管理組合の活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	その他	無回答
顔もよく知らない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道で会えば挨拶ぐらいする	628	86.6	13.9	6.7	11.9	3.0	1.3	5.1	2.2	3.0
たまに立ち話をする	378	89.2	25.7	6.3	20.6	7.4	3.2	13.0	1.6	1.6
一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている	61	55.7	31.1	4.9	36.1	23.0	6.6	4.9	6.6	8.2
困ったとき、相談したり助け合ったりする	43	65.1	23.3	11.6	32.6	30.2	—	2.3	2.3	2.3

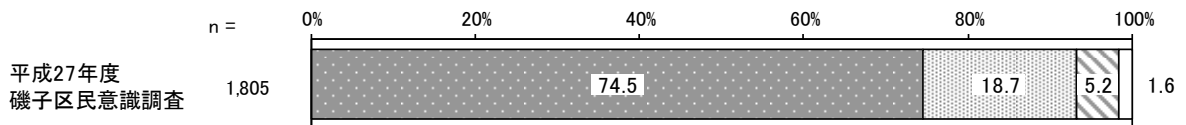
問5 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つ)

「加入している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が18.2%となっています。



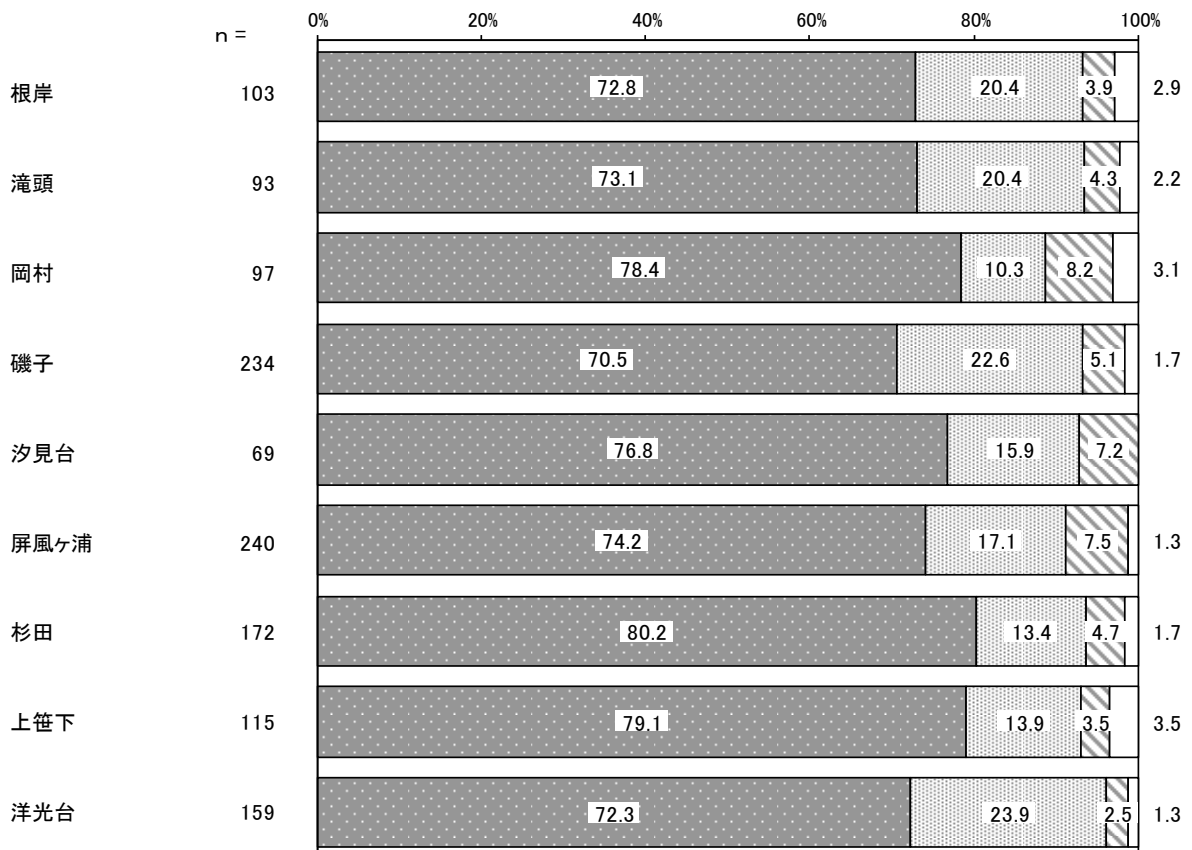
【前回との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



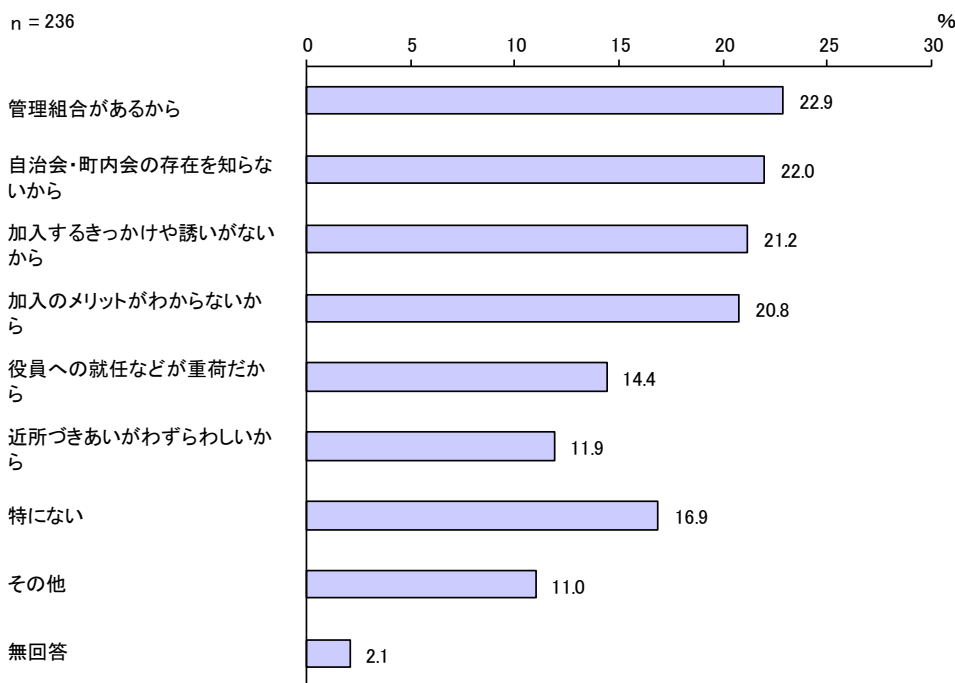
【地区別】

地区別でみると、岡村、汐見台、杉田、上笹下で「加入している」の割合が高くなっています。



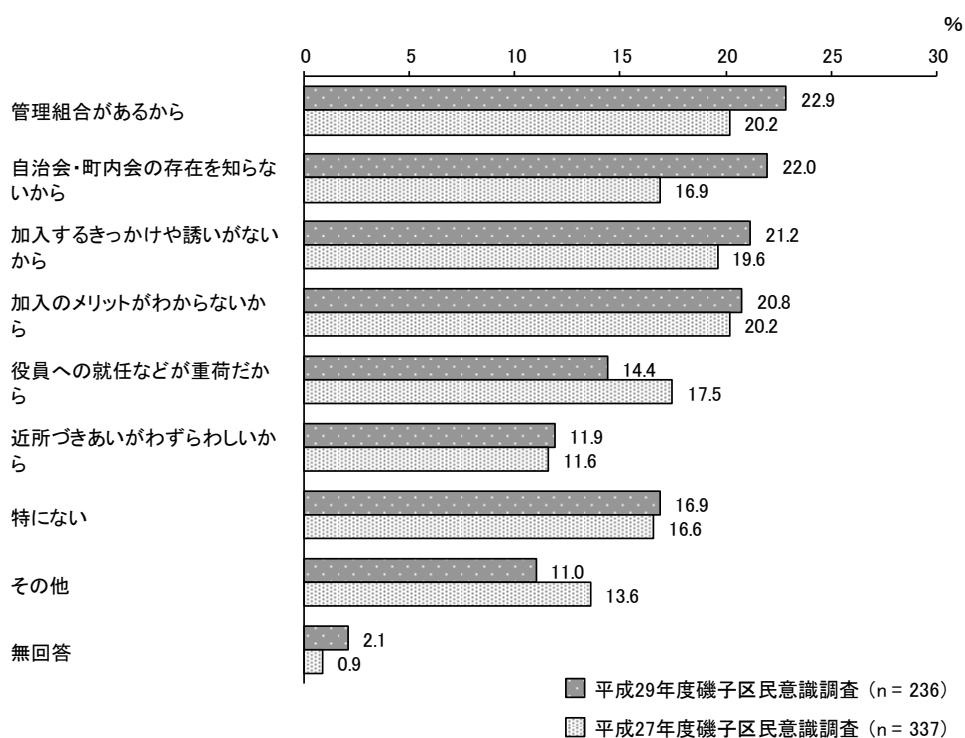
問5-1 問5で「加入していない」と答えた方にお伺いします。自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「管理組合があるから」の割合が22.9%と最も高く、次いで「自治会・町内会の存在を知らないから」の割合が22.0%、「加入するきっかけや誘いがないから」の割合が21.2%となっています。



【前回との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、「自治会・町内会の存在を知らないから」の割合が高くなっています。

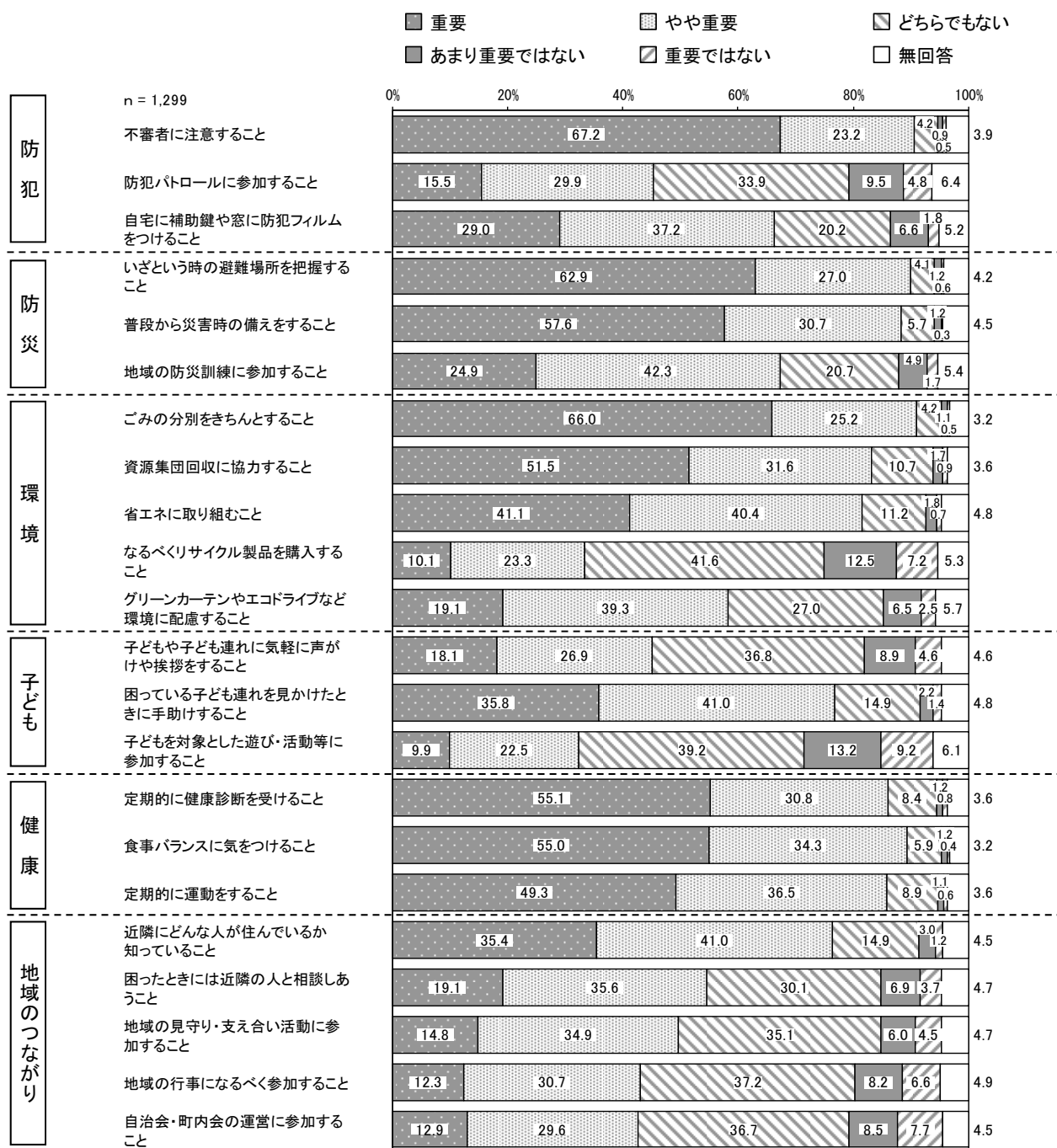


問6 あなたが普段生活するうえで、次の各項目はどの程度重要だと思いますか。また、あなた自身、実際にどの程度行っていますか。(項目ごとに、「普段生活するうえで重要だと思うこと」、「あなた自身の取組状況」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

(1) 普段生活するうえで重要だと思うこと

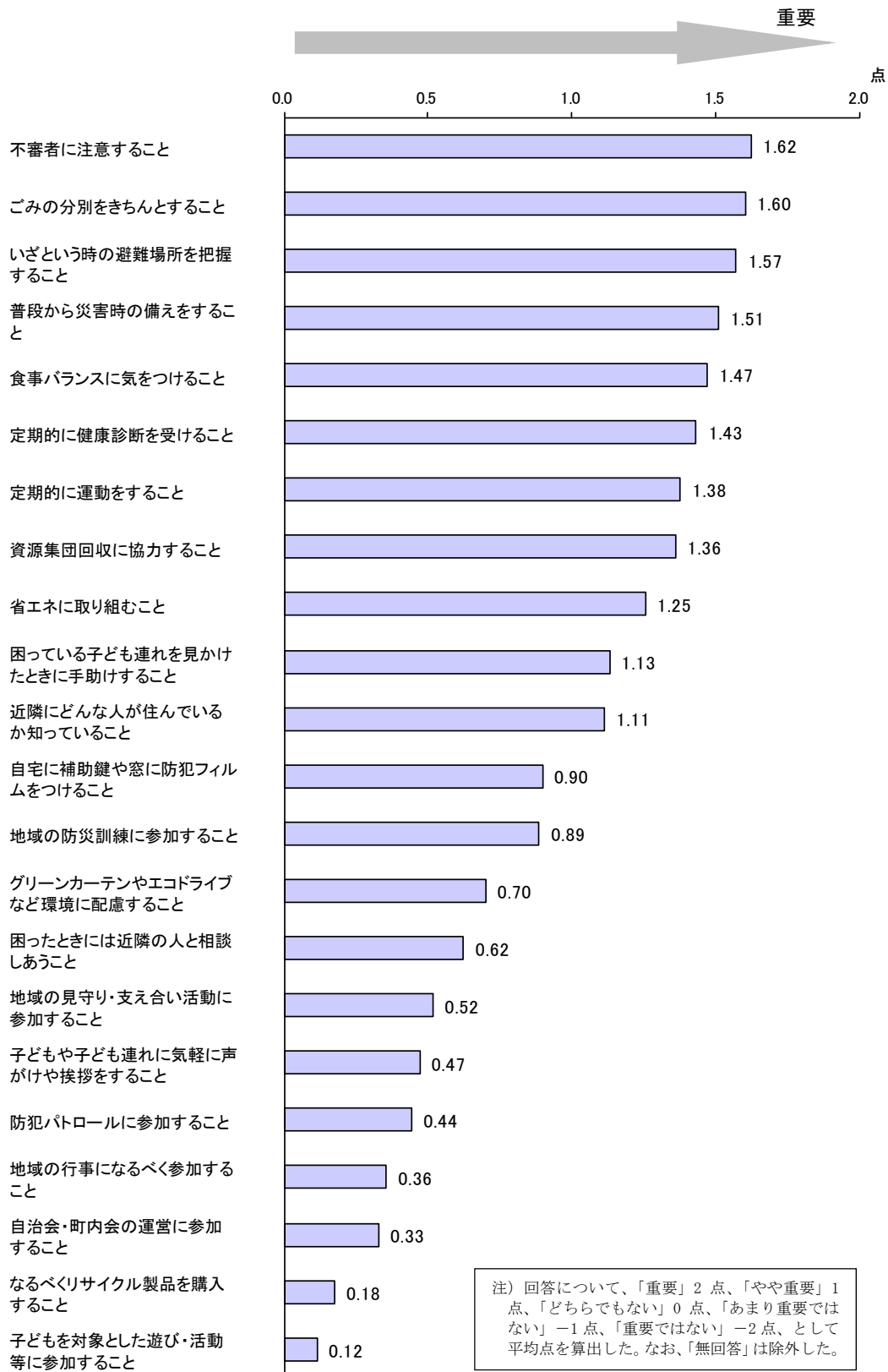
「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”の割合は、「ごみの分別をきちんとすること」が91.2%と最も多く、次いで「不審者に注意すること」が90.4%、「いざという時の避難場所を把握すること」が89.9%となっています。

また、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1割を超える項目は8項目で、地域のつながりに関する項目で「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計が高い傾向にあります。



(2) 普段生活するうえで重要だと思うこと（加重平均点による指標化）

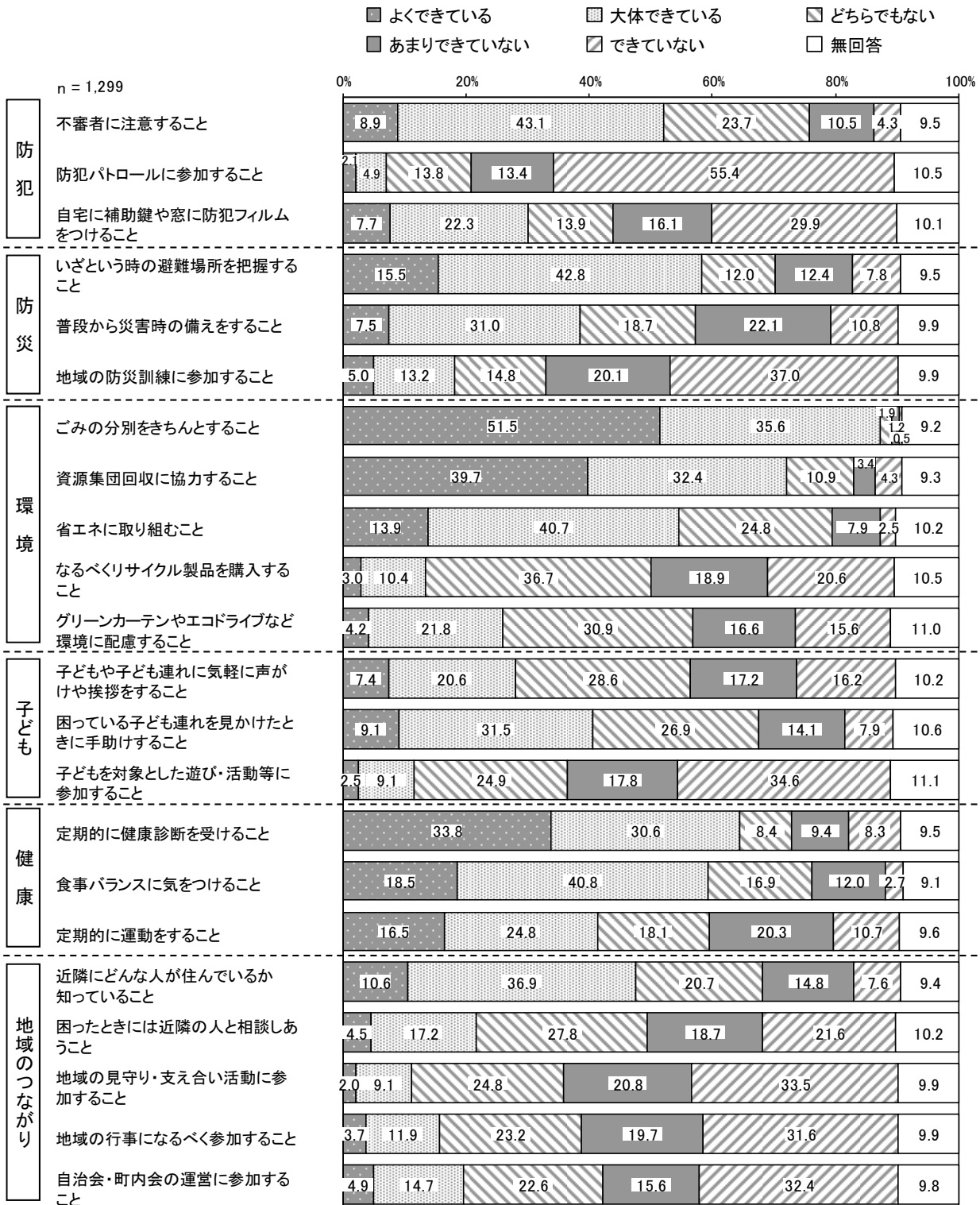
回答結果を得点化した場合でも、「不審者に注意すること」、「ごみの分別をきちんとすること」、「いざという時の避難場所を把握すること」が上位を占めています。



(3) あなた自身の取組状況

「よくできている」と「大体できている」を合わせた“できている”の割合は、「ごみの分別をきちんとすること」が87.1%と最も多く、次いで「資源集団回収に協力すること」が72.1%、「定期的に健康診断を受けること」が64.4%となっています。

また、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合は、「防犯パトロールに参加すること」が68.8%と最も多く、次いで「地域の防災訓練に参加すること」が57.1%、「地域の見守り・支え合い活動に参加すること」が54.3%となっています。

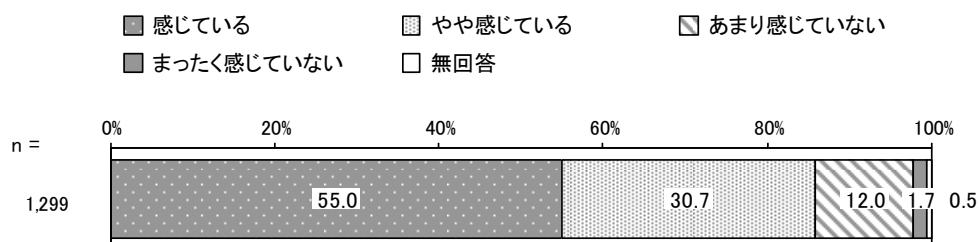


3 地域への愛着や、地域での活動について

問7 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。
(〇はそれぞれ1つ)

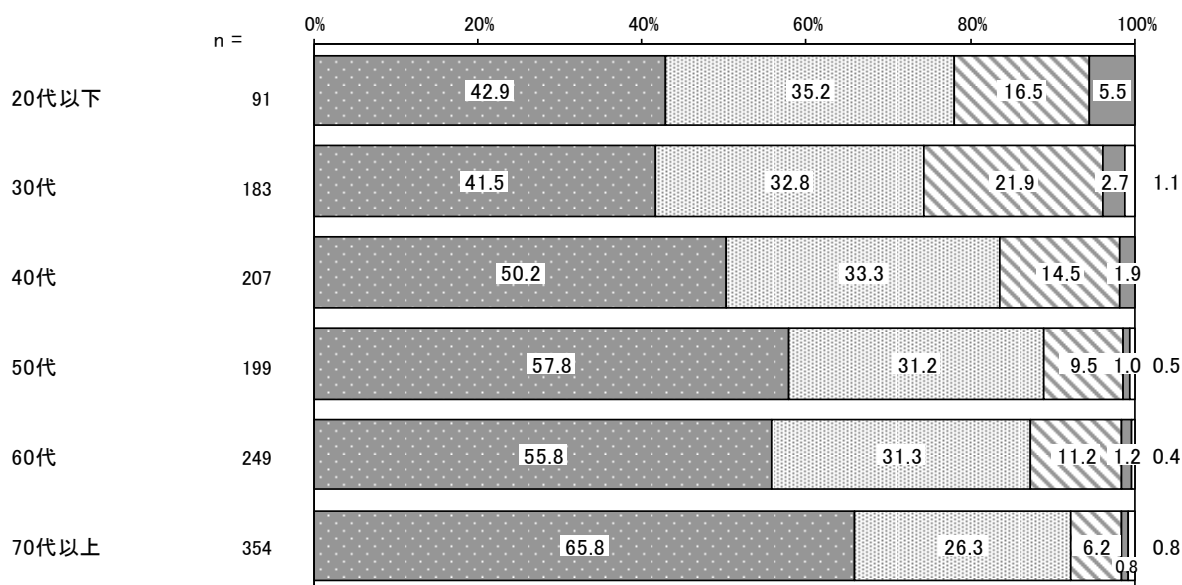
(ア) 横浜に対して

「感じている」と「やや感じている」をあわせた“感じている”の割合が85.7%、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が13.7%となっています。



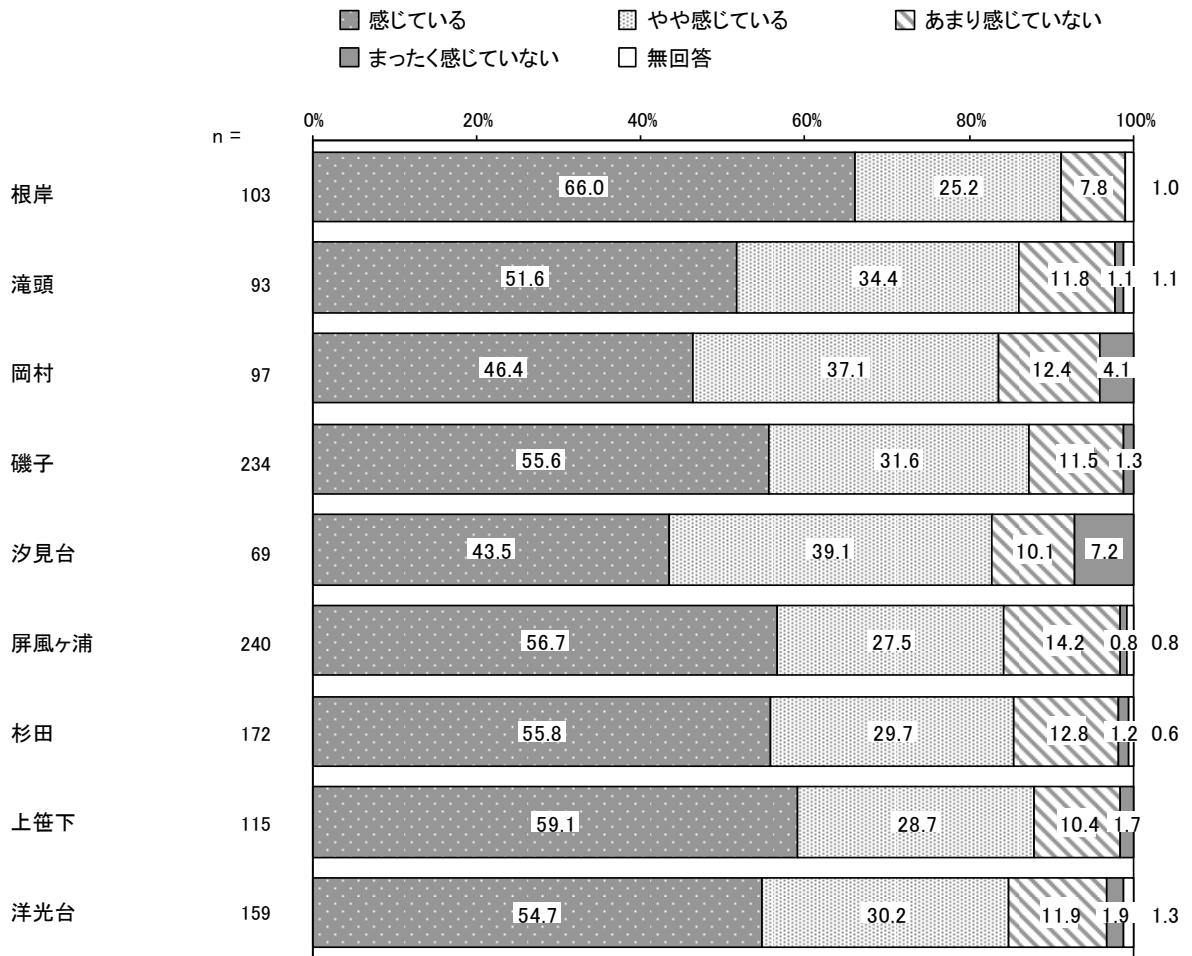
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。



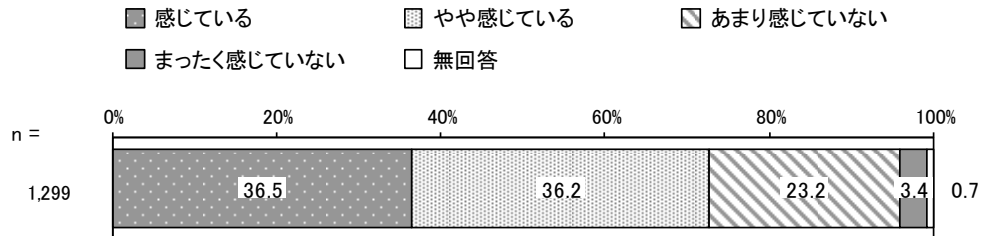
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸で“感じている”の割合が高くなっています。



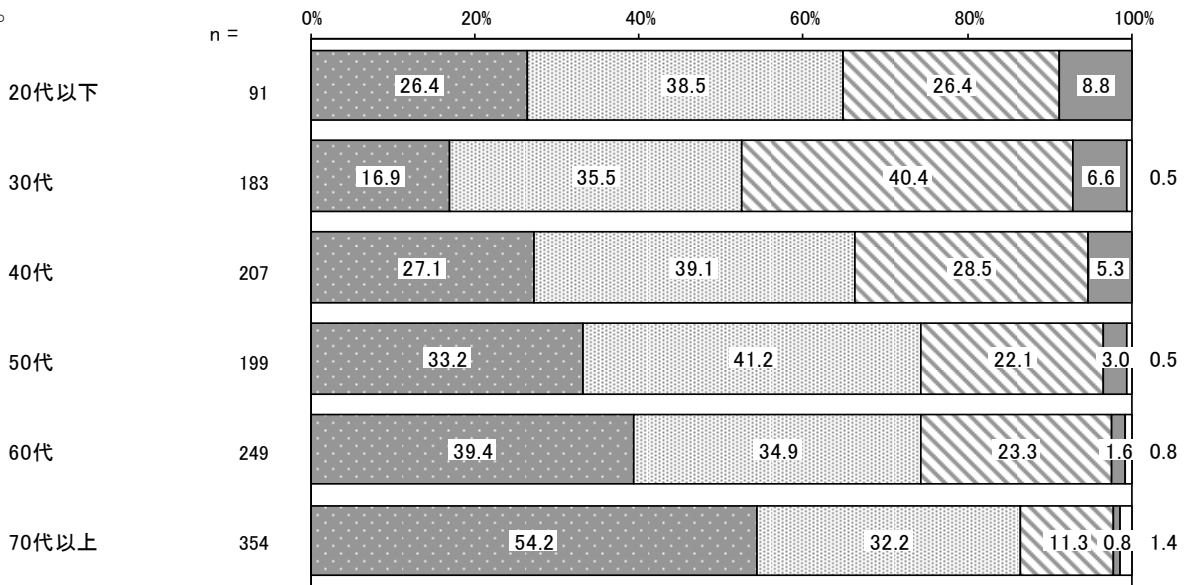
(イ) 磯子区に対して

「感じている」と「やや感じている」をあわせた“感じている”の割合が72.7%、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が26.6%となっています。



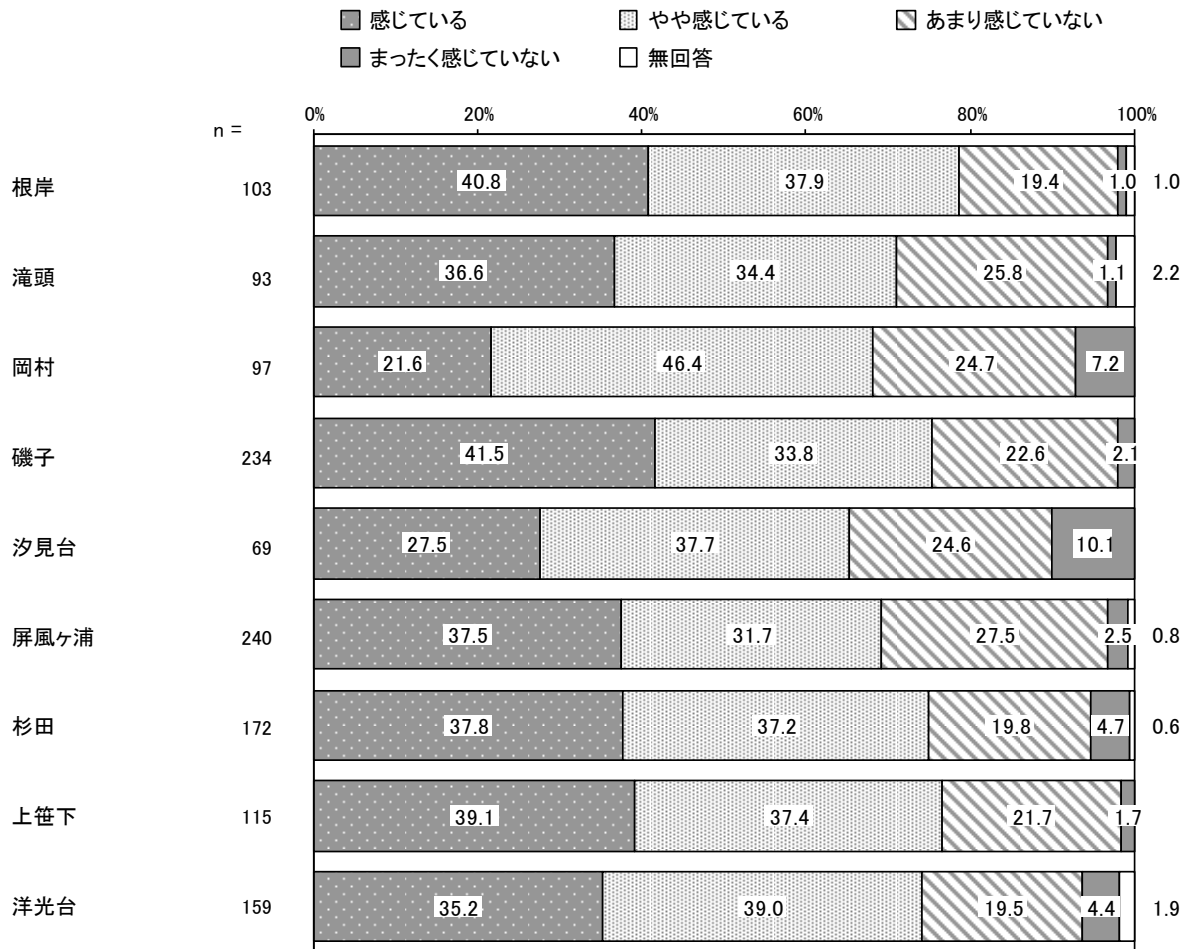
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。



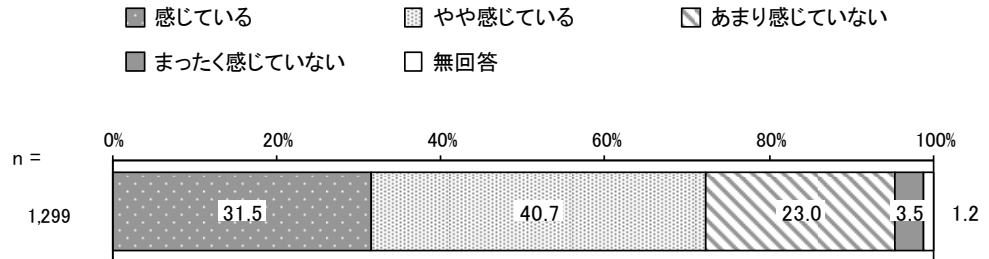
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸、磯子、杉田、上笹下、洋光台で“感じている”の割合が高くなっています。



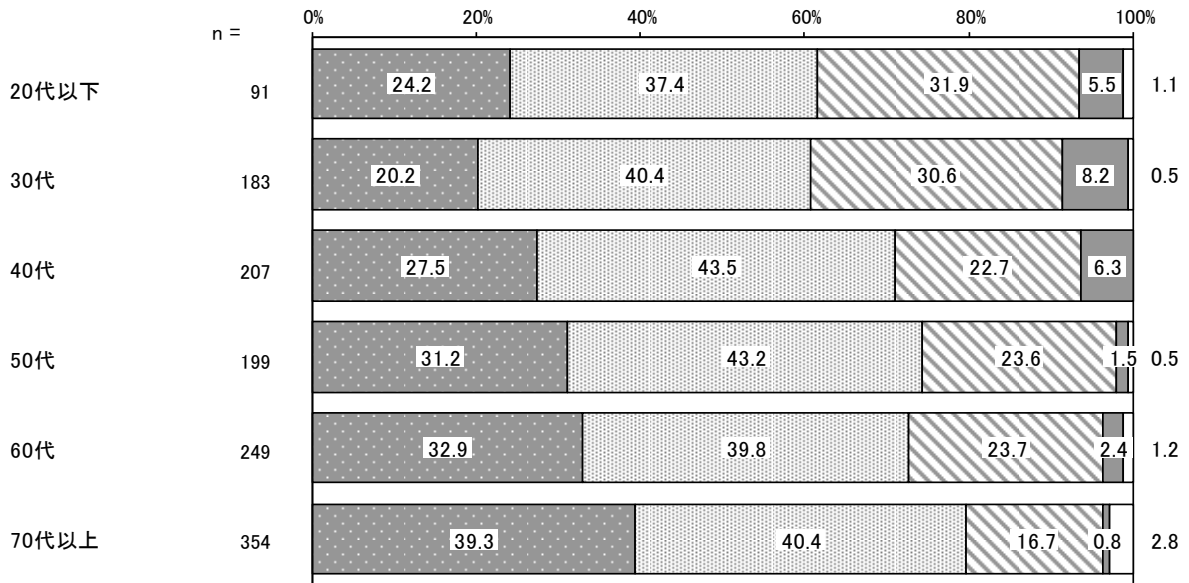
(ウ) 周辺の地域に対して

「感じている」と「やや感じている」をあわせた“感じている”の割合が72.2%、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が26.5%となっています。



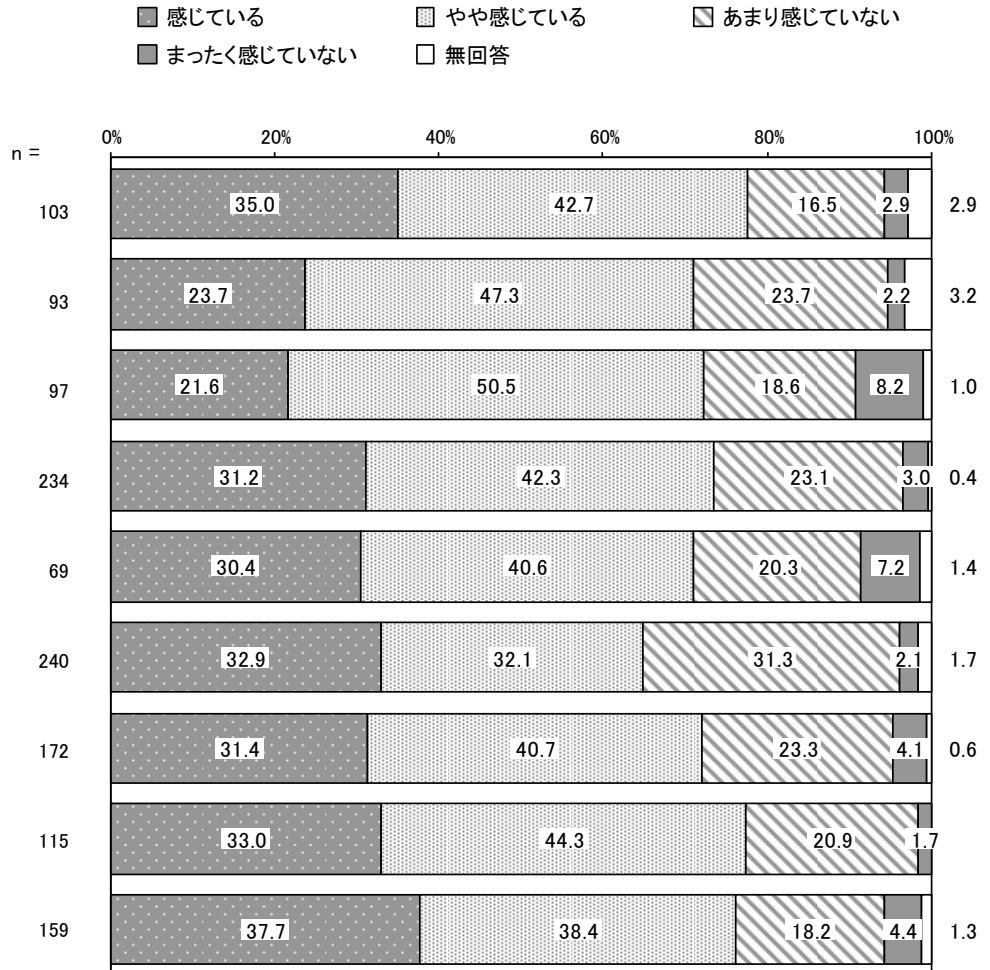
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“感じている”の割合が高くなる傾向がみられます。



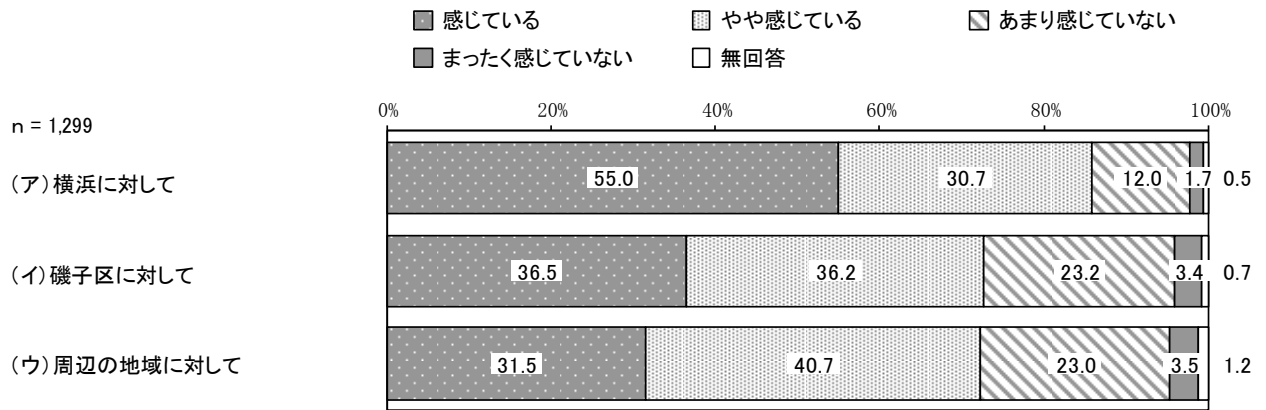
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸、上笹下、洋光台で“感じている”の割合が高くなっています。



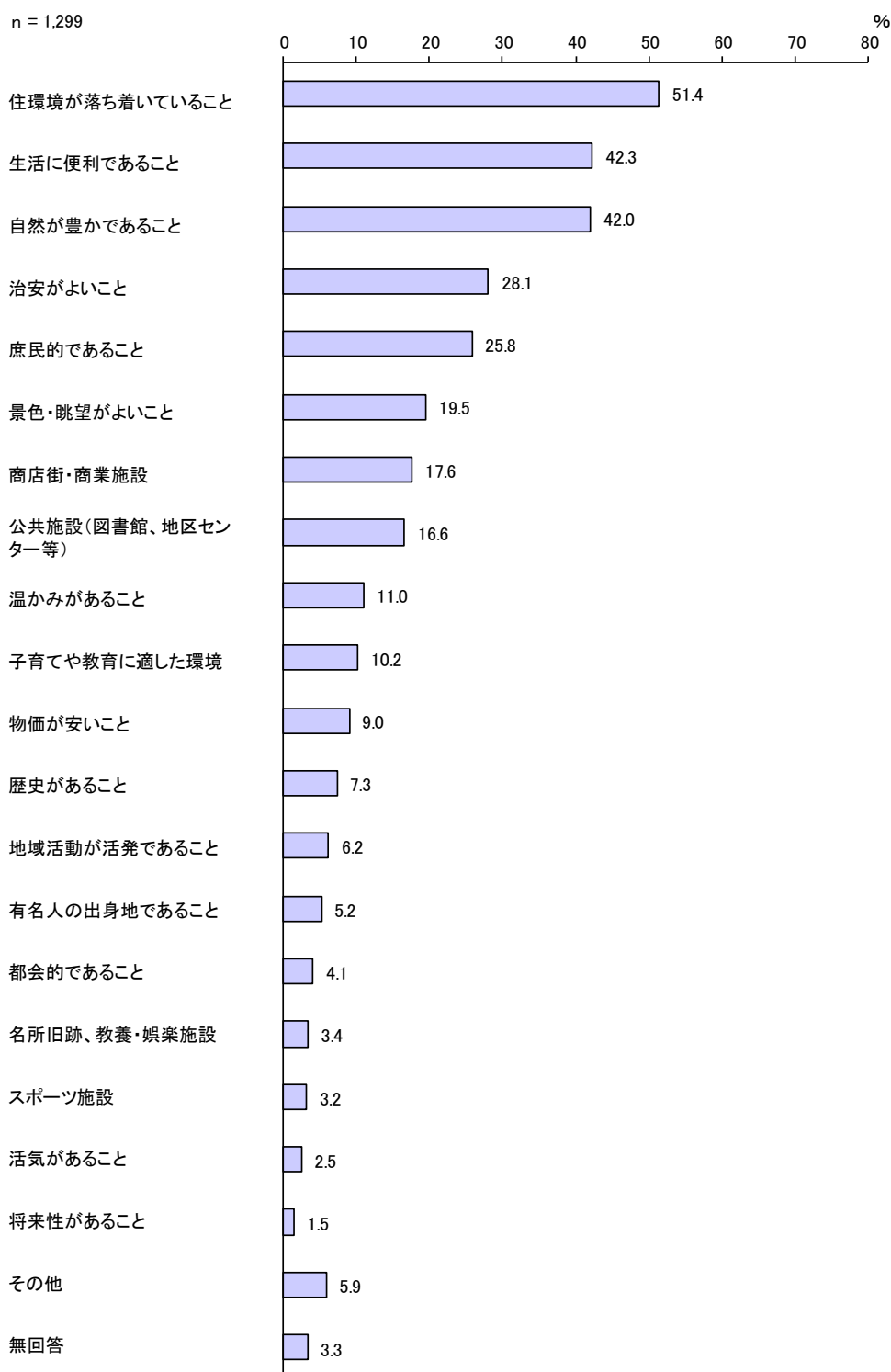
【横浜、磯子区、周辺の地域への愛着の比較】

横浜に対して「感じている」と「やや感じている」をあわせた“感じている”の割合が高くなっています。



問8 磯子区の魅力は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「住環境が落ち着いていること」の割合が51.4%と最も高く、次いで「生活に便利であること」の割合が42.3%、「自然が豊かであること」の割合が42.0%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「自然が豊かであること」「生活に便利であること」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自然が豊かであること	商店街・商業施設	名所旧跡、教養・娯楽施設	地域活動が活発であること	子育てや教育に適した環境	有名人の出身地であること	スポーツ施設	都会的であること	物価が安いこと	温かみがあること
20代以下	91	35.2	20.9	3.3	4.4	8.8	7.7	2.2	3.3	7.7	11.0
30代	183	33.3	14.8	1.1	2.2	14.2	9.3	1.1	3.3	4.9	9.8
40代	207	38.2	15.5	1.4	5.8	15.0	4.8	1.9	2.4	3.9	8.2
50代	199	38.7	16.6	2.5	3.5	7.0	5.5	3.0	2.0	9.5	9.5
60代	249	46.2	15.3	4.0	6.4	6.0	1.2	2.0	2.0	10.4	9.2
70代以上	354	49.7	22.6	5.9	9.9	10.2	4.5	6.2	8.5	13.3	15.0

区分	住環境が落ちていること	景色・眺望がよいこと	生活に便利であること	治安がよいこと	公共施設(図書館、地区センター等)	歴史があること	活気があること	庶民的であること	将来性があること	その他	無回答
20代以下	54.9	14.3	35.2	27.5	13.2	6.6	2.2	23.1	1.1	4.4	1.1
30代	47.5	15.3	30.6	19.7	9.3	2.2	1.6	26.2	0.5	7.7	3.3
40代	49.8	21.3	38.6	25.6	14.0	6.3	2.4	24.2	—	7.7	2.4
50代	55.3	14.6	40.2	24.1	9.5	5.0	2.0	26.1	1.0	6.0	3.5
60代	48.6	24.5	47.0	30.1	13.3	7.6	2.8	25.7	2.4	4.8	2.8
70代以上	53.7	21.5	49.7	35.3	29.1	11.3	3.4	27.4	2.5	4.8	4.5

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、岡村、上笹下で「自然が豊かであること」の割合が、根岸、滝頭、磯子、汐見台、洋光台で「住環境が落ち着いていること」の割合が高くなっています。また、滝頭、屏風ヶ浦、杉田で「生活に便利であること」の割合が高くなっています。

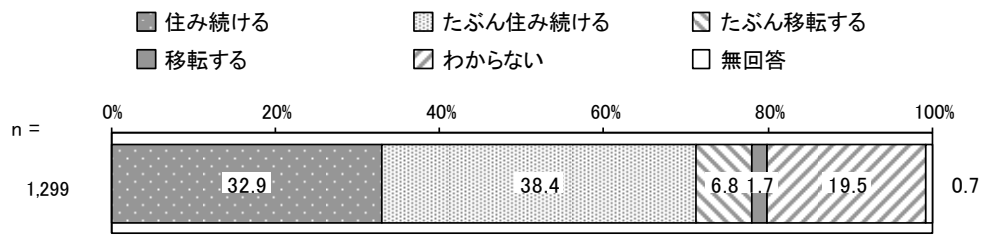
単位：%

区分	有効回答数(件)	自然が豊かであること	商店街・商業施設	名所旧跡、教養・娯楽施設	地域活動が活発であること	子育てや教育に適した環境	有名人の出身地であること	スポーツ施設	都会的であること	物価が安いこと	温かみがあること
根岸	103	35.9	13.6	4.9	8.7	6.8	7.8	1.9	4.9	1.9	16.5
滝頭	93	31.2	15.1	3.2	6.5	5.4	15.1	1.1	3.2	11.8	16.1
岡村	97	49.5	8.2	7.2	7.2	11.3	12.4	3.1	3.1	6.2	10.3
磯子	234	36.8	17.1	3.4	5.1	10.7	4.3	6.0	5.6	9.4	10.7
汐見台	69	72.5	8.7	2.9	4.3	18.8	—	—	4.3	1.4	8.7
屏風ヶ浦	240	29.2	20.4	1.7	5.4	7.1	1.7	2.5	3.8	8.8	7.9
杉田	172	37.2	34.9	3.5	5.8	7.0	5.8	4.7	7.0	20.9	14.5
上笹下	115	62.6	11.3	1.7	8.7	10.4	5.2	3.5	1.7	6.1	7.8
洋光台	159	52.2	14.5	3.8	5.0	18.2	1.9	1.3	1.9	5.7	10.1

区分	住環境が落ち着いていること	景色・眺望がよいこと	生活に便利であること	治安がよいこと	公共施設(図書館、地区センター等)	歴史があること	活気があること	庶民的であること	将来性があること	その他	無回答
根岸	51.5	6.8	47.6	30.1	16.5	5.8	1.9	31.1	—	2.9	3.9
滝頭	39.8	12.9	39.8	29.0	11.8	10.8	4.3	24.7	2.2	8.6	7.5
岡村	47.4	23.7	24.7	21.6	12.4	12.4	—	20.6	—	4.1	5.2
磯子	48.7	24.8	41.9	29.5	29.1	9.4	3.4	24.8	0.9	7.7	3.4
汐見台	73.9	34.8	29.0	36.2	7.2	2.9	1.4	14.5	2.9	2.9	—
屏風ヶ浦	48.8	17.9	53.3	25.4	16.3	4.2	2.1	26.7	0.4	5.4	2.9
杉田	40.7	19.2	48.3	26.2	18.0	7.6	5.2	39.0	4.1	7.6	1.7
上笹下	57.4	18.3	24.3	24.3	11.3	10.4	1.7	26.1	2.6	5.2	0.9
洋光台	69.2	18.9	48.4	35.2	11.3	3.8	1.3	15.7	1.3	4.4	4.4

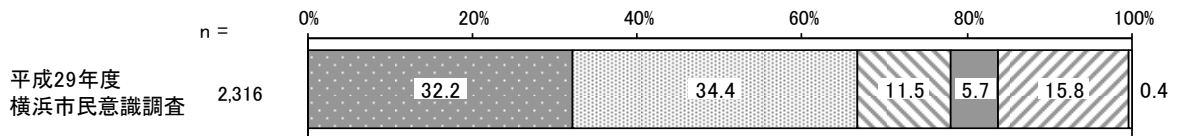
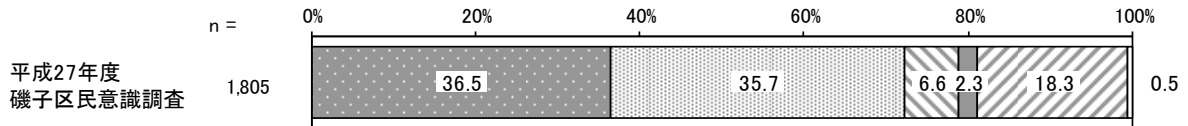
問9 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた“定住意向”の割合が71.3%、「たぶん移転する」と「移転する」を合わせた“非定住意向”が8.5%となっています。



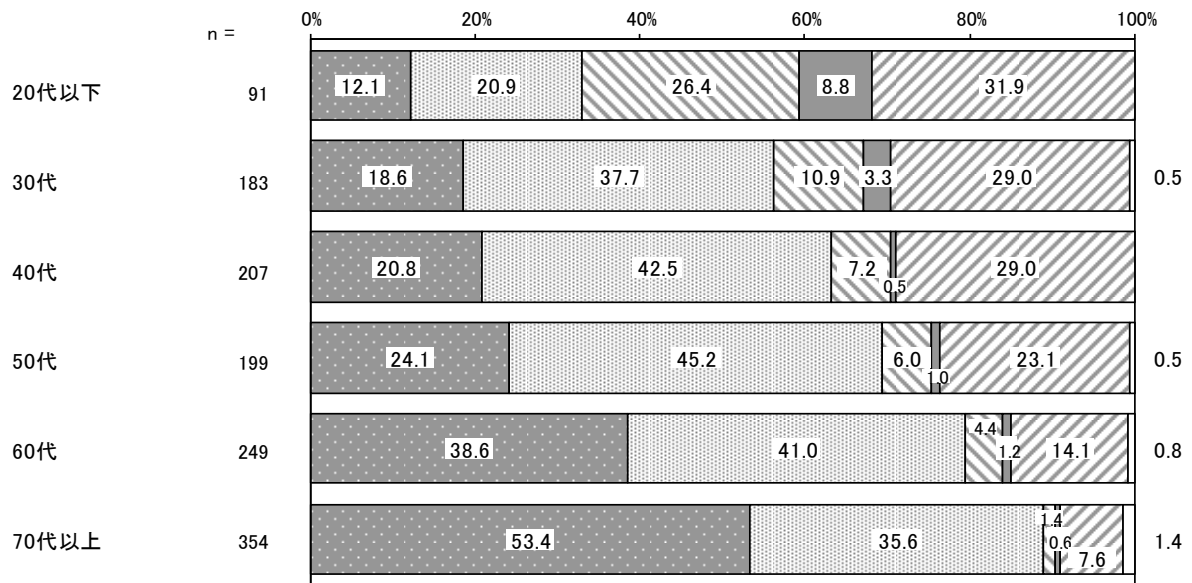
【前回及び市民意識調査との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、“定住意向”が0.9ポイント低くなっています。横浜市市民意識調査の結果と比較すると、“定住意向”が、4.7ポイント高くなっています。



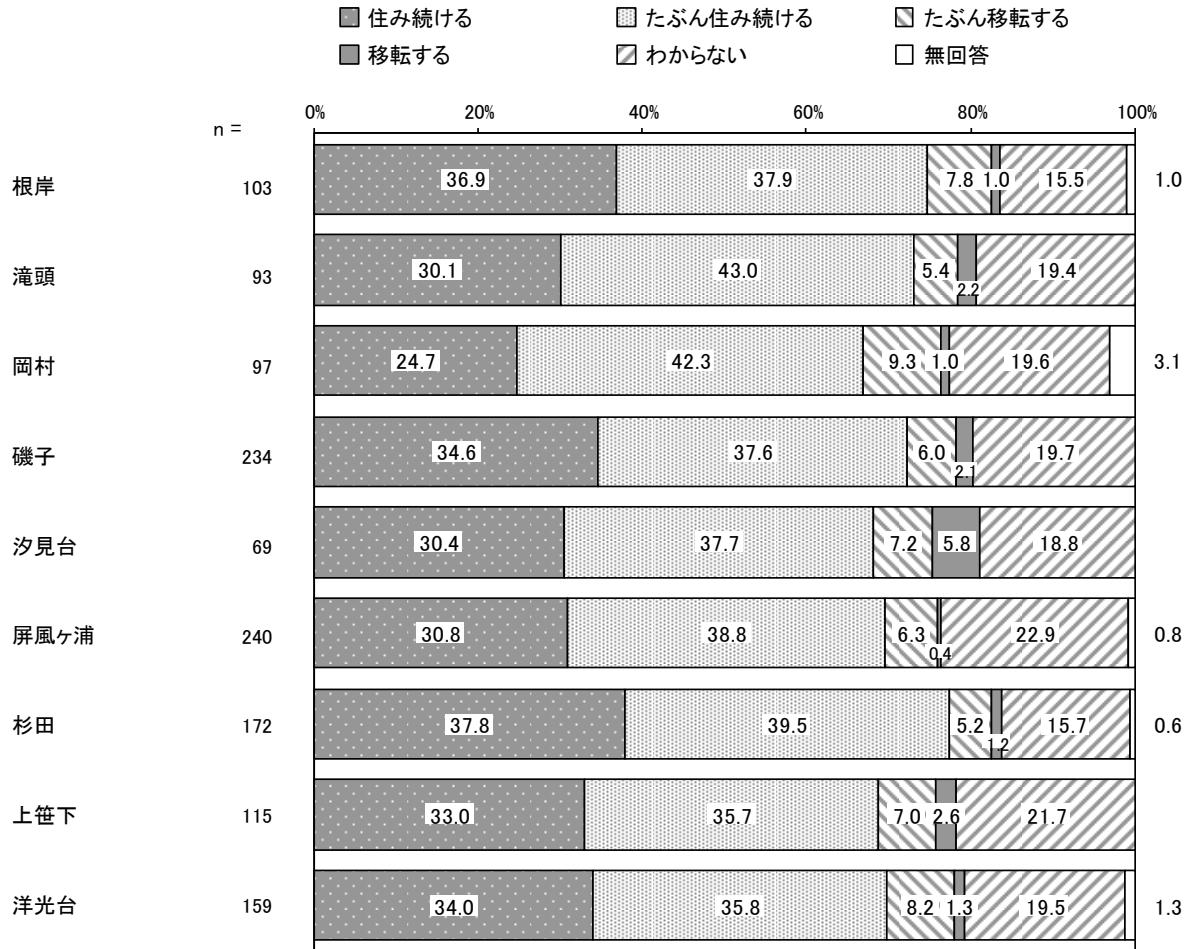
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて“定住意向”の割合が高くなっています。



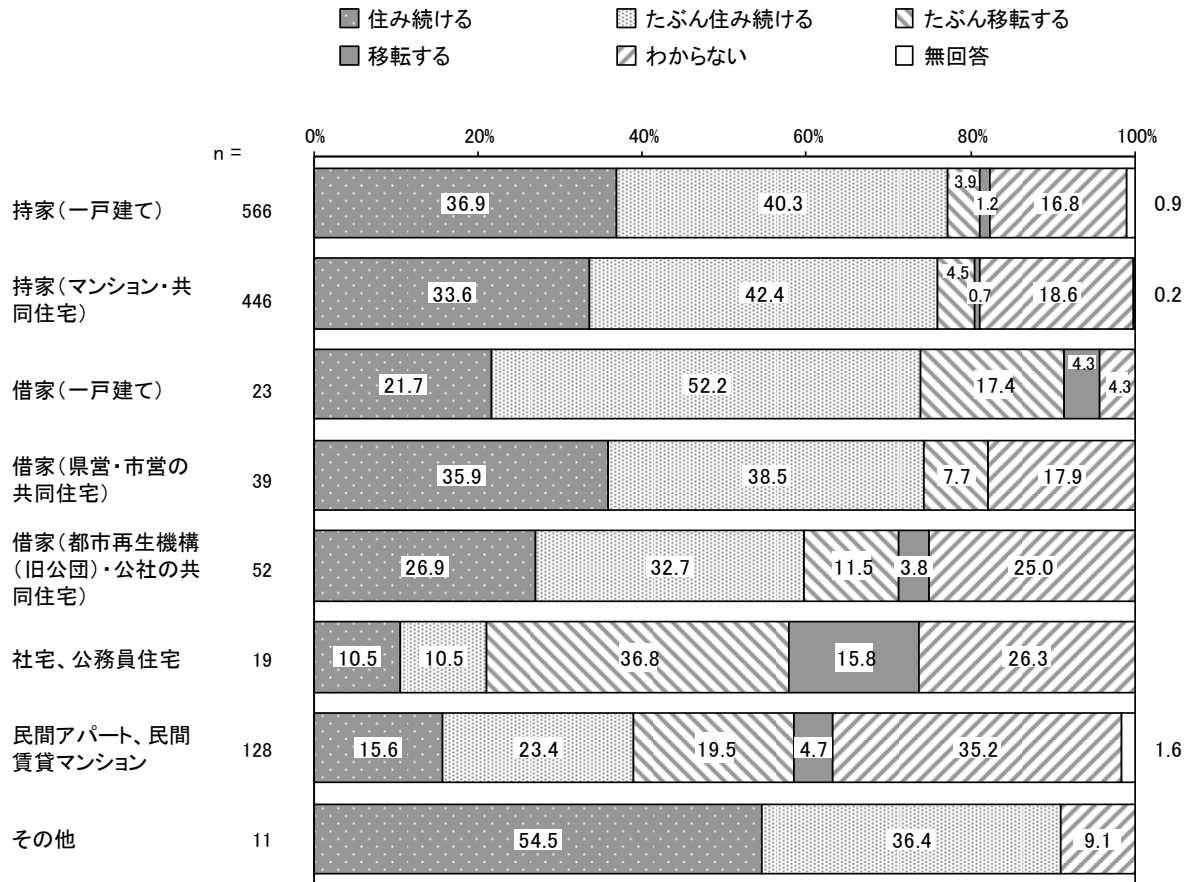
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸、杉田で「住み続ける」の割合が高くなっています。



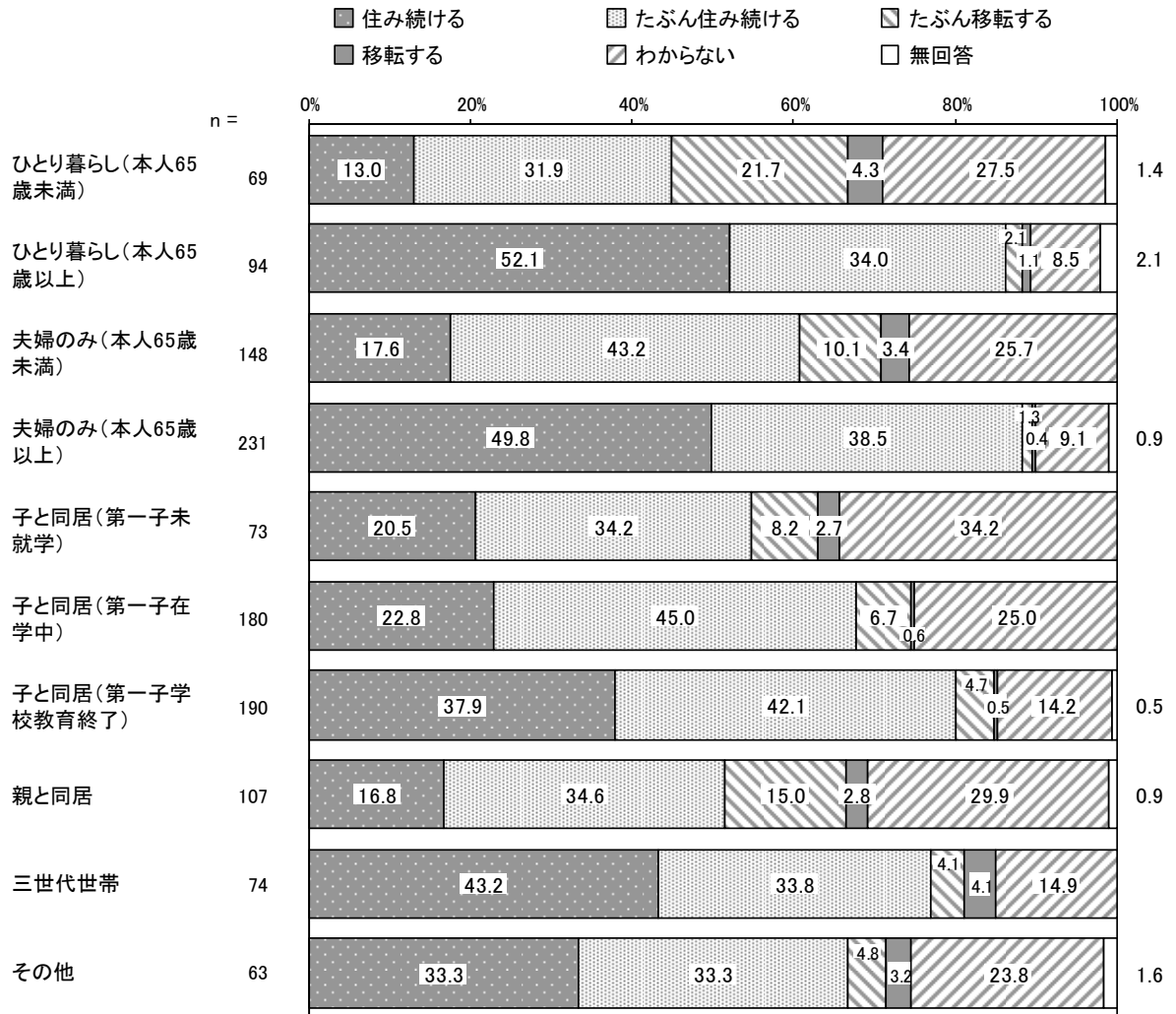
【住まい別】

住まい別でみると、他に比べ、「社宅、公務員住宅」、「民間アパート、民間賃貸マンション」で“定住意向”の割合が低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、ひとり暮らし（本人65歳未満）、夫婦のみ（本人65歳未満）で“定住意向”の割合が低くなっています。



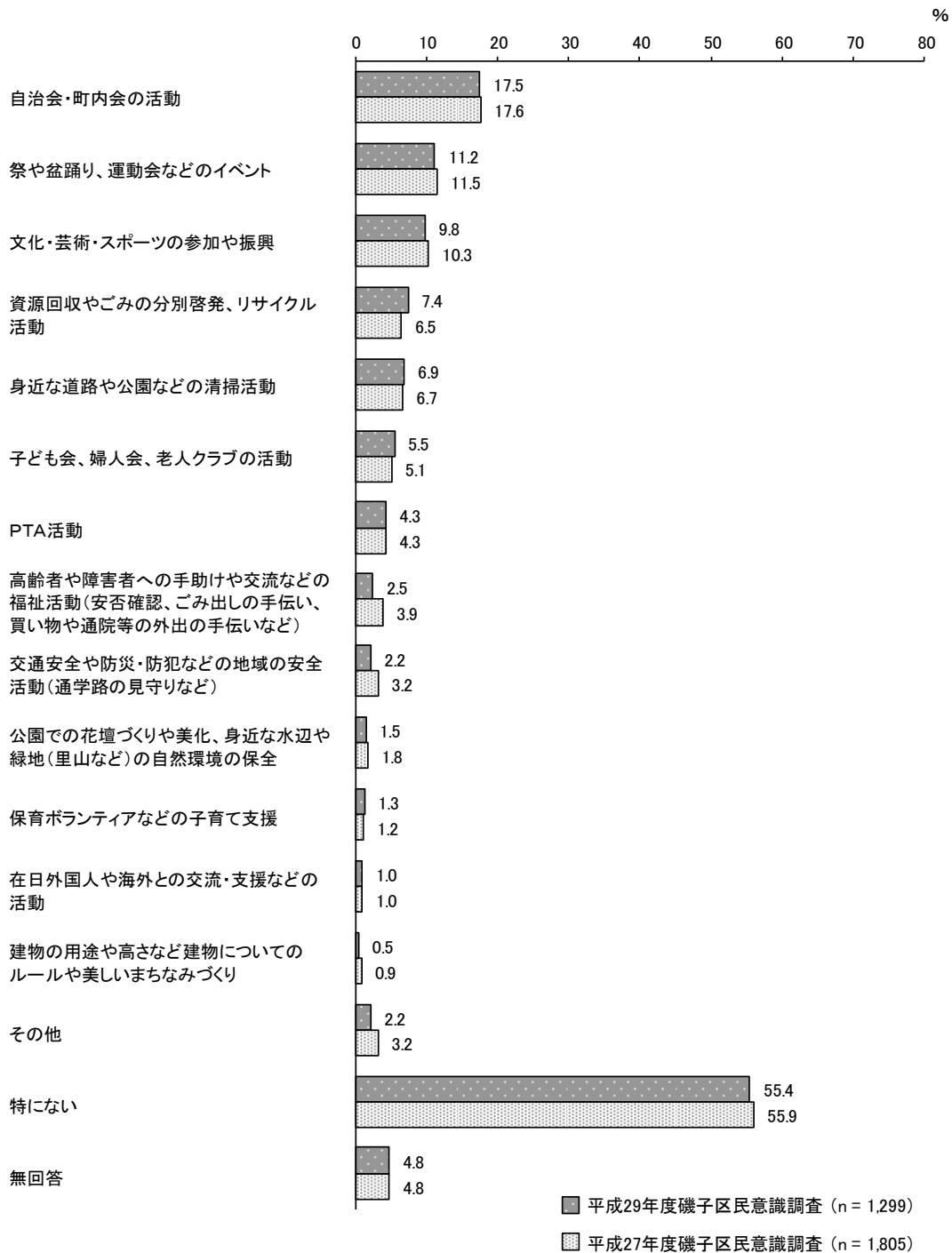
問 10 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。
(〇はいくつでも)

「自治会・町内会の活動」の割合が 17.5%と最も高く、次いで「祭や盆踊り、運動会などのイベント」の割合が 11.2%、「文化・芸術・スポーツの参加や振興」の割合が 9.8%となっています。



【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では年代が高くなるにつれて「自治会・町内会の活動」の割合が高くなる傾向がみられます。

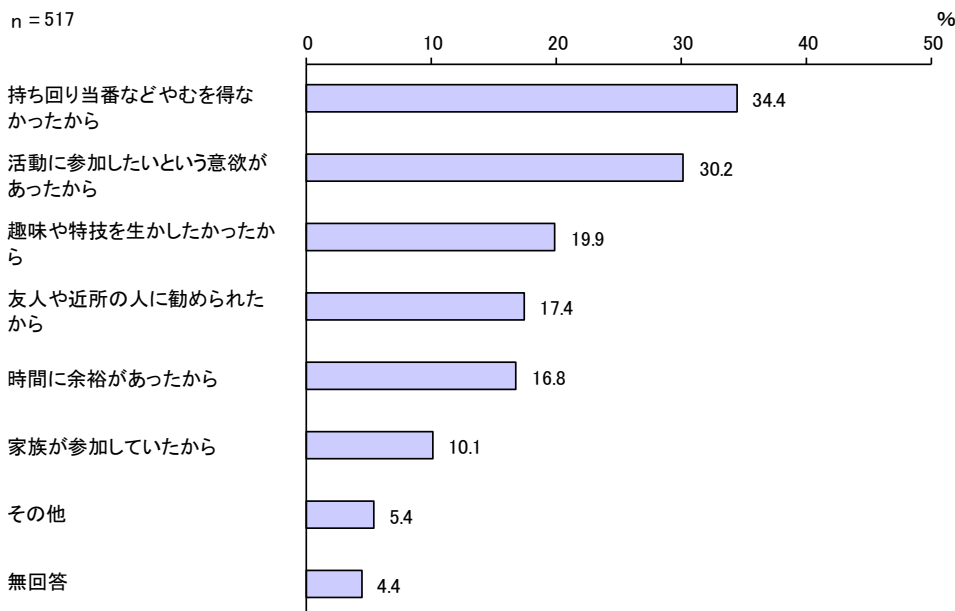
単位：％

区分	有効回答数(件)	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動(安否確認、「こみ出しの手伝い、買い物や通院等の外出の手伝いなど)	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動	公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地(里山など)の自然環境の保全	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	自治会・町内会の活動
男性 20代以下	37	—	—	5.4	10.8	—	2.7	2.7	8.1
30代	72	2.8	4.2	12.5	15.3	4.2	—	—	8.3
40代	69	—	4.3	11.6	8.7	4.3	—	2.9	14.5
50代	82	1.2	4.9	8.5	1.2	7.3	2.4	1.2	11.0
60代	118	0.8	2.5	12.7	14.4	8.5	1.7	—	16.9
70代以上	154	6.5	11.7	11.0	8.4	5.8	1.3	1.3	19.5
女性 20代以下	54	—	1.9	7.4	7.4	3.7	—	3.7	—
30代	110	0.9	6.4	3.6	13.6	2.7	—	0.9	11.8
40代	138	0.7	4.3	8.0	18.8	5.1	0.7	—	17.4
50代	115	2.6	5.2	6.1	10.4	8.7	0.9	—	17.4
60代	128	4.7	7.8	12.5	10.9	8.6	2.3	1.6	29.7
70代以上	194	4.1	12.4	12.9	9.3	16.0	4.1	1.0	26.8

区分	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	P T A活動	保育ボランティアなどの子育て支援	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動(通学路の見守りなど)	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	その他	特にない	無回答
男性 20代以下	—	—	—	—	—	—	78.4	2.7
30代	4.2	—	—	2.8	—	1.4	61.1	4.2
40代	2.9	4.3	1.4	—	—	—	68.1	1.4
50代	—	1.2	—	2.4	—	1.2	70.7	1.2
60代	1.7	—	0.8	0.8	1.7	2.5	56.8	5.1
70代以上	5.2	—	—	3.9	1.3	4.5	52.6	8.4
女性 20代以下	1.9	—	1.9	—	—	—	74.1	3.7
30代	13.6	15.5	1.8	3.6	—	0.9	60.0	2.7
40代	11.6	18.1	1.4	5.8	0.7	2.2	51.4	2.9
50代	0.9	7.8	6.1	0.9	—	1.7	60.9	0.9
60代	4.7	—	0.8	1.6	—	3.9	48.4	1.6
70代以上	9.3	0.5	1.0	1.5	0.5	2.6	37.1	11.3

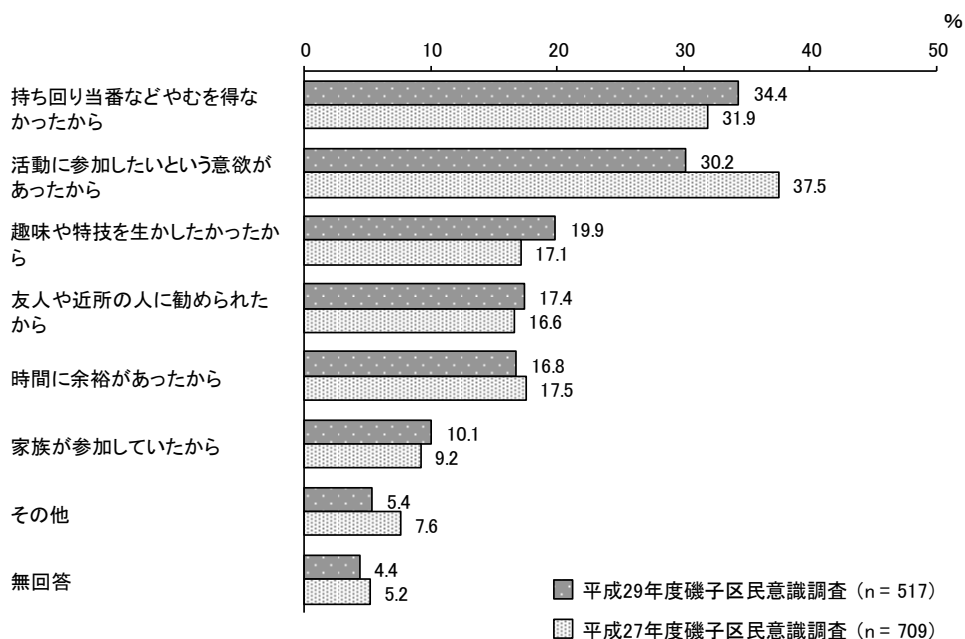
問10-1 問10で参加している活動があると答えた方にお伺いします。あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「持ち回り当番などやむを得なかったから」の割合が34.4%と最も高く、次いで「活動に参加したいという意欲があったから」の割合が30.2%、「趣味や特技を生かしたかったから」の割合が19.9%となっています。



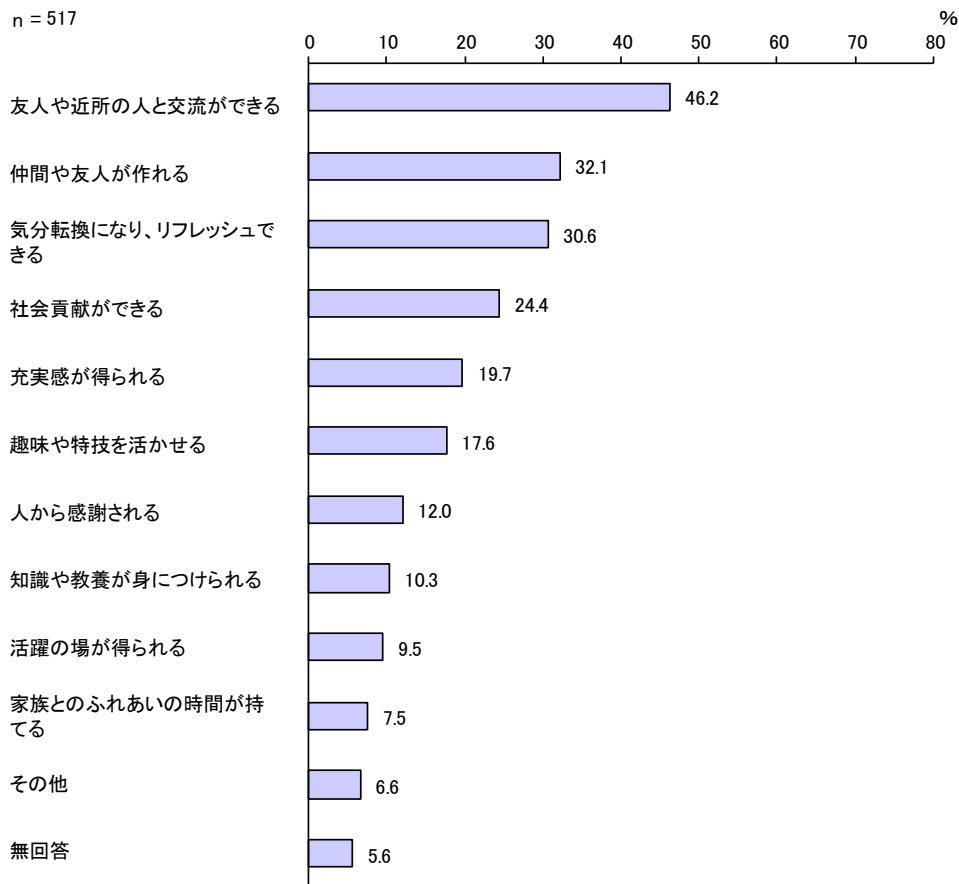
【前回との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、「活動に参加したいという意欲があったから」の割合が低くなっています。



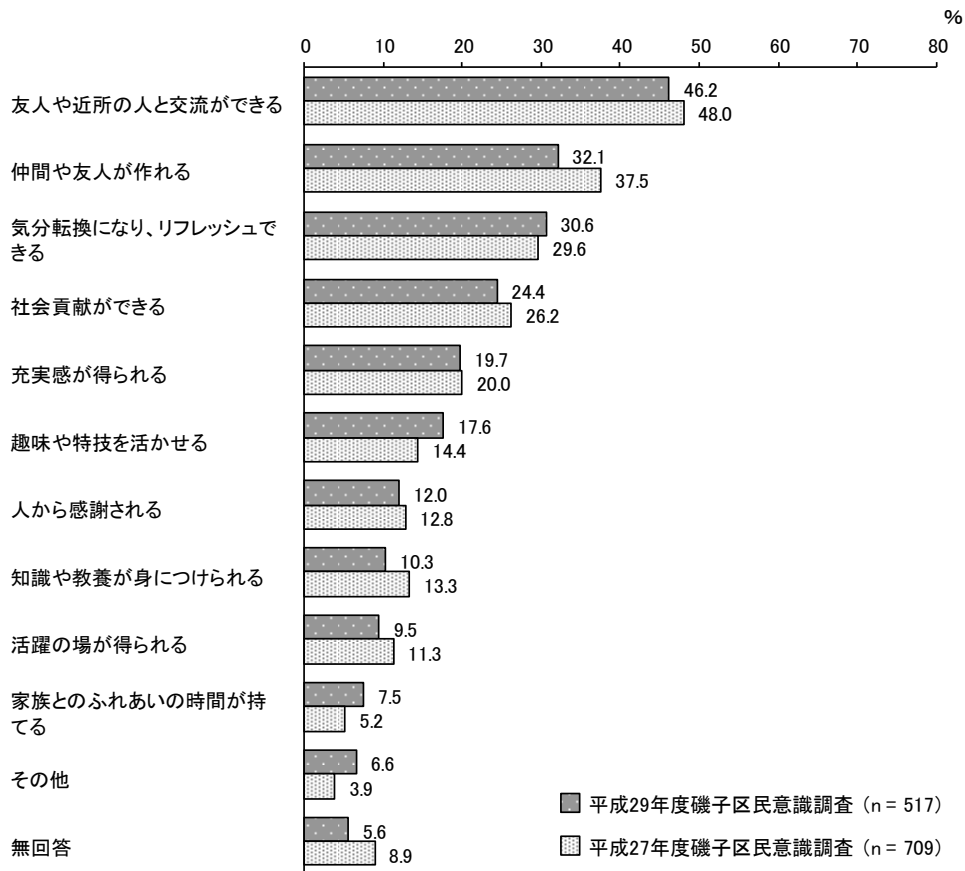
問 10-2 問 10 で参加している活動があると答えた方にお伺いします。活動に参加する楽しみは何ですか。(〇はいくつでも)

「友人や近所の人と交流ができる」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「仲間や友人が作れる」の割合が 32.1%、「気分転換になり、リフレッシュできる」の割合が 30.6%となっています。



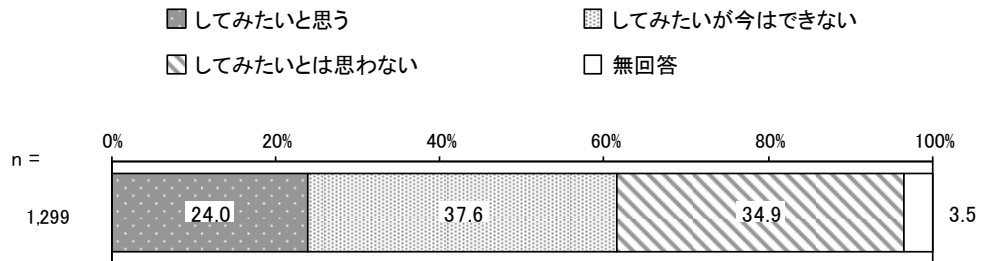
【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、「仲間や友人が作れる」の割合が低くなっています。



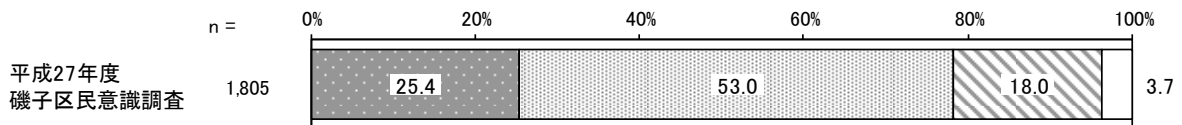
問11 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

「してみたいが今はできない」の割合が37.6%と最も高く、次いで「してみたいとは思わない」の割合が34.9%、「してみたいと思う」の割合が24.0%となっています。



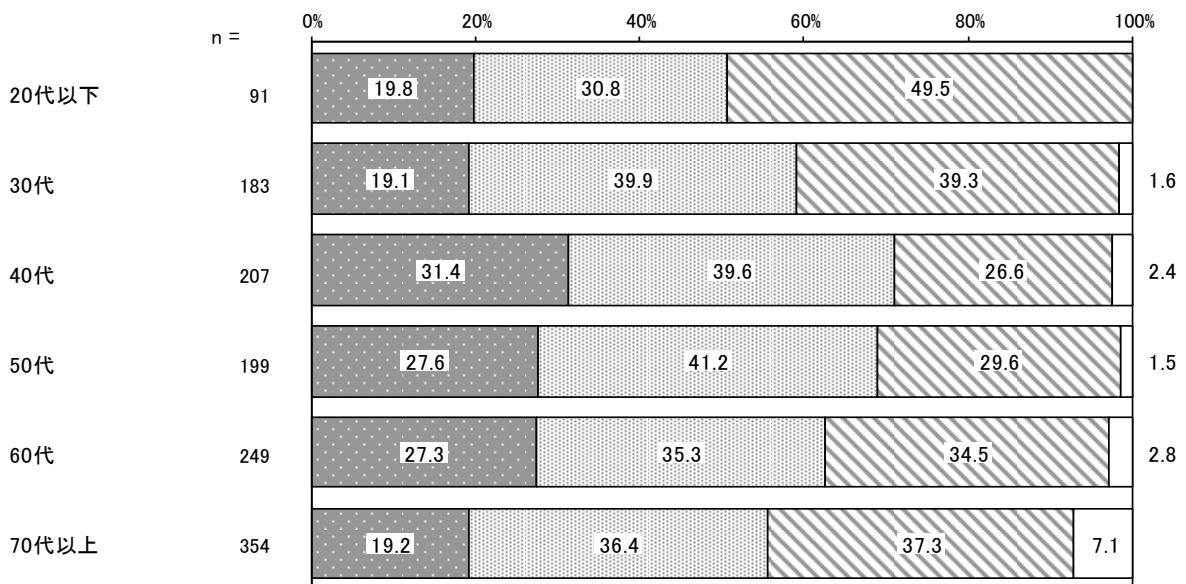
【前回との比較】

平成27年度調査の結果と比較すると、「してみたいとは思わない」の割合が高くなっています。



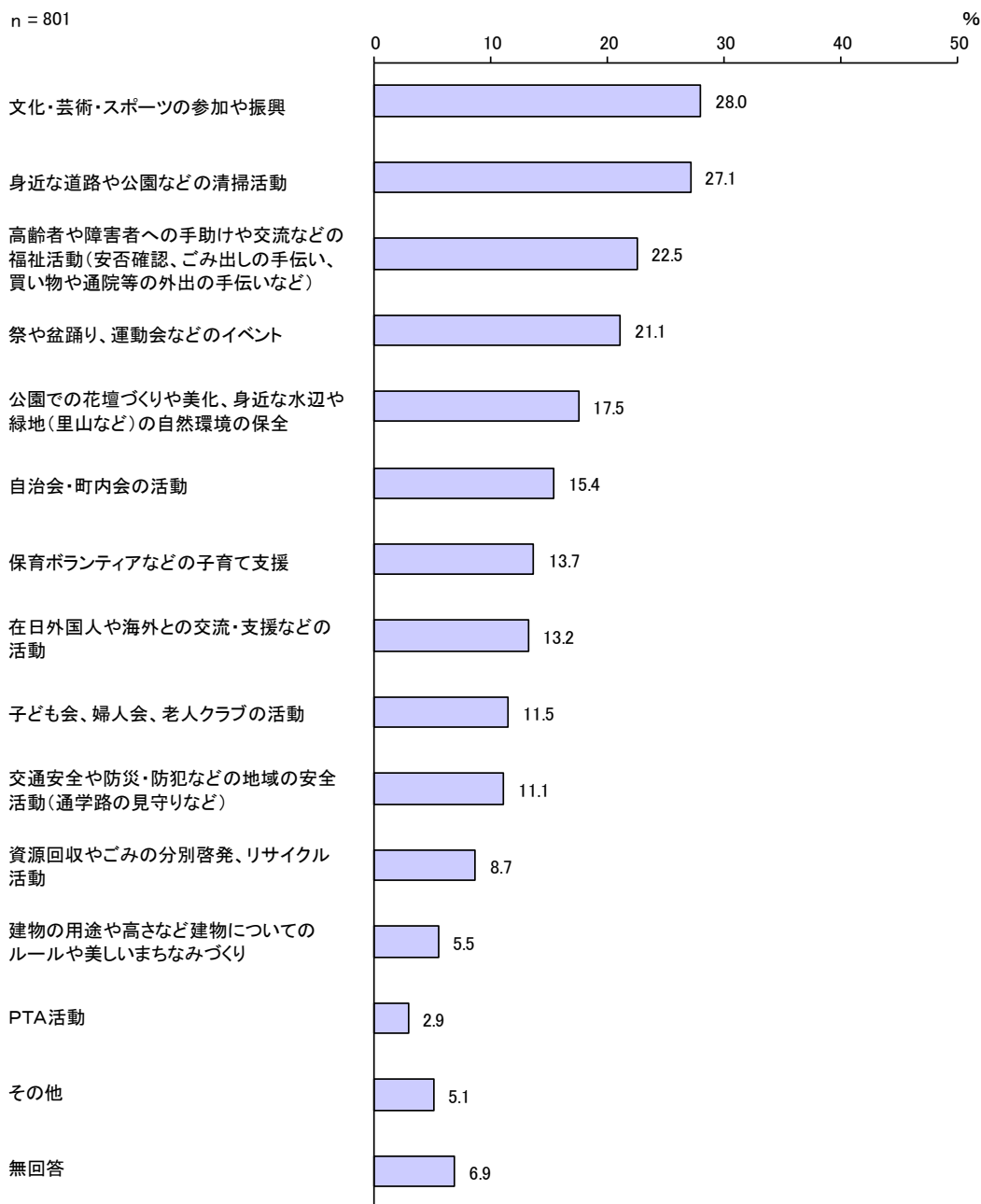
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40代で「してみたいと思う」の割合が高くなっています。



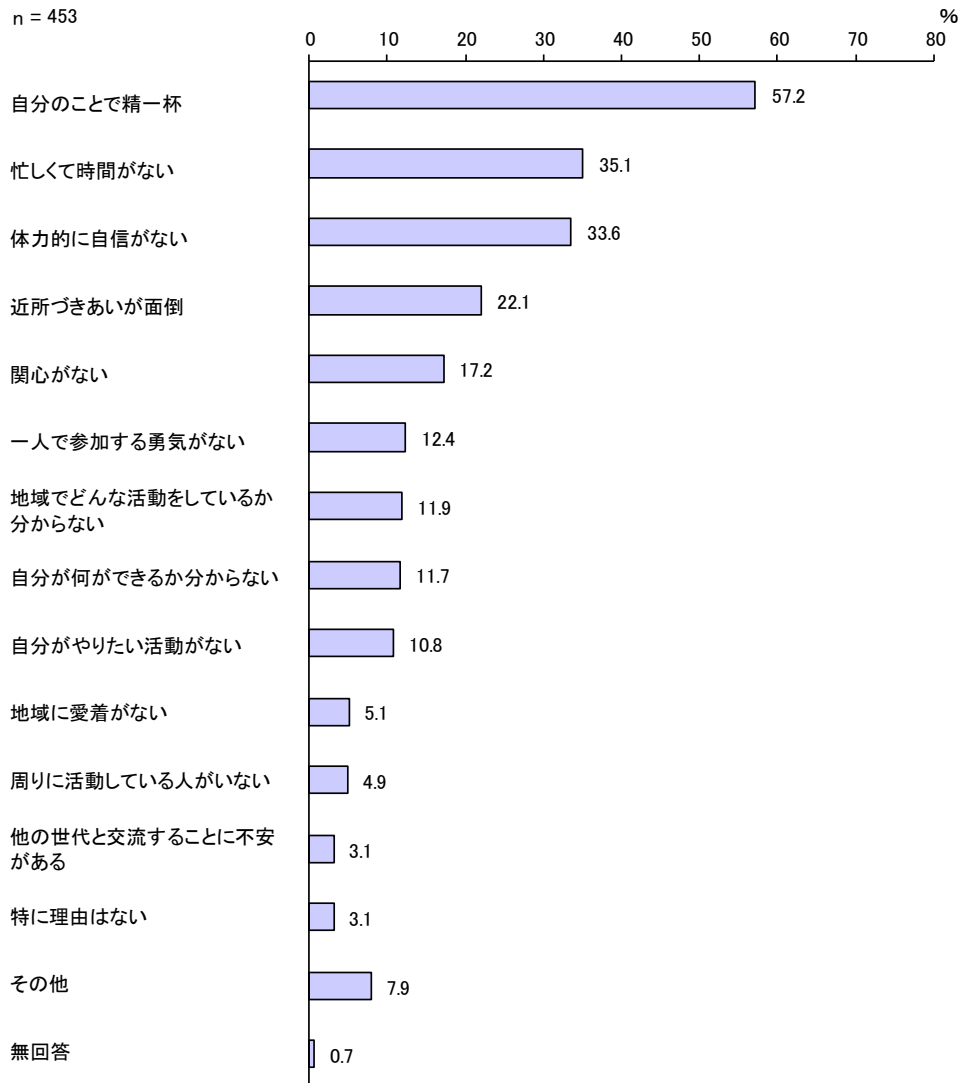
問11-1 問11で「してみたいと思う」、「してみたいが今はできない」と答えた方にお伺いします。どのような活動であれば参加できますか。(〇はいくつでも)

「文化・芸術・スポーツの参加や振興」の割合が28.0%と最も高く、次いで「身近な道路や公園などの清掃活動」の割合が27.1%、「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動（安否確認、ごみ出しの手伝い、買い物や通院等の外出の手伝いなど）」の割合が22.5%となっています。



問 11-2 問 11 で「してみたいとは思わない」と答えた方にお伺いします。してみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「自分のことで精一杯」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」の割合が 35.1%、「体力的に自信がない」の割合が 33.6%となっています。

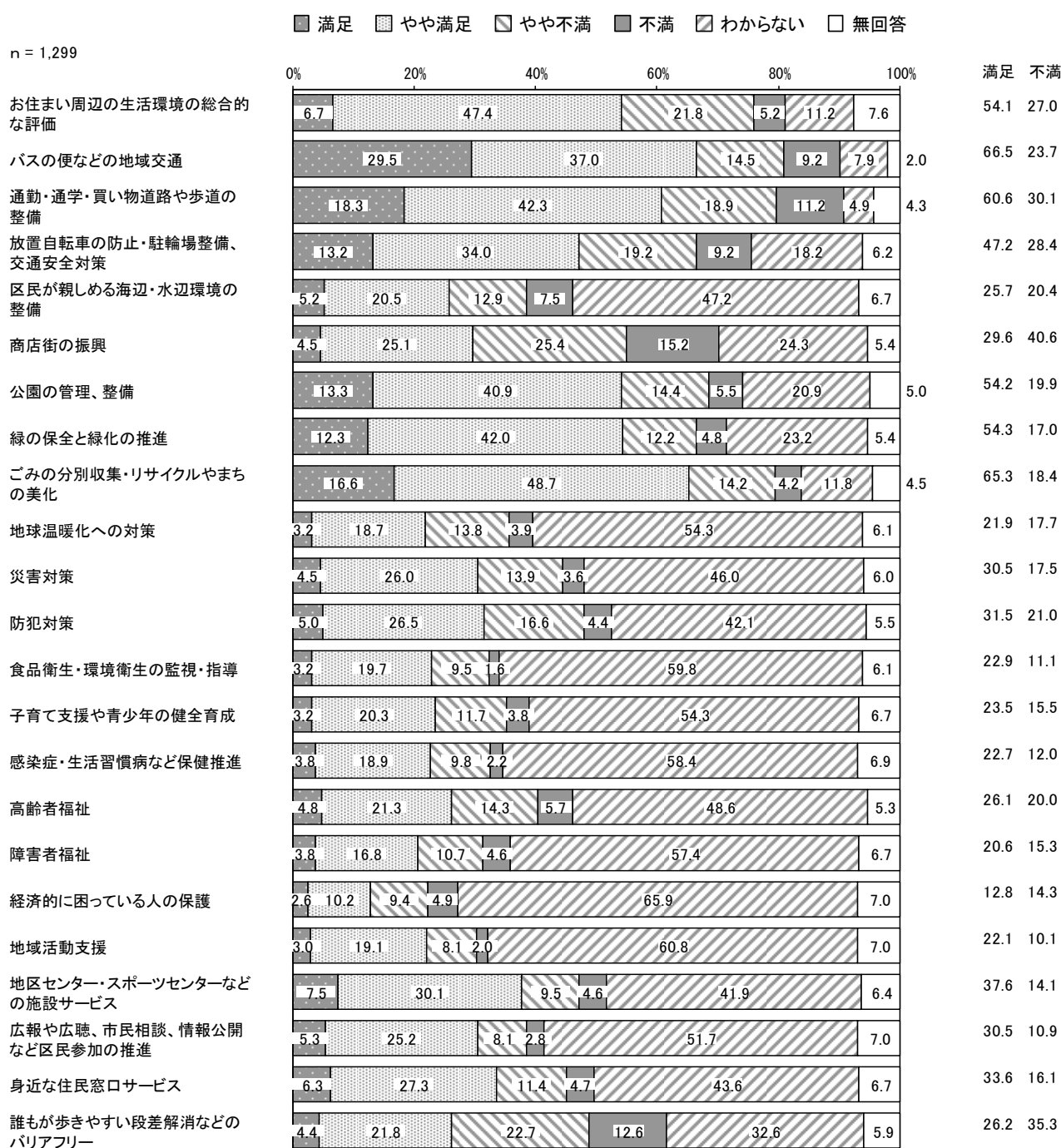


4 生活環境全般に対する満足度・重要度について

問 12 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。(項目ごとに、「満足度」、「以前と比べて」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

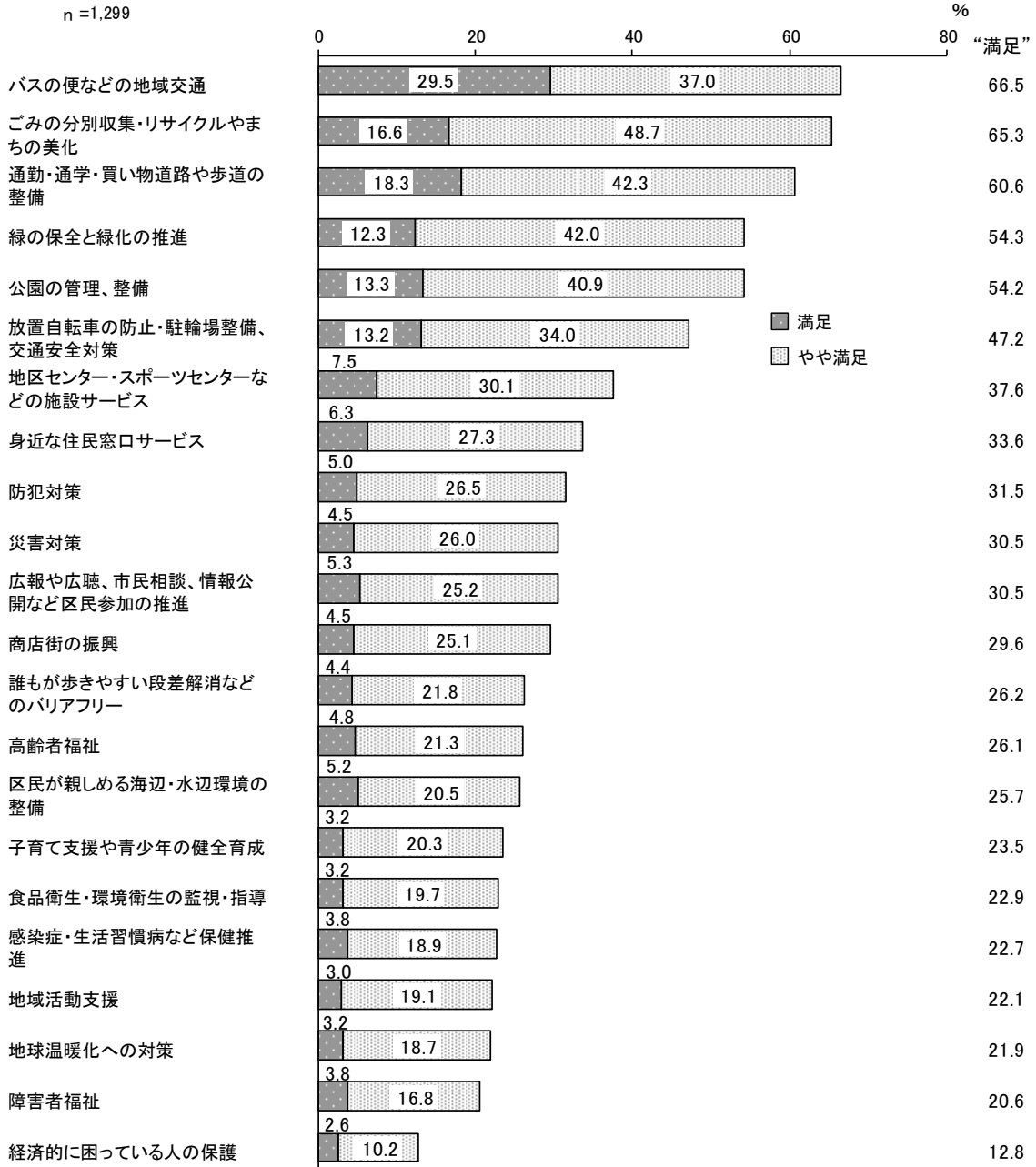
(1) 満足度

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合は、「バスの便などの地域交通」が66.5%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が65.3%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が60.6%となっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合は、「商店街の振興」が40.6%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が35.3%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が30.1%となっています。



(2) 住まいの周辺の生活環境に対する項目別の「満足」、「やや満足」の割合

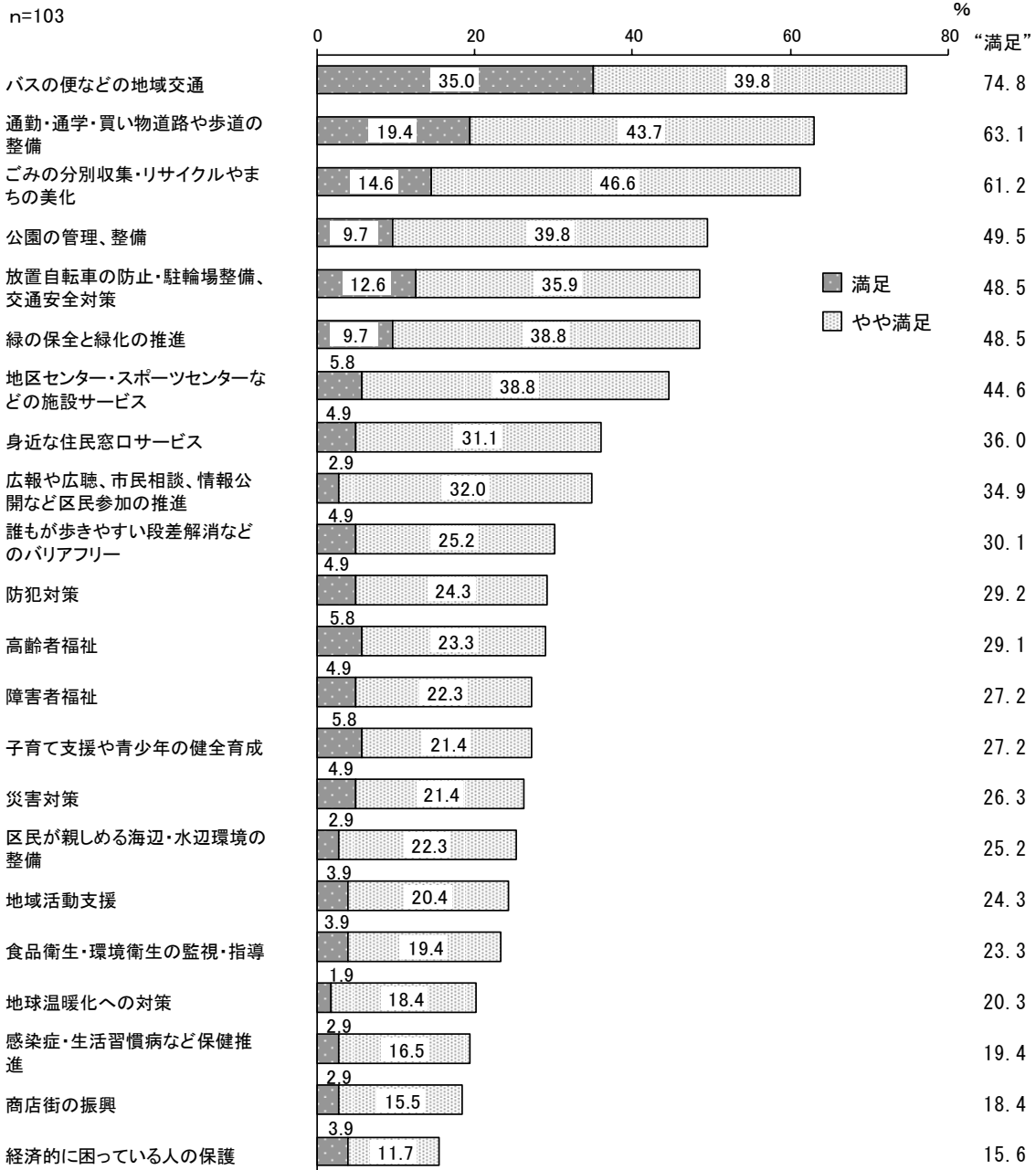
住まいの周辺の生活環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」の合計が高い順に並べると、「バスの便などの地域交通」が66.5%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が65.3%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が60.6%となっています。一方、「経済的に困っている人の保護」「障害者福祉」「地球温暖化への対策」などが低くなっています。



【地区別】

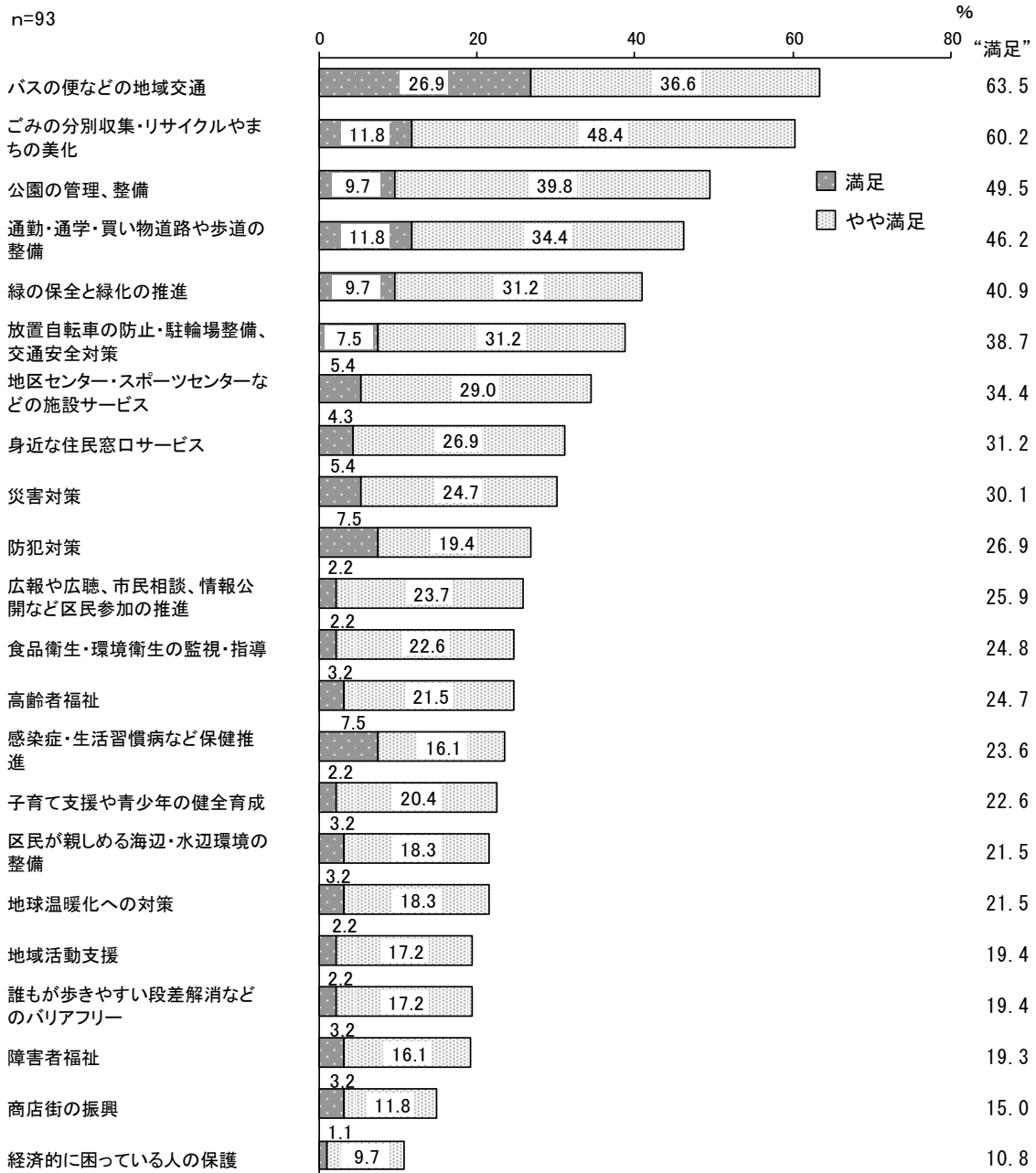
①根岸

「バスの便などの地域交通」が74.8%と最も高く、次いで「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が63.1%、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が61.2%となっています。



② 滝頭

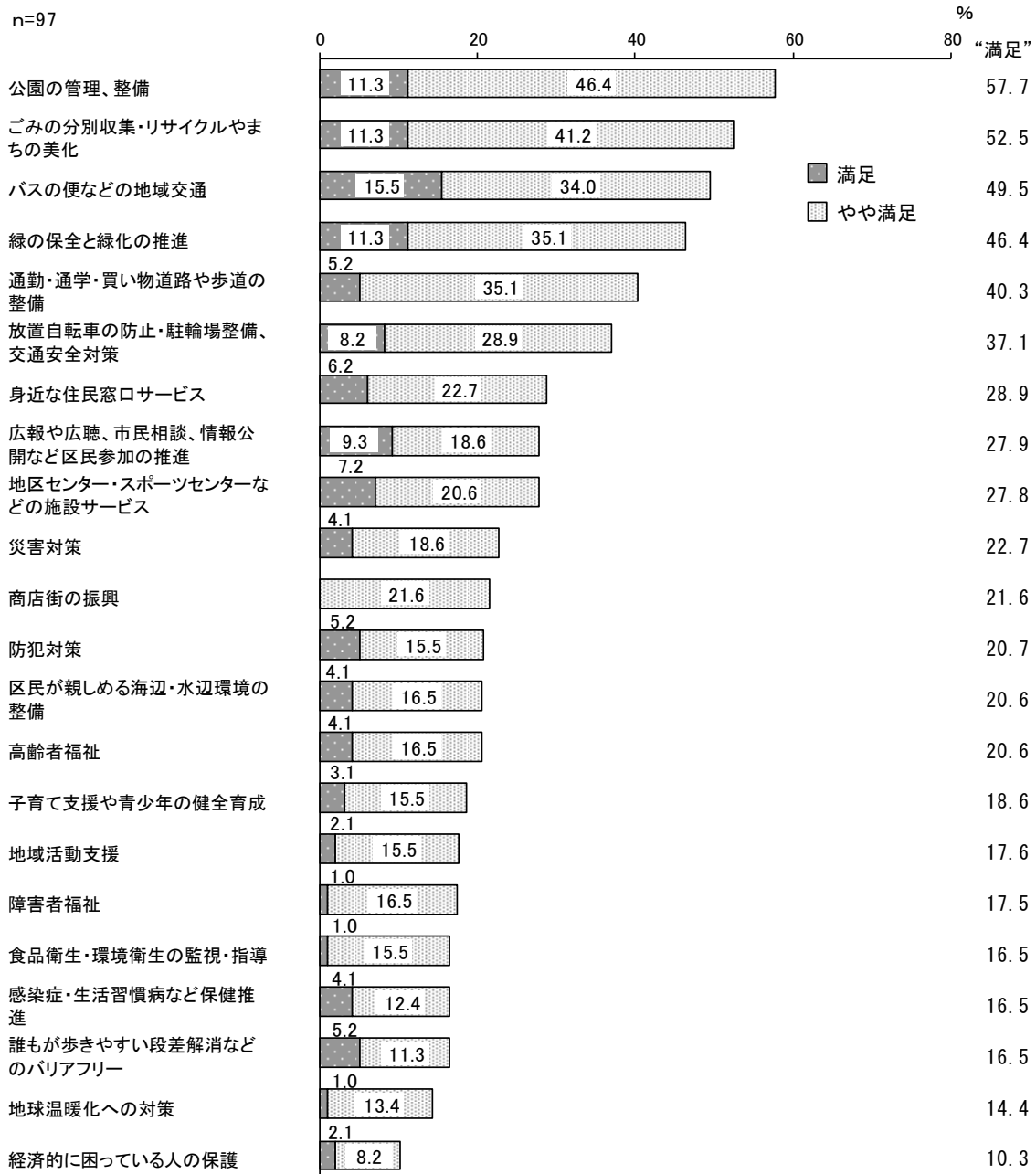
「バスの便などの地域交通」が63.5%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が60.2%、「公園の管理、整備」が49.5%となっています。



③岡村

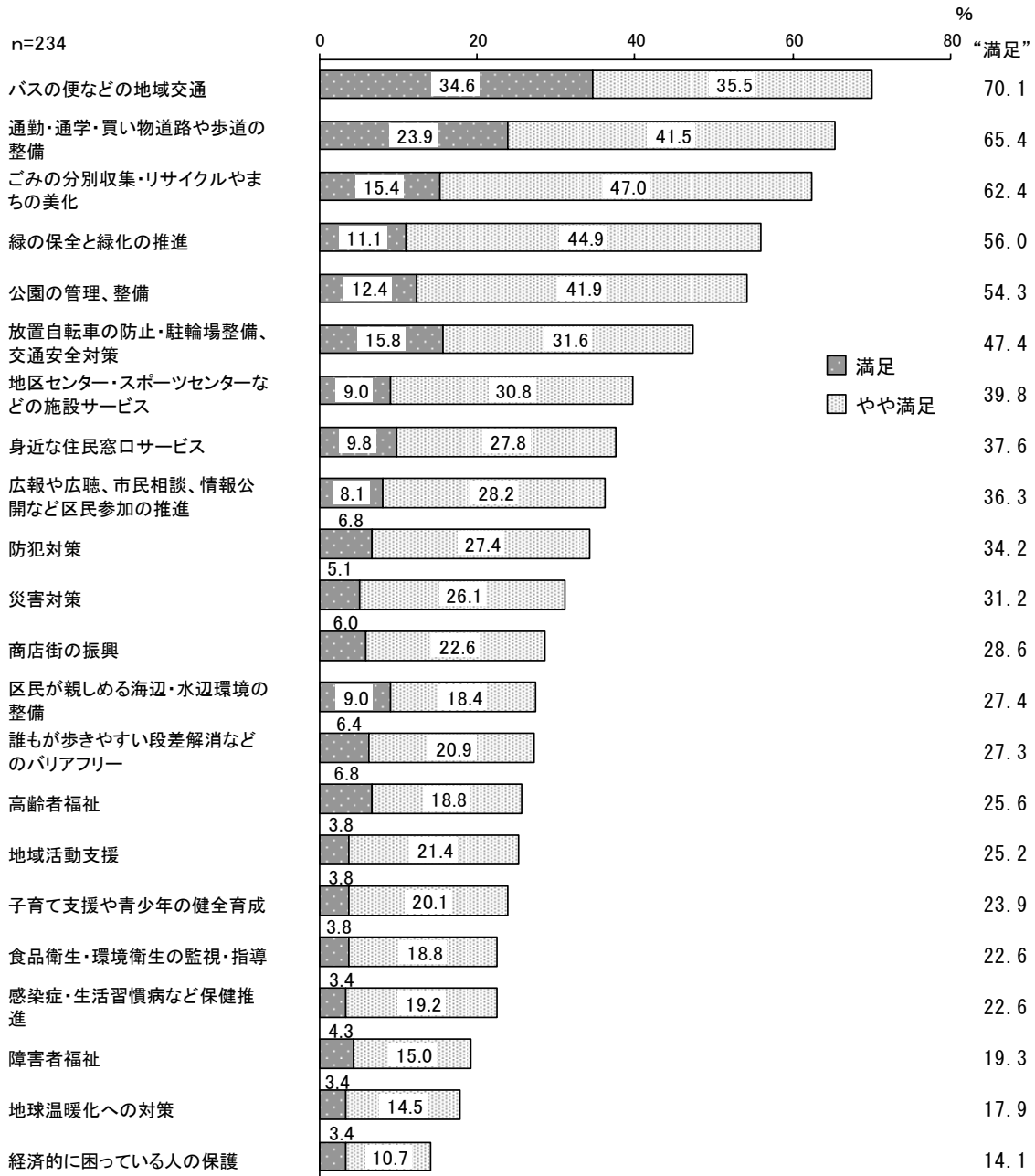
「公園の管理、整備」が57.7%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が52.5%、「バスの便などの地域交通」が49.5%となっています。

n=97



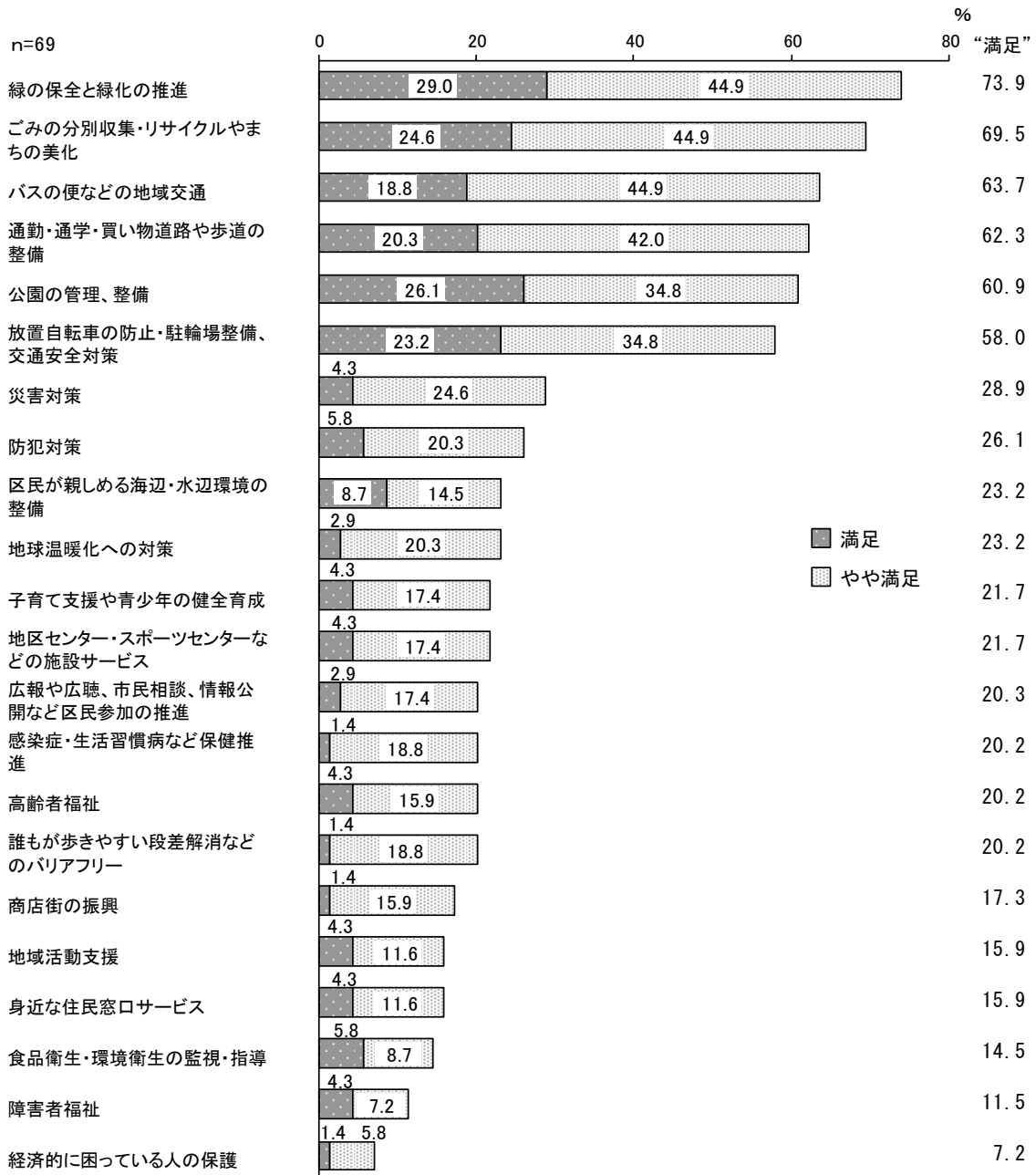
④磯子

「バスの便などの地域交通」が70.1%と最も高く、次いで「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が65.4%、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が62.4%となっています。



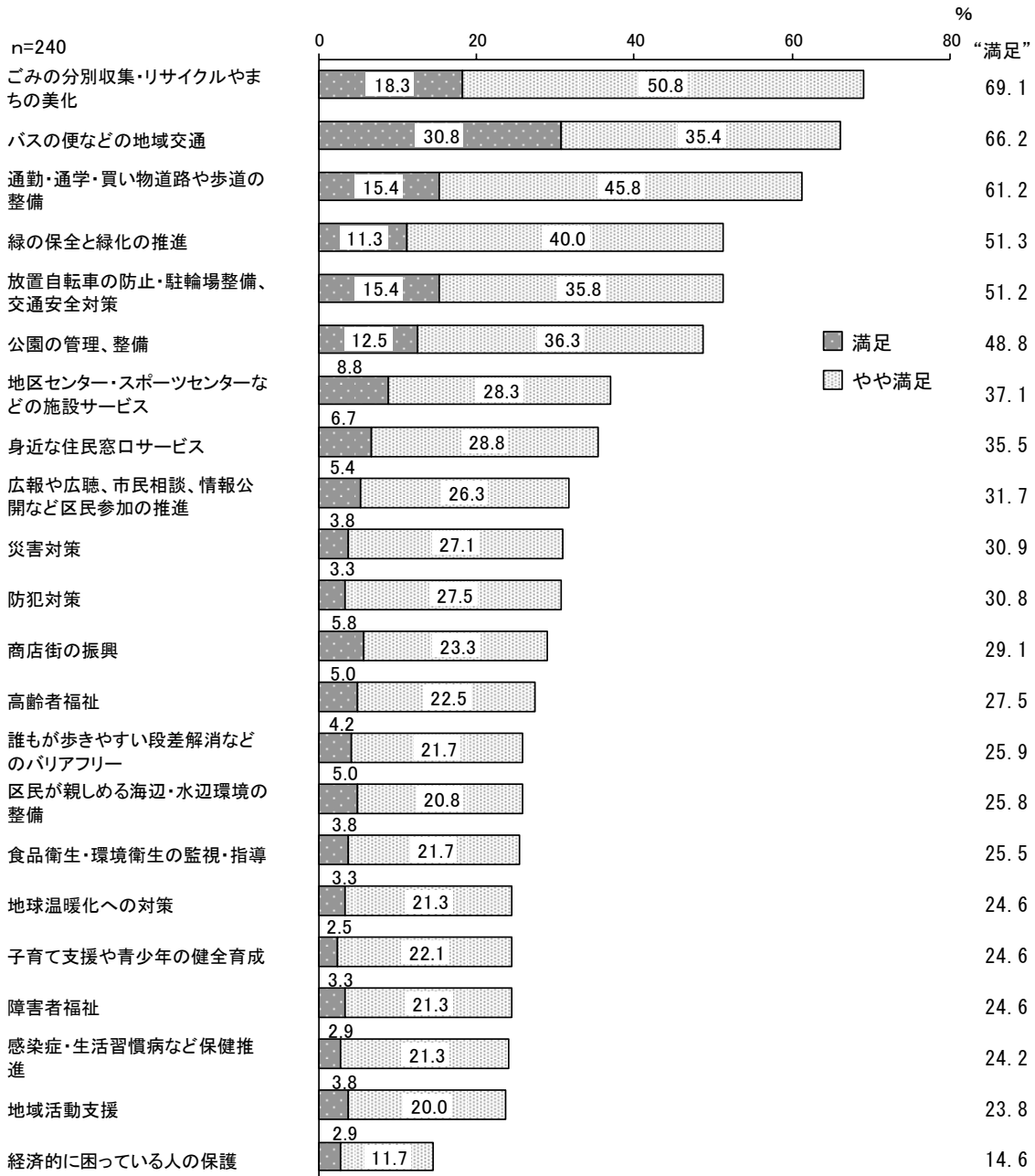
⑤ 汐見台

「緑の保全と緑化の推進」が73.9%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が69.5%、「バスの便などの地域交通」が63.7%となっています。



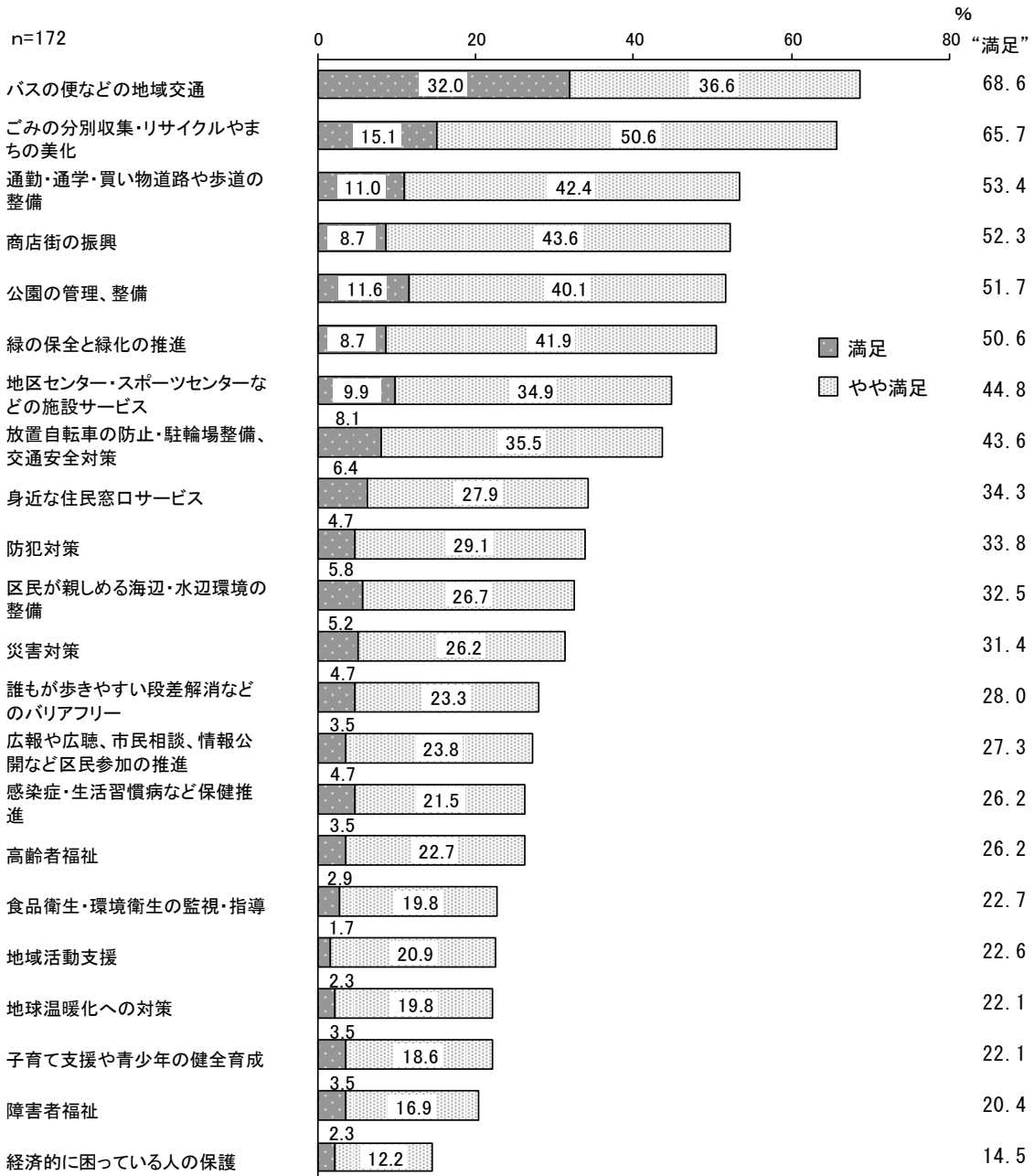
⑥屏風ヶ浦

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が69.1%と最も高く、次いで「バスの便などの地域交通」が66.2%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が61.2%となっています。



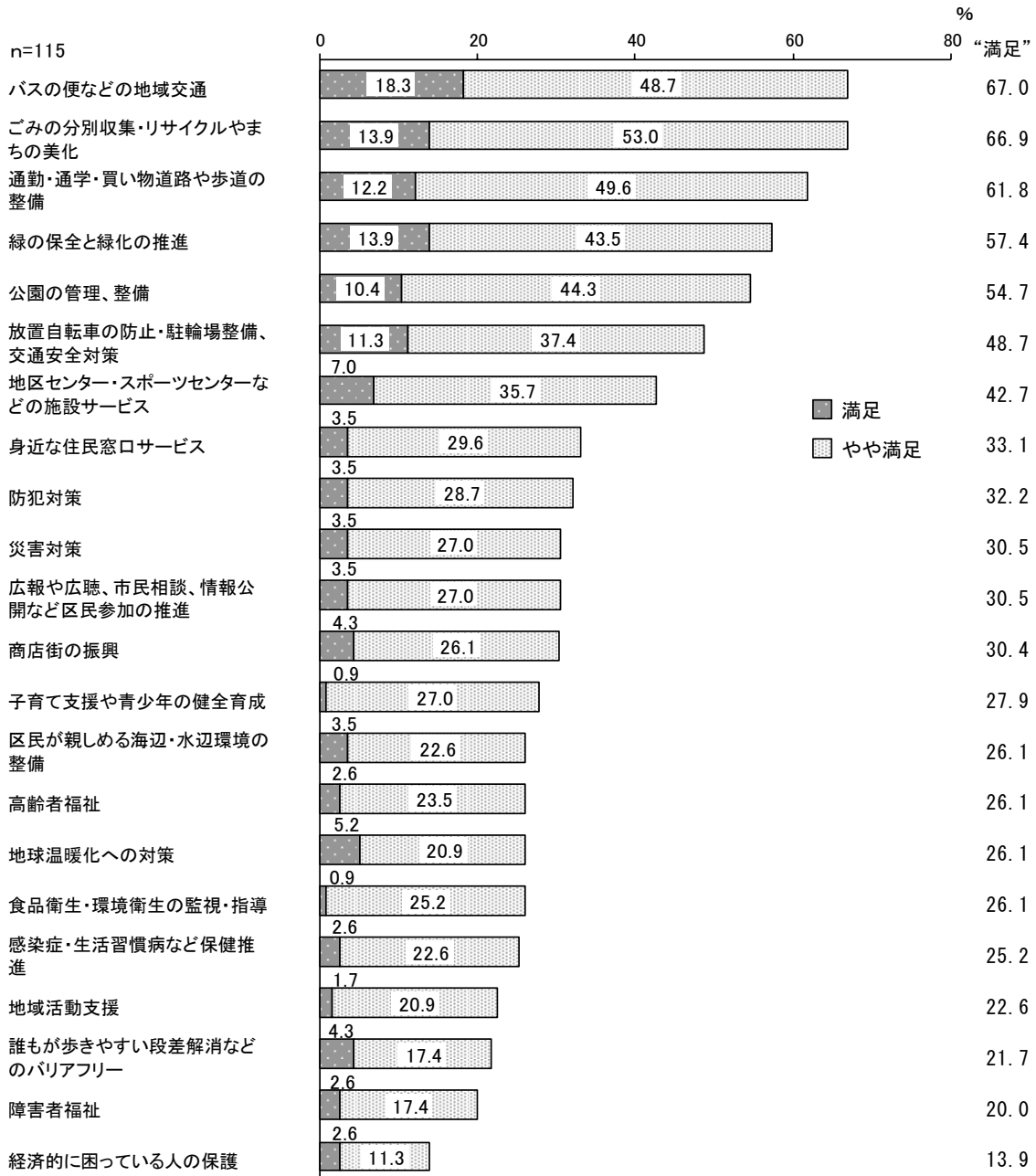
⑦杉田

「バスの便などの地域交通」が68.6%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が65.7%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が53.4%となっています。



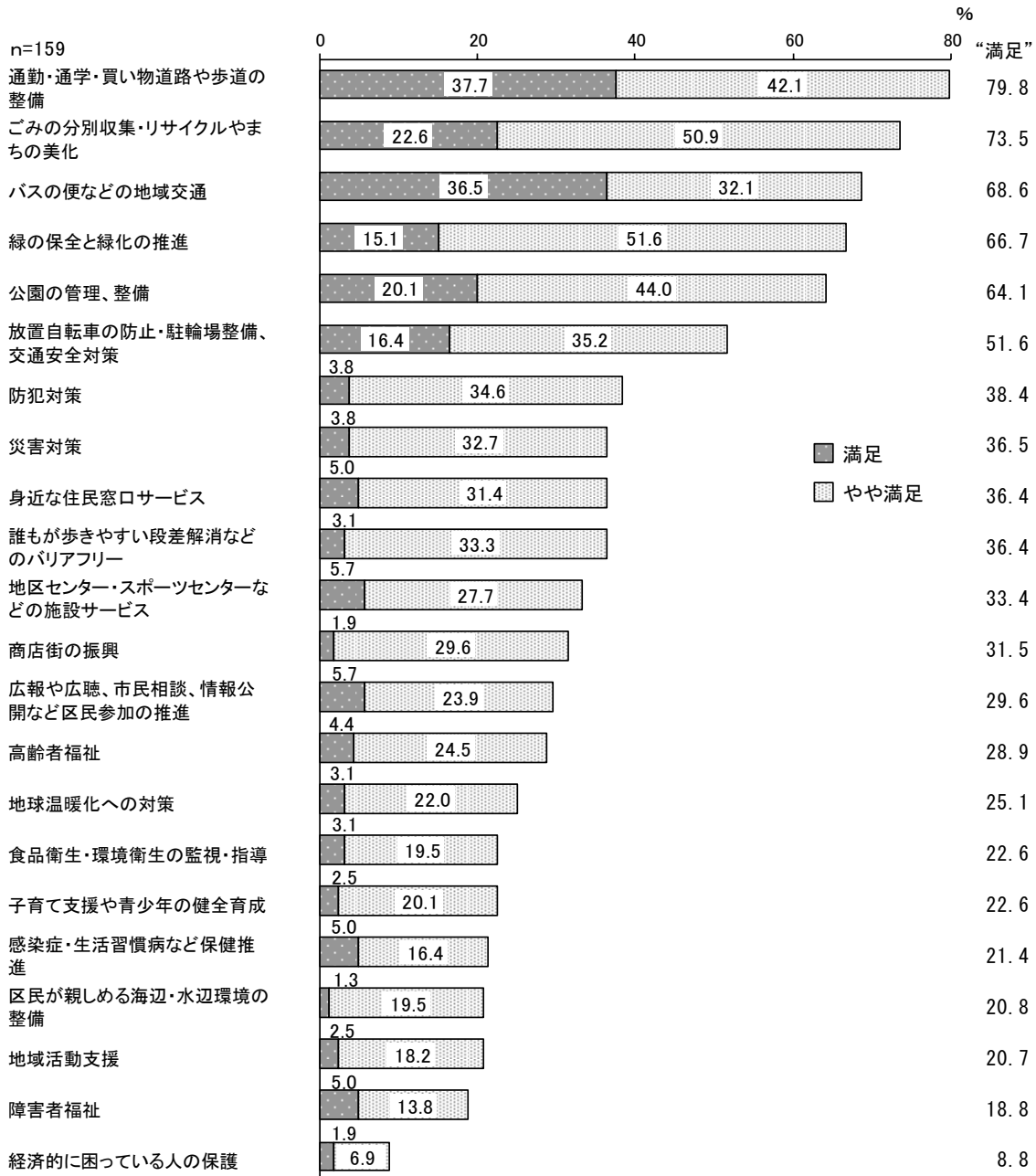
⑧上笹下

「バスの便などの地域交通」が67.0%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が66.9%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が61.8%となっています。



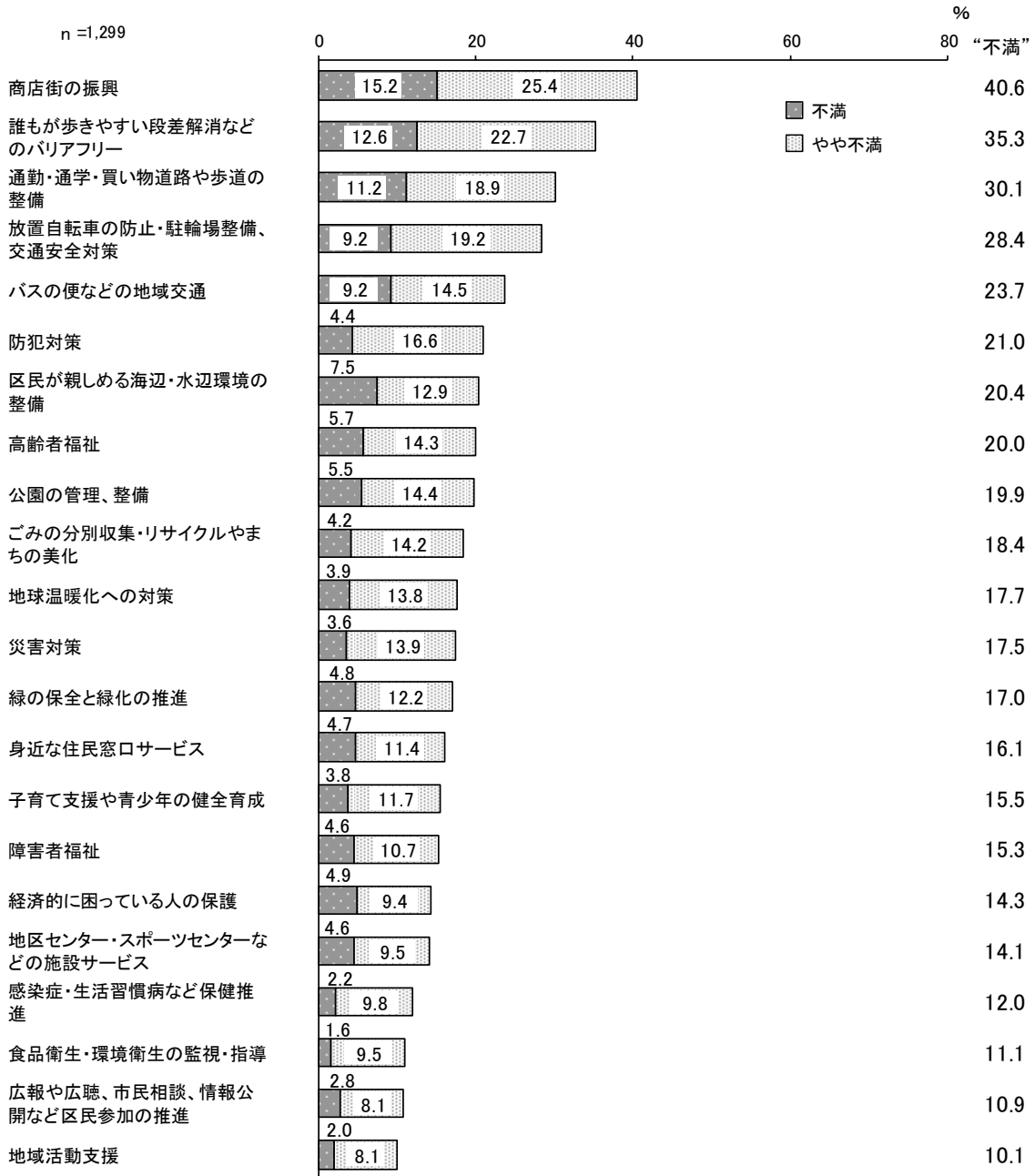
⑨洋光台

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が79.8%と最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が73.5%、「バスの便などの地域交通」が68.6%となっています。



(3) 住まいの周辺の生活環境に対する項目別の「不満」、「やや不満」の割合

住まいの周辺の生活環境に対する満足度について、「不満」と「やや不満」の合計が高い順に並べると、商店街の振興」が40.6%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が35.3%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が30.1%となっています。

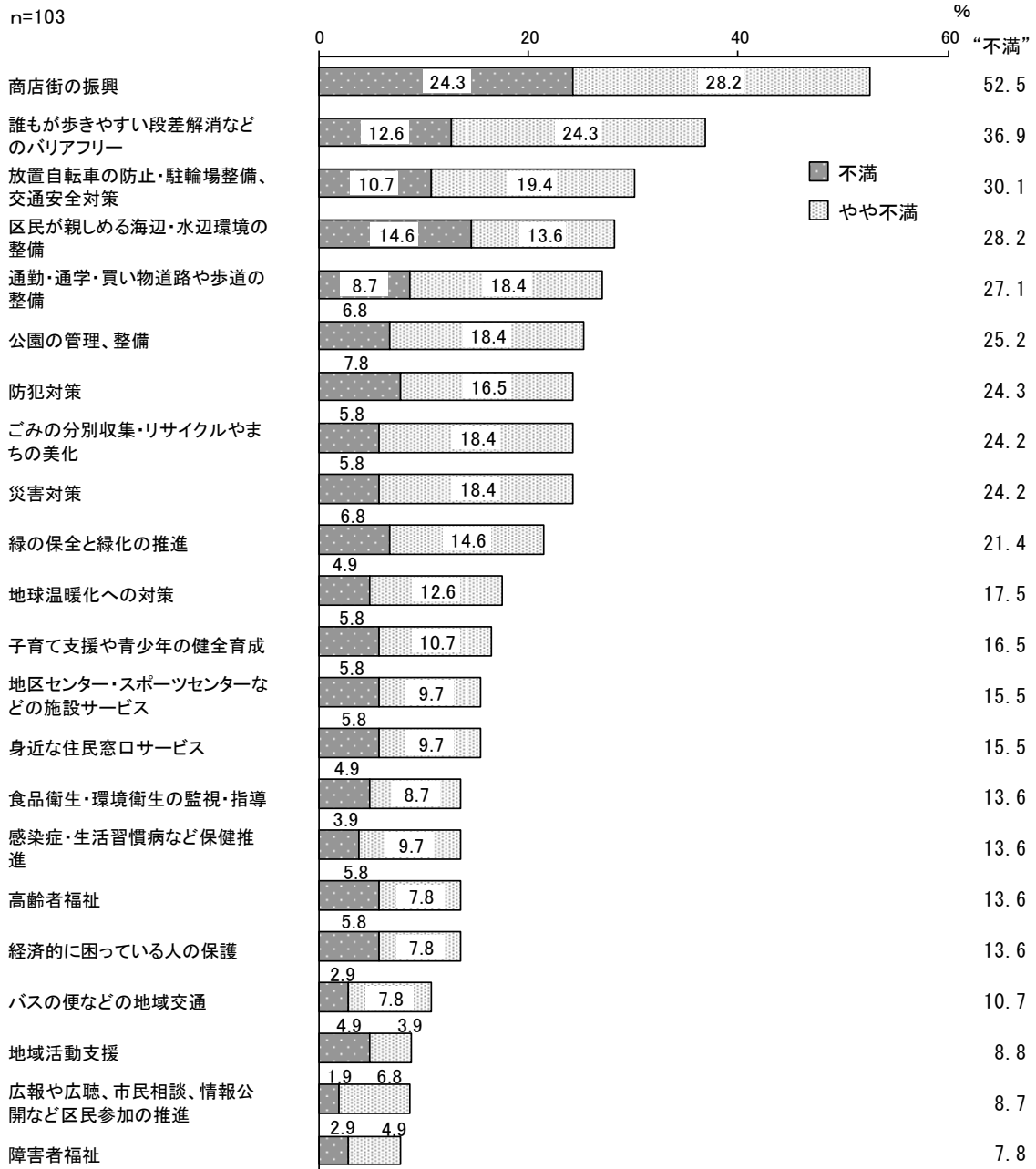


【地区別】

①根岸

「商店街の振興」が52.5%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が36.9%、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」が30.1%となっています。

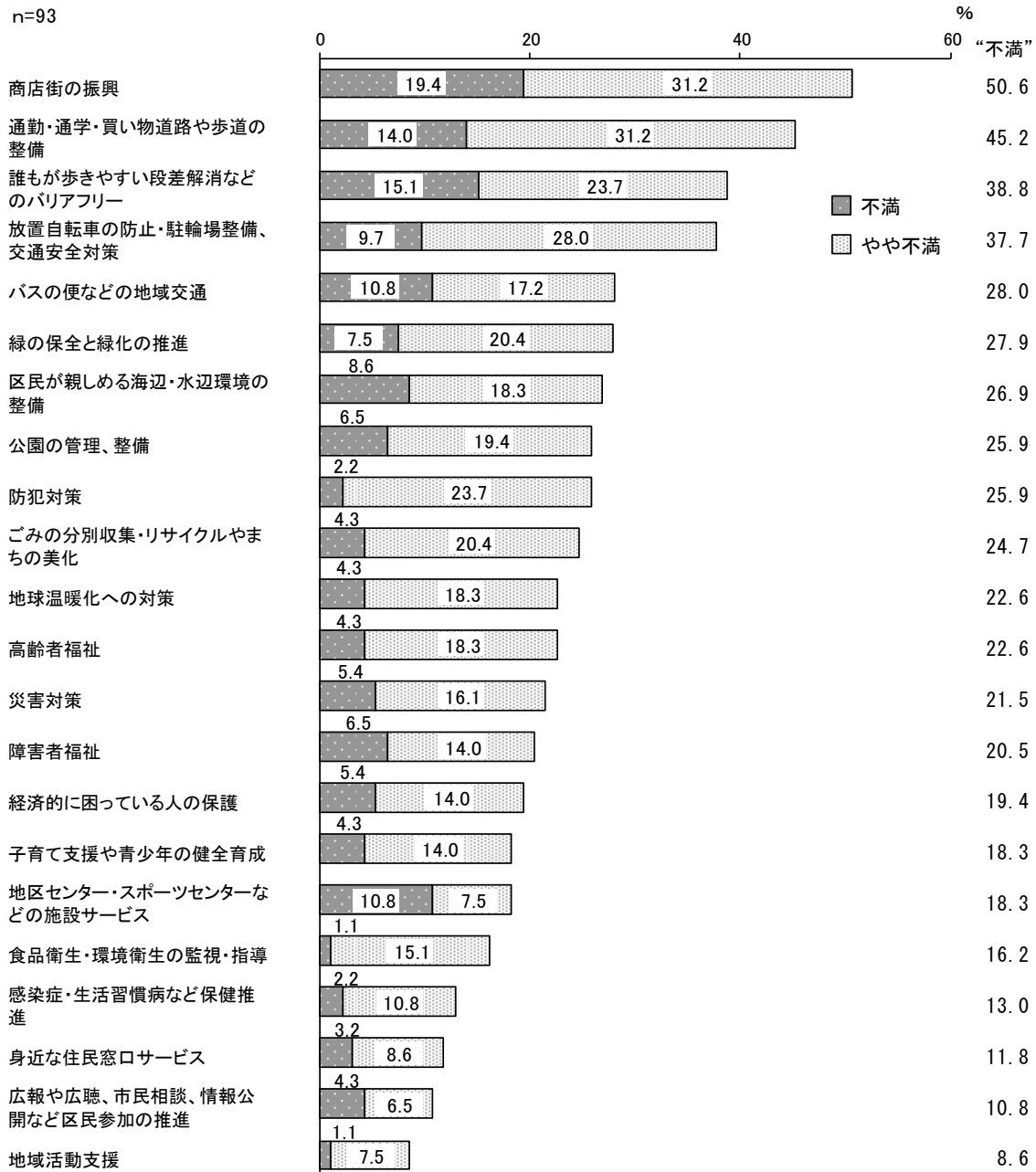
n=103



② 滝頭

「商店街の振興」が50.6%と最も高く、次いで「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が45.2%、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が38.8%となっています。

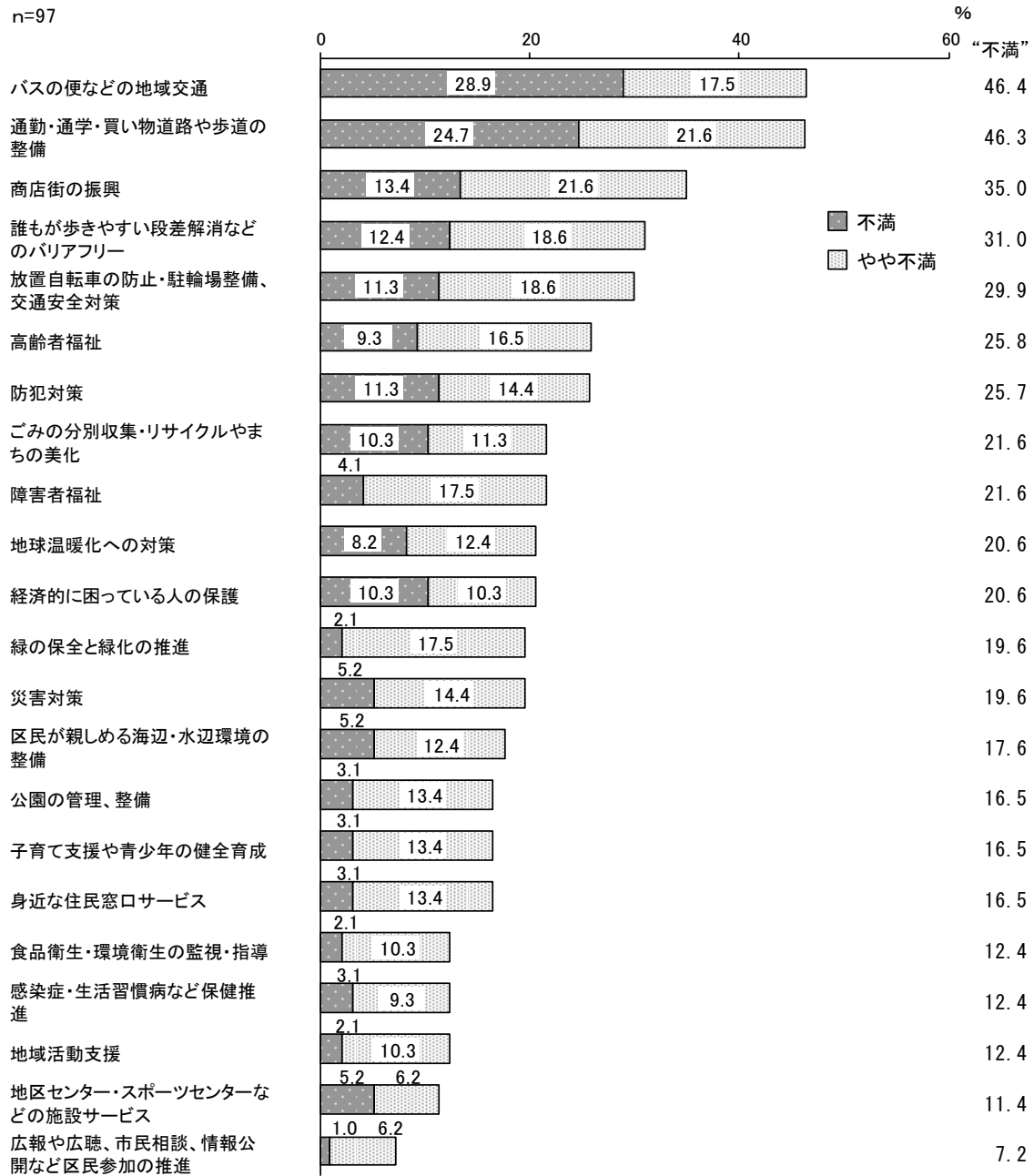
n=93



③岡村

「バスの便などの地域交通」が46.4%と最も高く、次いで「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が46.3%、「商店街の振興」が35.0%となっています。

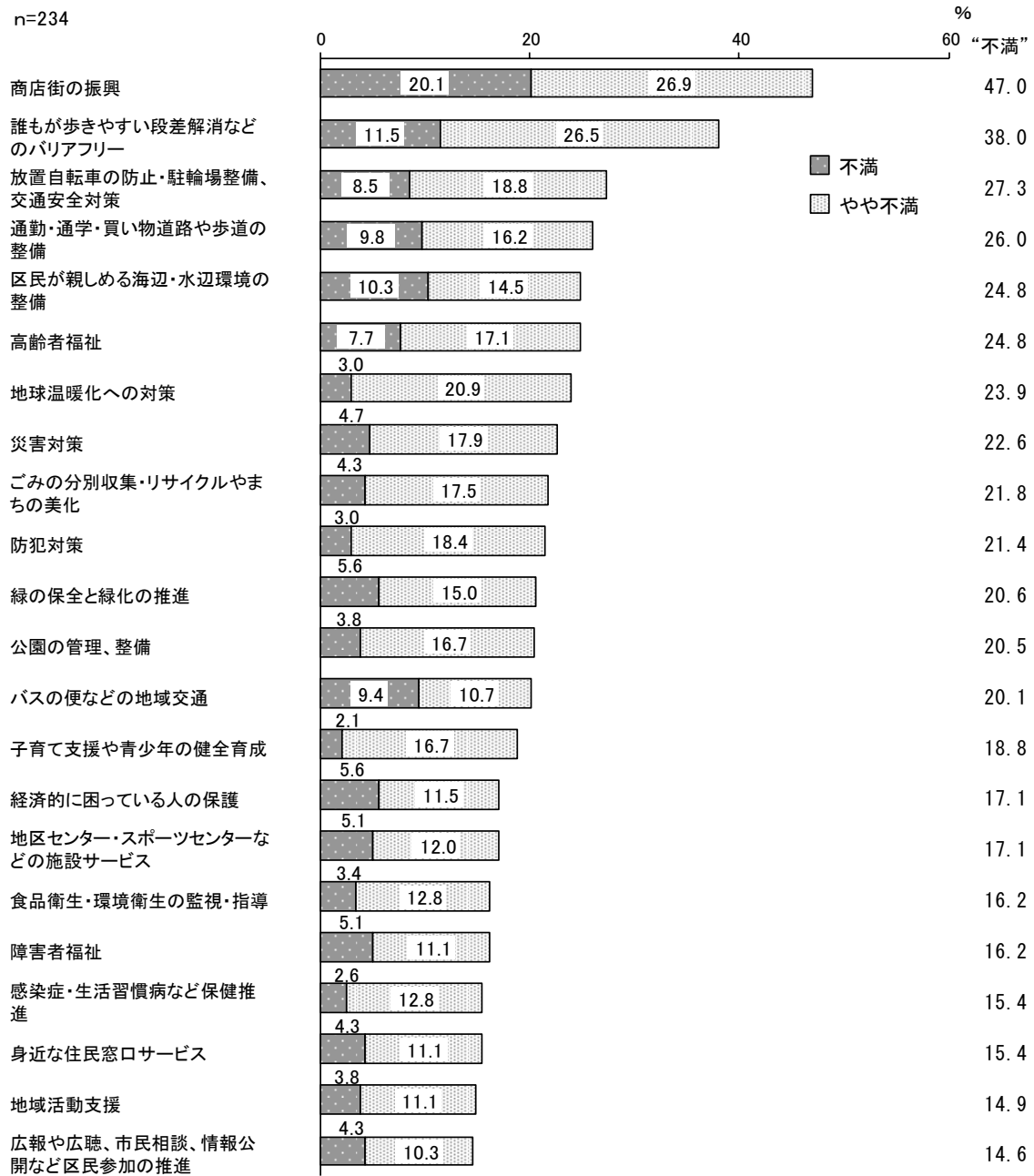
n=97



④磯子

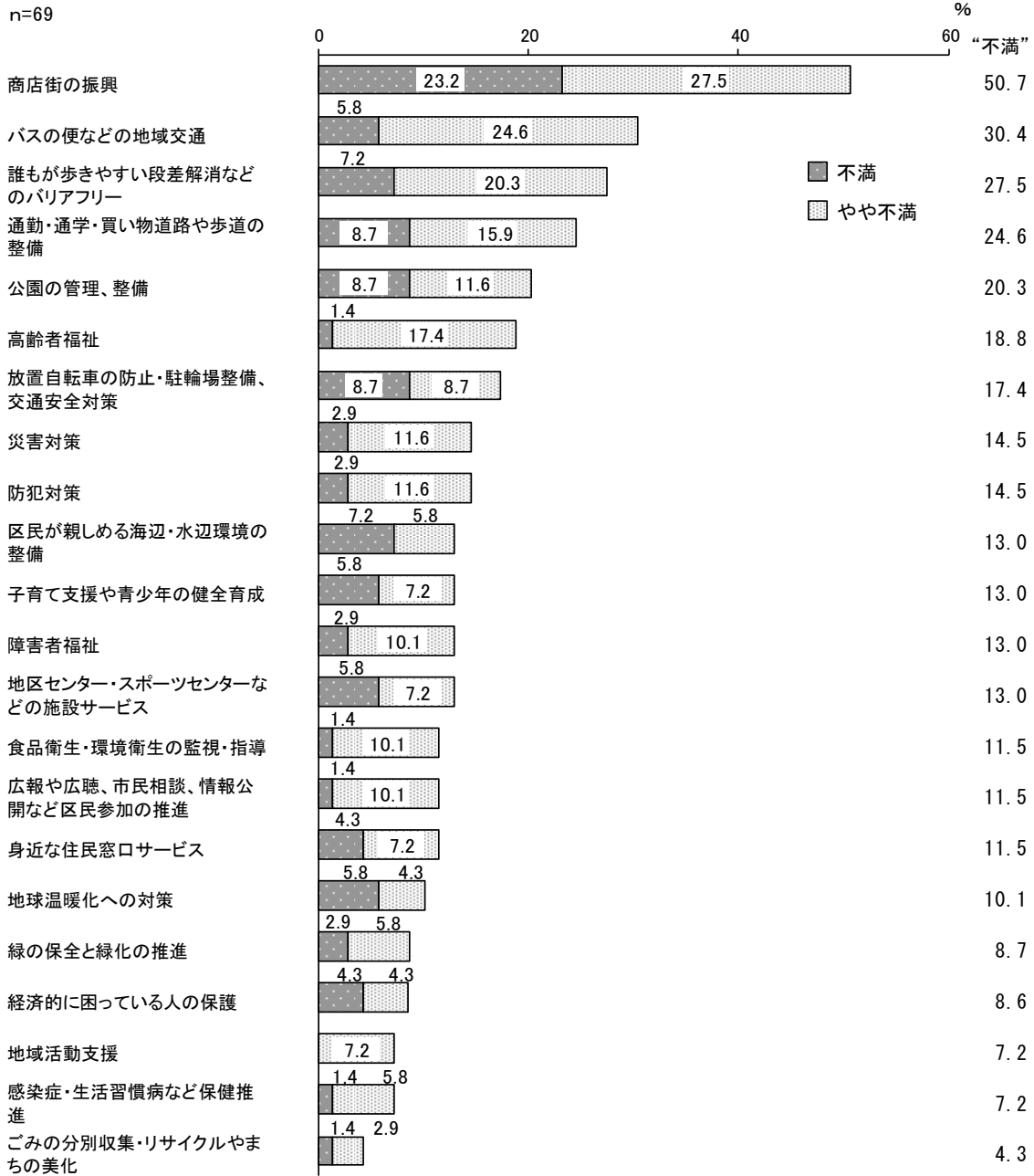
「商店街の振興」が47.0%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が38.0%、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」が27.3%となっています。

n=234



⑤ 汐見台

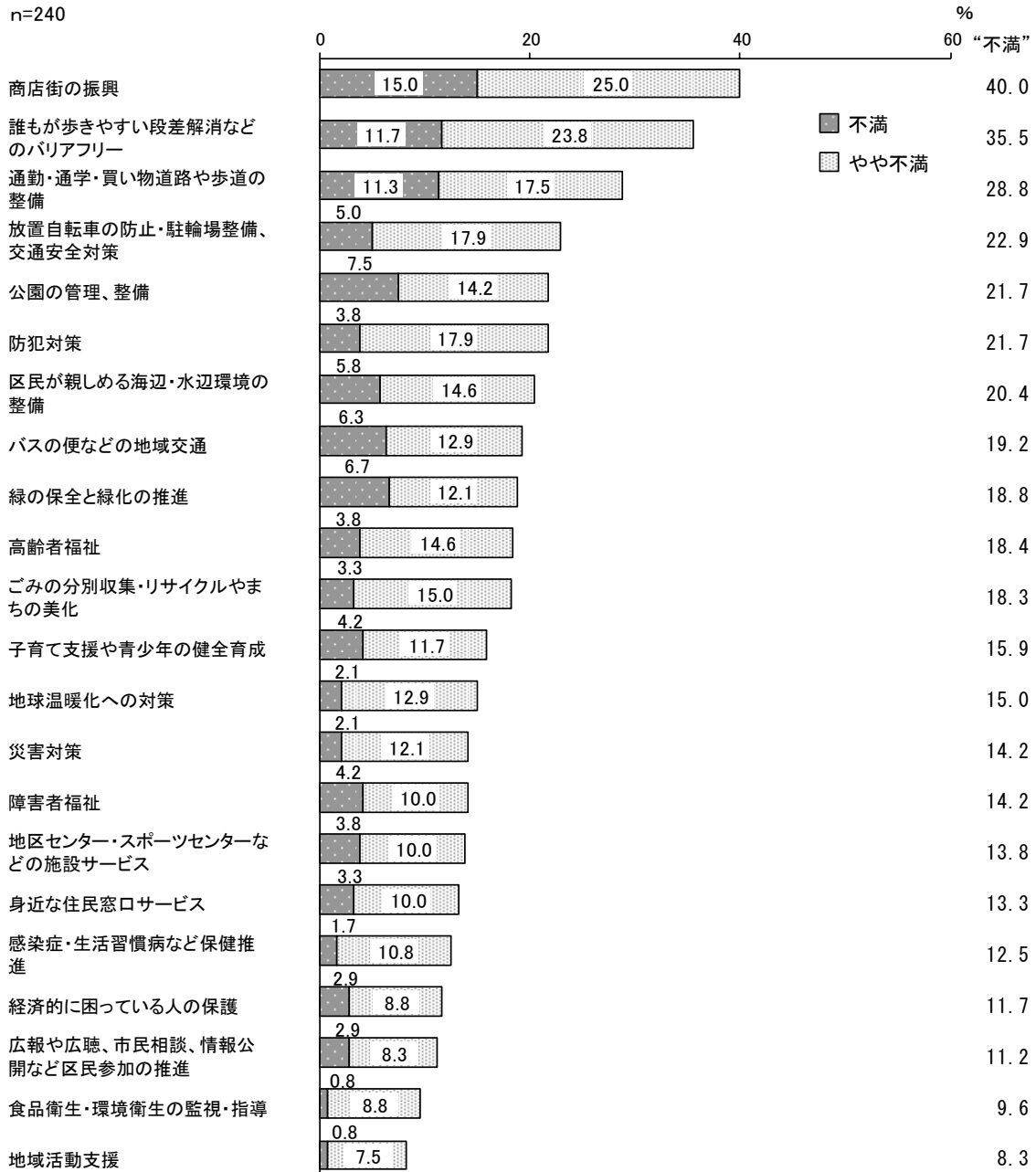
「商店街の振興」が50.7%と最も高く、次いで「バスの便などの地域交通」が30.4%、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が27.5%となっています。



⑥屏風ヶ浦

「商店街の振興」が40.0%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が35.5%、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が28.8%となっています。

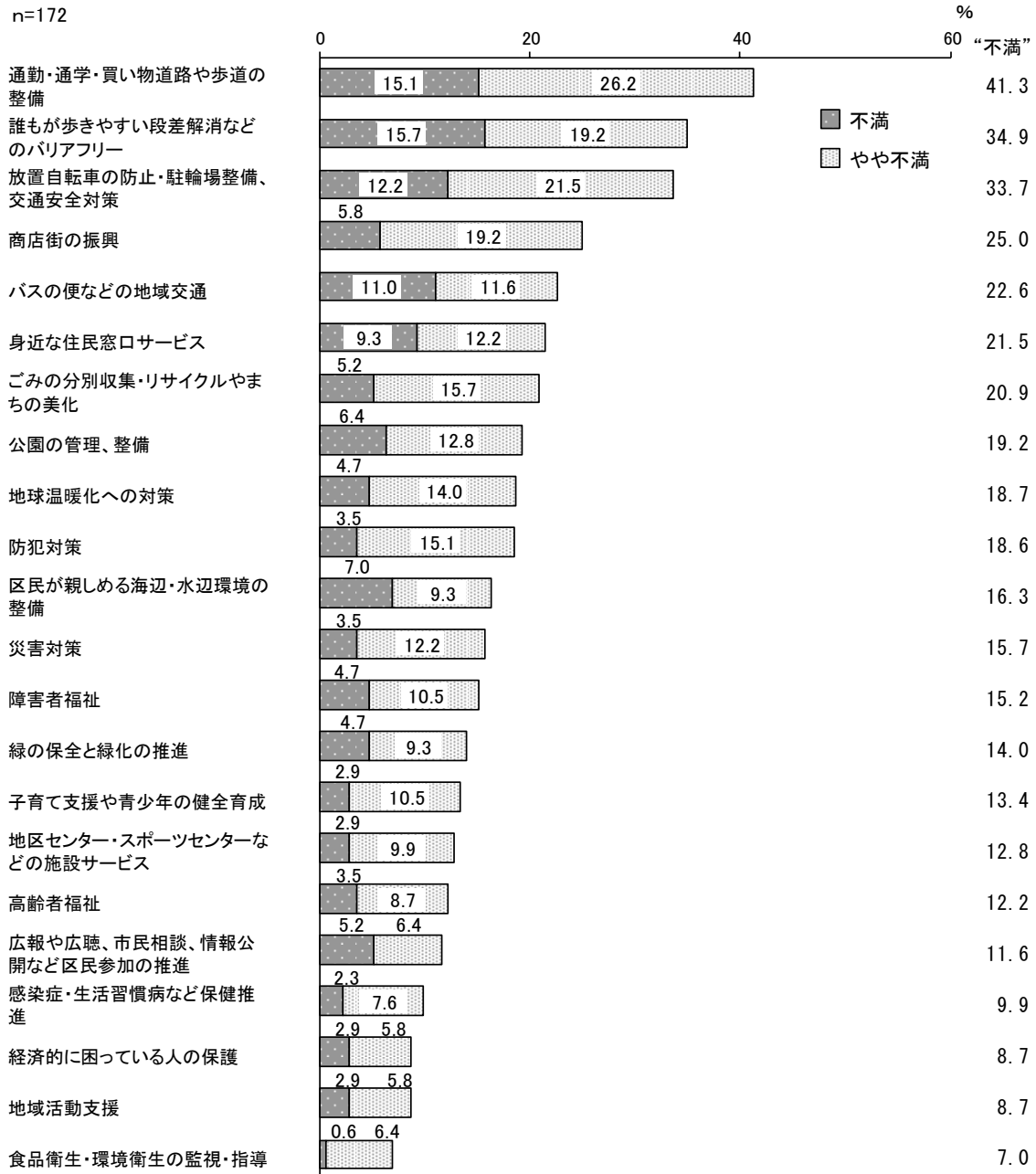
n=240



⑦杉田

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が41.3%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が34.9%、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」が33.7%となっています。

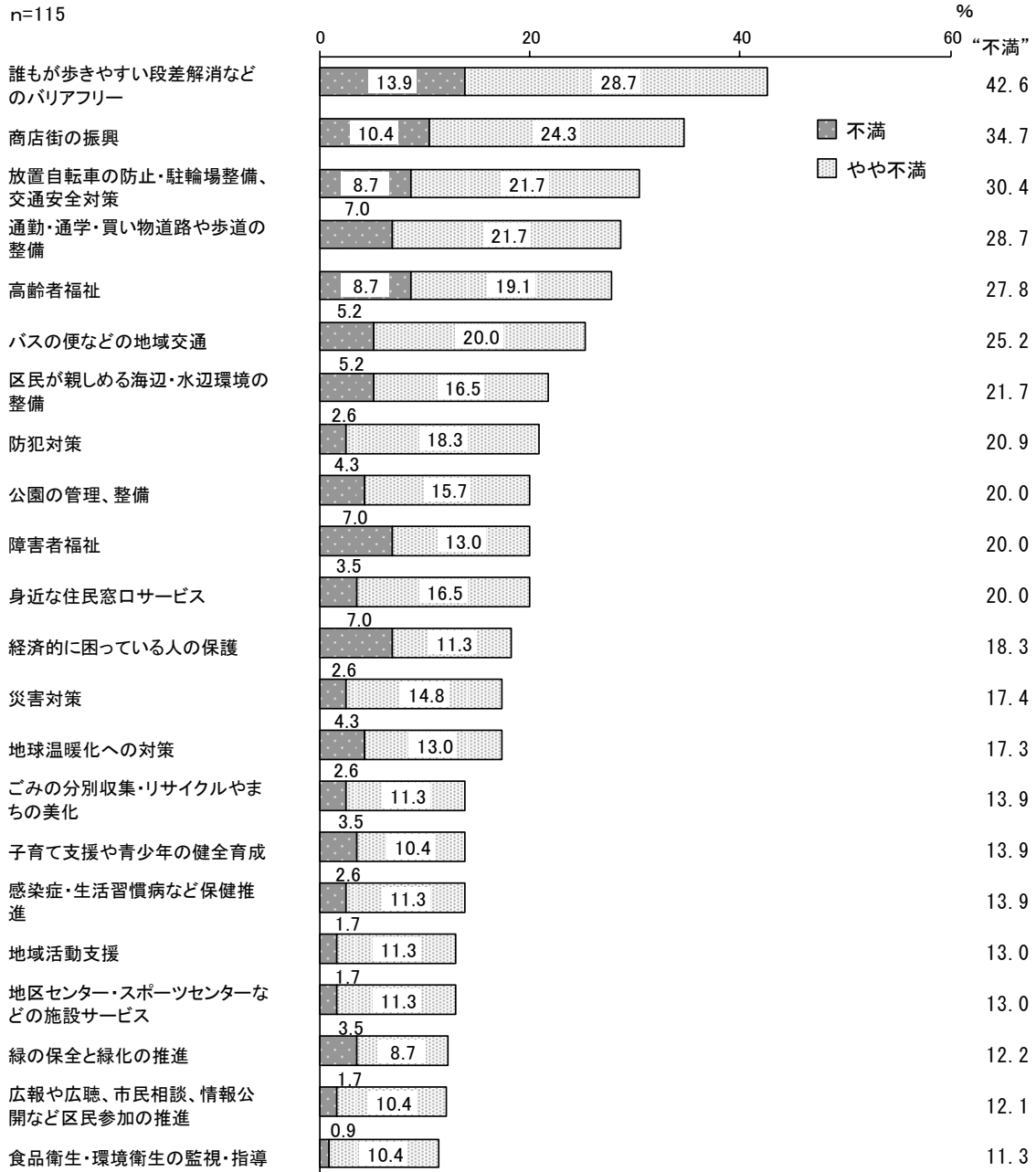
n=172



⑧上笹下

「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が42.6%と最も高く、次いで「商店街の振興」が34.7%、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」が30.4%となっています。

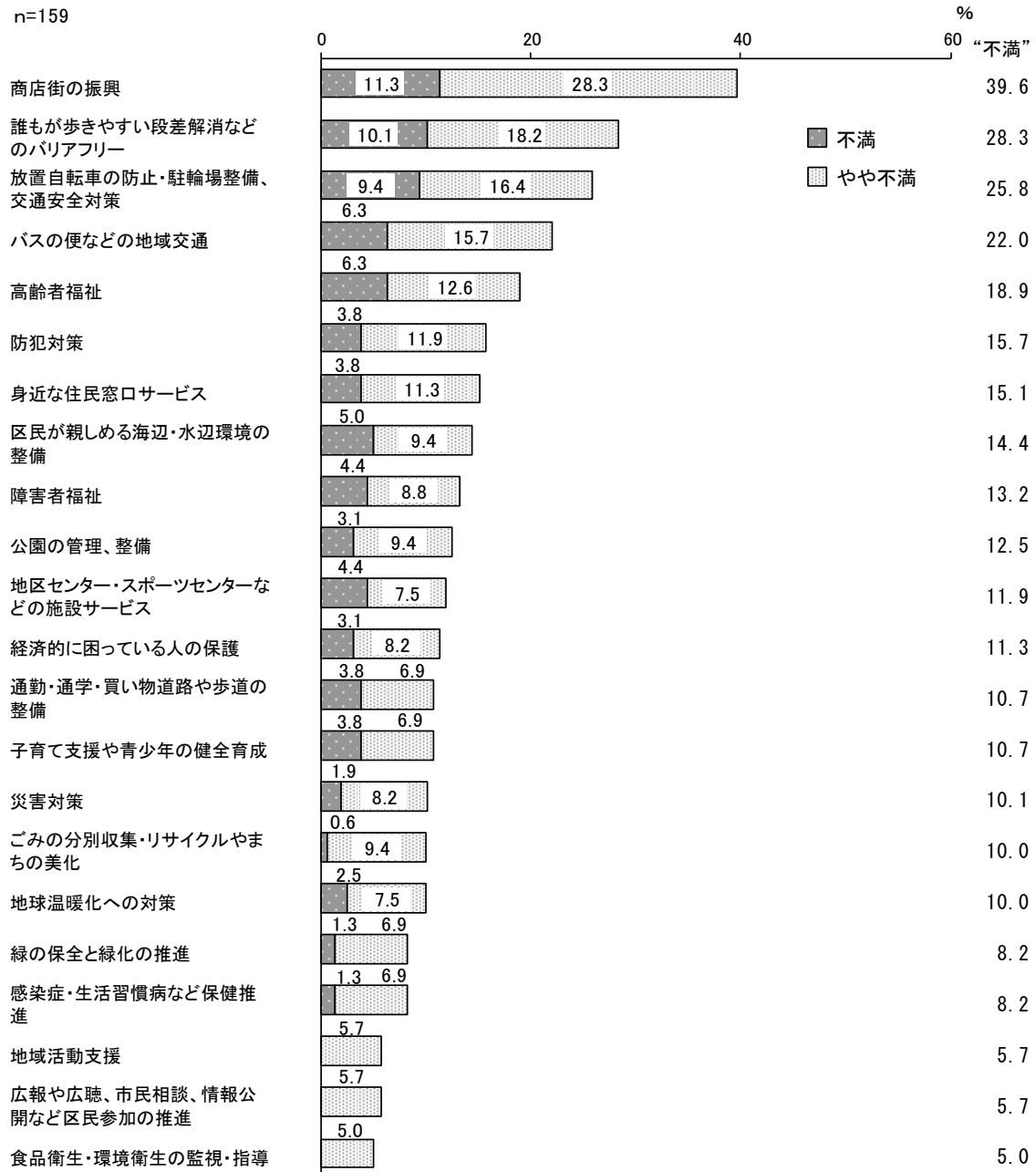
n=115



⑨洋光台

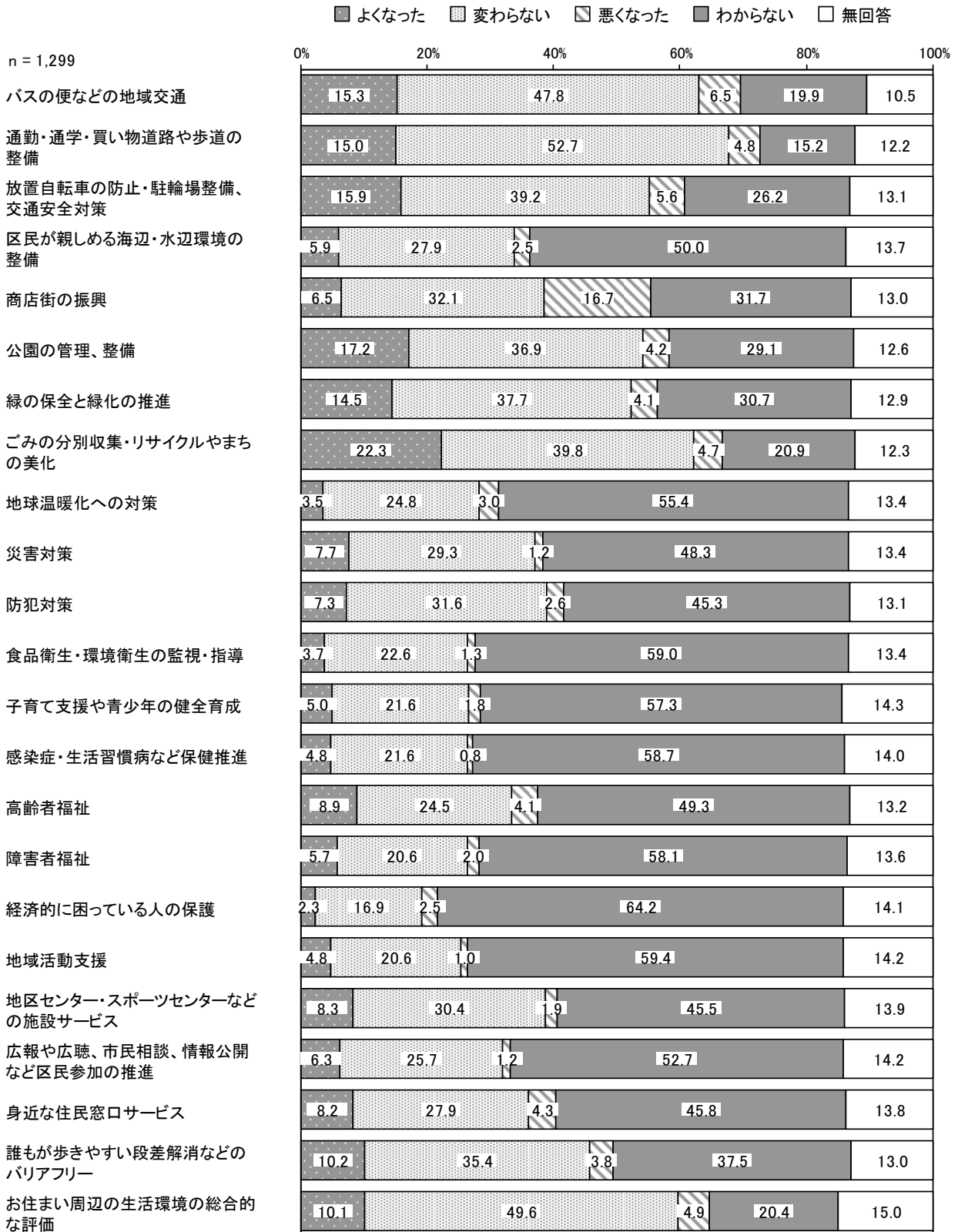
「商店街の振興」が39.6%と最も高く、次いで「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」が28.3%、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」が25.8%となっています。

n=159



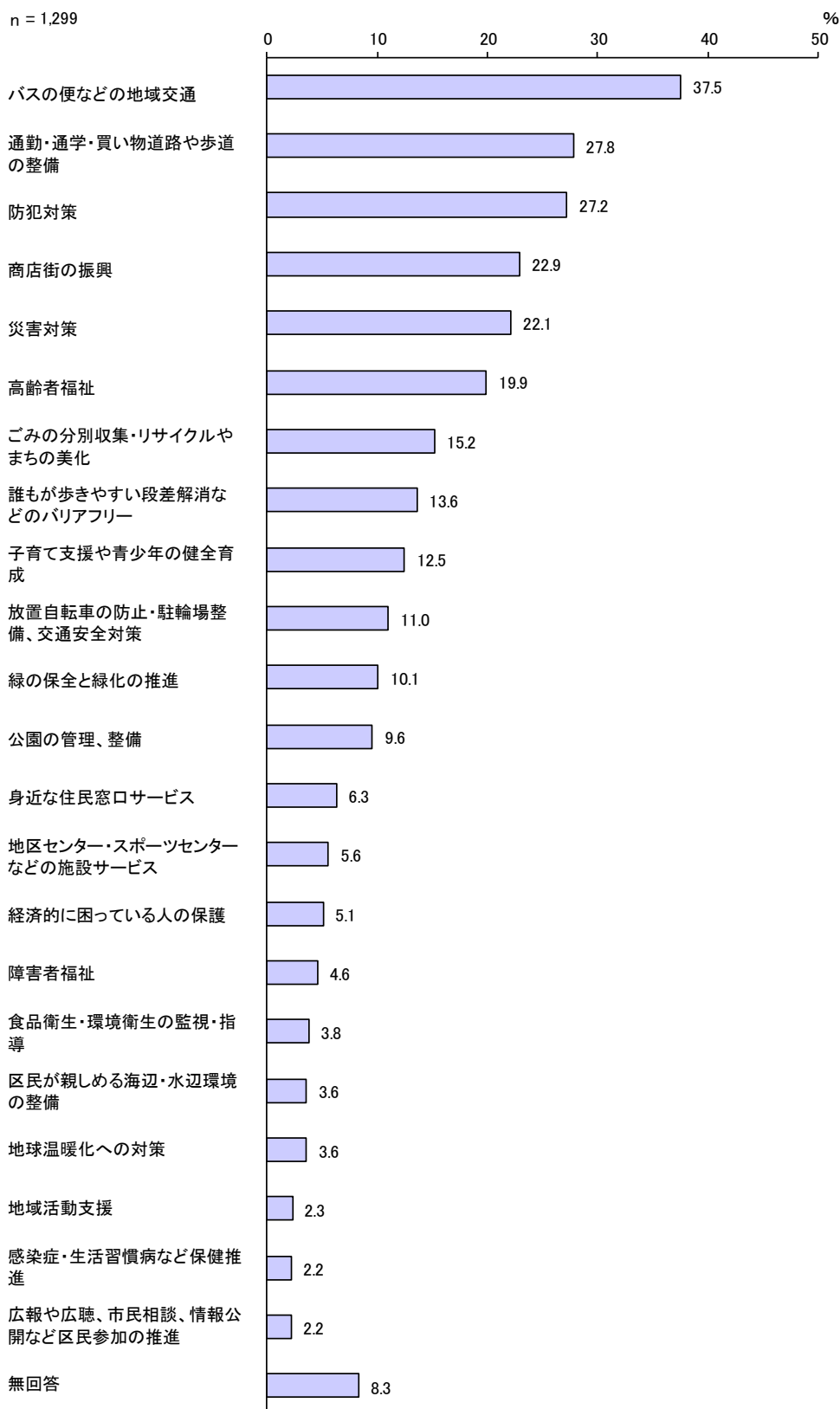
(4) 以前と比べてどのように変わったか

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」で「よくなった」が22.3%と高くなっています。また、「商店街の振興」で「悪くなった」が16.7%と高くなっています。



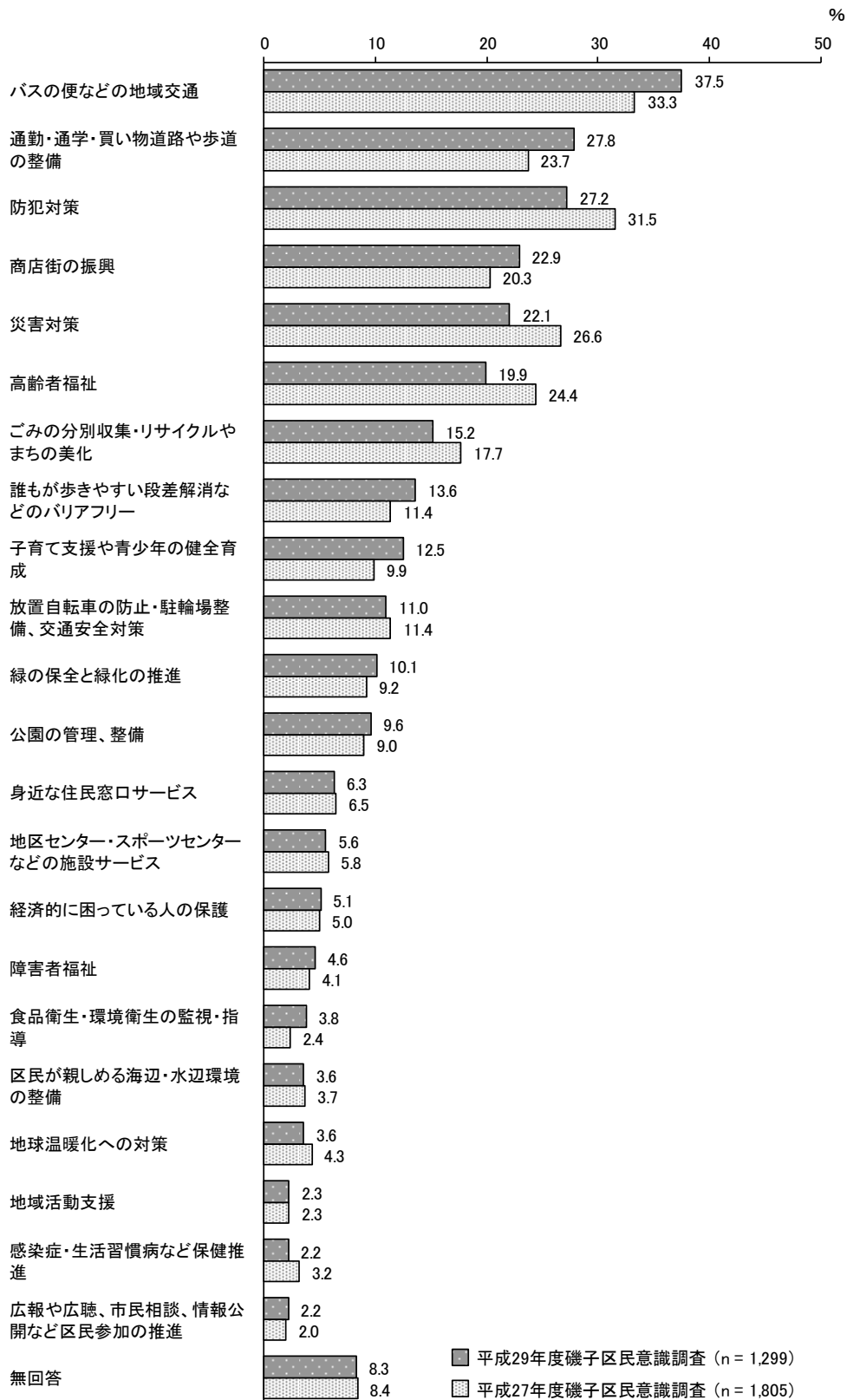
問13 あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。
(3つを選んで記入)

「バスの便などの地域交通」の割合が37.5%と最も高く、次いで「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」の割合が27.8%、「防犯対策」の割合が27.2%となっています。



【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回との比較】（上位5項目）

上位5項目について、平成27年度調査の結果と比較すると、「バスの便などの地域交通」についてはいずれの調査でも第1位となっています。

また、「防犯対策」については、平成27年度調査の第2位から平成29年度調査の第3位へ、「災害対策」については、平成27年度調査の第3位から平成29年度調査の第5位へ順位が下がっています。また、「高齢者福祉」については、平成27年度調査では第4位ですが、平成29年度調査では上位5項目に入っていません。

一方、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」については、平成27年度調査の第5位から平成29年度調査の第2位へ順位が上がっており、「商店街の振興」については、平成27年度調査では上位5項目に入っていませんが、平成29年度調査では第4位となっています。

	平成29年度調査	平成27年度調査
1	バスの便などの地域交通 (37.5%)	バスの便などの地域交通 (33.3%)
2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 (27.8%)	防犯対策 (31.5%)
3	防犯対策 (27.2%)	災害対策 (26.6%)
4	商店街の振興 (22.9%)	高齢者福祉 (24.4%)
5	災害対策 (22.1%)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 (23.7%)

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸で「災害対策」の割合が、屏風ヶ浦で「防犯対策」の割合が高くなっています。また、滝頭、岡村、磯子、汐見台、杉田、上笹下、洋光台で「バスの便などの地域交通」の割合が高くなっています。

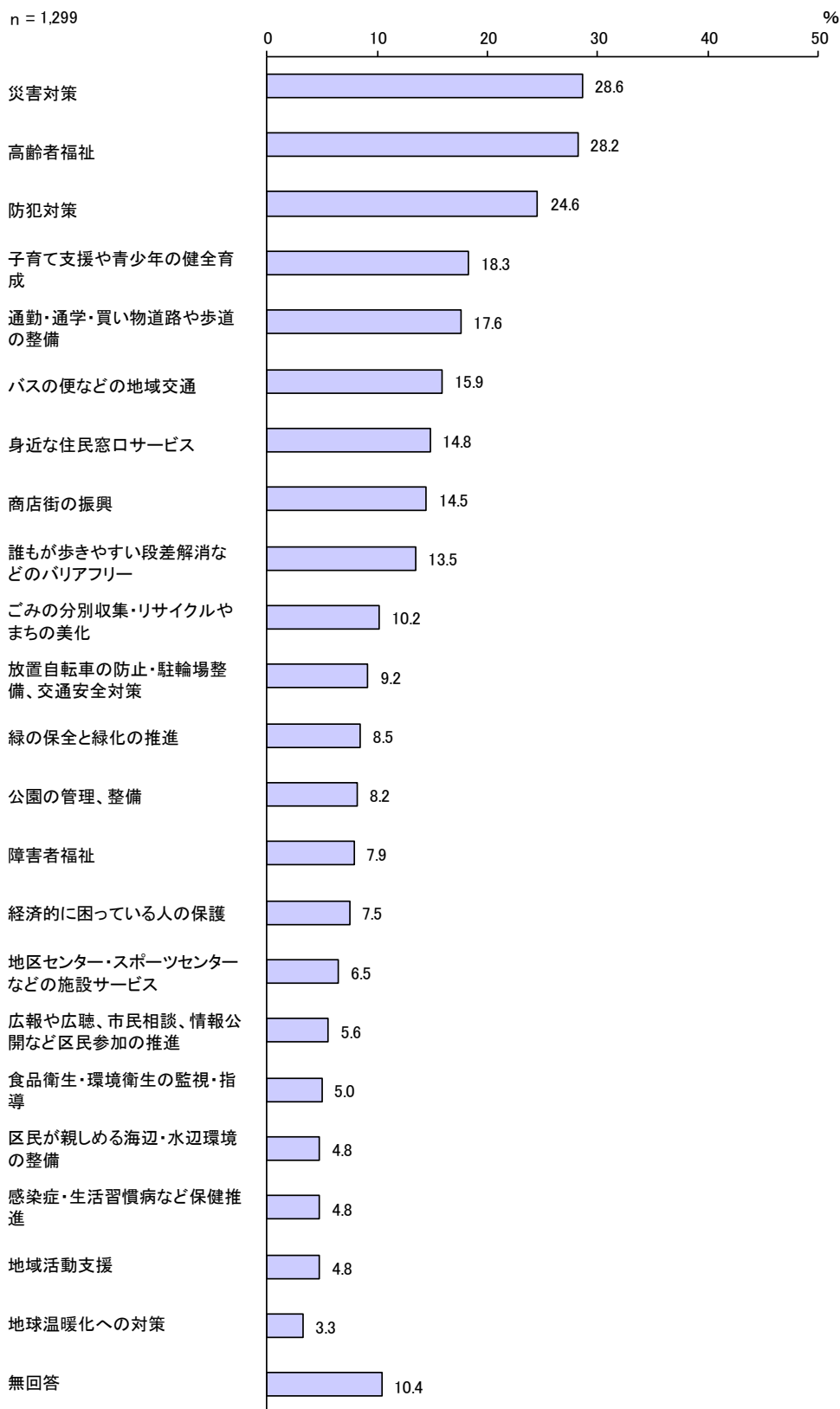
単位：％

区分	有効回答数(件)	バスの便などの地域交通	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	商店街の振興	公園の管理、整備	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	地球温暖化への対策	災害対策	防犯対策
根岸	103	30.1	23.3	17.5	8.7	24.3	11.7	8.7	8.7	3.9	31.1	29.1
滝頭	93	33.3	32.3	11.8	6.5	24.7	9.7	5.4	19.4	6.5	24.7	23.7
岡村	97	52.6	35.1	10.3	1.0	14.4	8.2	8.2	13.4	1.0	18.6	20.6
磯子	234	37.6	25.6	6.0	4.7	24.8	8.5	9.8	18.4	4.7	21.4	25.2
汐見台	69	53.6	30.4	7.2	1.4	24.6	14.5	14.5	7.2	5.8	17.4	17.4
屏風ヶ浦	240	30.0	29.6	13.8	3.8	24.6	8.3	12.5	14.6	3.3	21.3	31.3
杉田	172	36.0	35.5	11.6	2.3	17.4	10.5	8.7	18.0	2.3	22.1	29.1
上笹下	115	44.3	21.7	11.3	4.3	17.4	7.0	7.8	13.9	3.5	26.1	29.6
洋光台	159	35.8	20.1	10.1	—	30.2	11.3	12.6	15.1	3.1	20.1	28.9

区分	食品衛生・環境衛生の監視・指導	子育て支援や青少年の健全育成	感染症・生活習慣病など保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	経済的に困っている人の保護	地域活動支援	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	身近な住民窓口サービス	誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	無回答
根岸	4.9	10.7	2.9	18.4	—	4.9	3.9	6.8	1.0	8.7	12.6	7.8
滝頭	1.1	11.8	1.1	14.0	1.1	3.2	—	5.4	2.2	4.3	11.8	11.8
岡村	3.1	8.2	—	19.6	5.2	8.2	6.2	6.2	—	6.2	8.2	11.3
磯子	4.3	13.2	2.6	21.8	3.4	6.8	2.6	6.8	3.0	6.0	17.9	6.8
汐見台	1.4	15.9	1.4	23.2	2.9	4.3	4.3	4.3	2.9	2.9	8.7	8.7
屏風ヶ浦	2.9	16.3	2.9	18.3	4.6	3.3	1.3	3.8	2.5	4.6	15.8	7.9
杉田	4.1	11.6	1.7	18.6	8.7	4.7	1.2	6.4	2.9	7.0	12.2	8.1
上笹下	3.5	9.6	3.5	20.9	6.1	5.2	1.7	7.0	1.7	6.1	16.5	9.6
洋光台	5.7	12.6	1.9	22.6	5.7	5.0	2.5	5.0	1.3	9.4	9.4	7.5

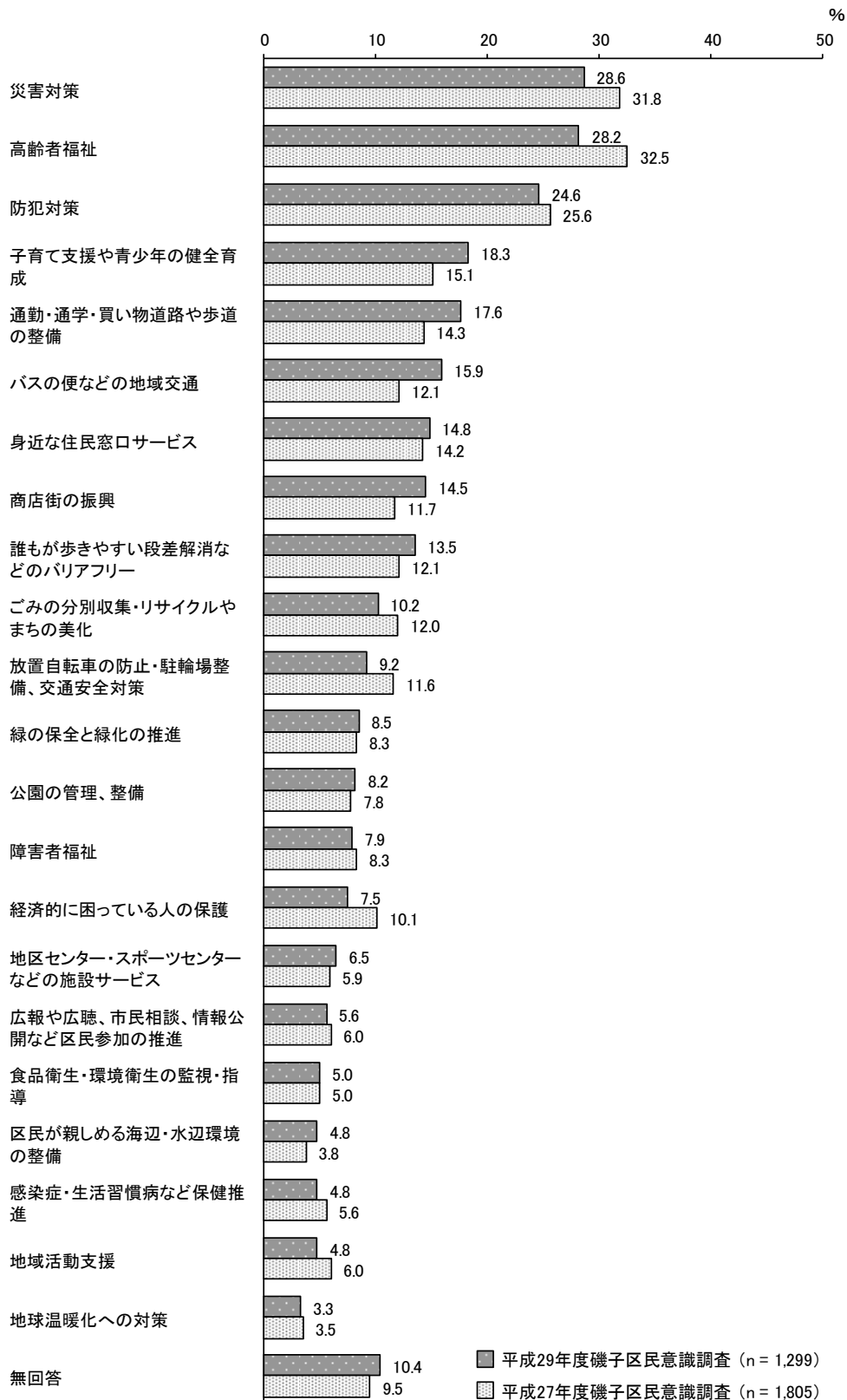
問 14 磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。(3つを選んで記入)

「災害対策」の割合が28.6%と最も高く、次いで「高齢者福祉」の割合が28.2%、「防犯対策」の割合が24.6%となっています。



【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



【前回との比較】（上位5項目）

上位5項目について、平成27年度調査の結果と比較すると、第3位の「防犯対策」、第4位の「子育て支援や青少年の健全育成」、第5位の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は変動はありません。

また、「高齢者福祉」については、平成27年度調査の第1位から平成29年度調査の第2位へ順位が下がっており、「災害対策」については、平成27年度調査の第2位から平成29年度調査の第1位へ順位が上がっています。

	平成29年度調査	平成27年度調査
1	災害対策 (28.6%)	高齢者福祉 (32.5%)
2	高齢者福祉 (28.2%)	災害対策 (31.8%)
3	防犯対策 (24.6%)	防犯対策 (25.6%)
4	子育て支援や青少年の健全育成 (18.3%)	子育て支援や青少年の健全育成 (15.1%)
5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 (17.6%)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 (14.3%)

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、岡村で「バスの便などの地域交通」の割合が、根岸、滝頭、汐見台、杉田で「災害対策」の割合が、屏風ヶ浦で「防犯対策」の割合が高くなっています。また、磯子、汐見台、上笹下、洋光台で「高齢者福祉」の割合が高くなっています。

単位：％

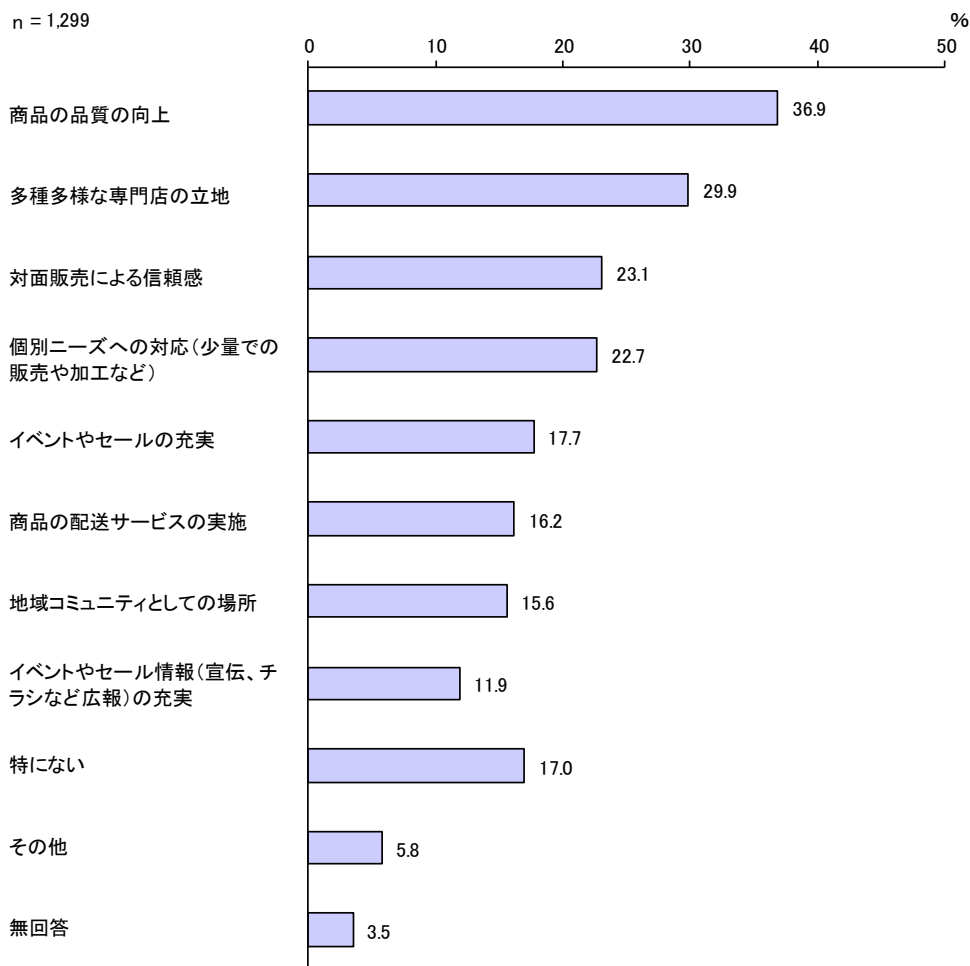
区分	有効回答数(件)	バスの便などの地域交通	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	放置自転車、交通安全対策	環境の整備	商店街の振興	公園の管理、整備	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	地球温暖化への対策	災害対策	防犯対策
根岸	103	13.6	14.6	11.7	10.7	20.4	11.7	2.9	6.8	—	33.0	23.3
滝頭	93	12.9	24.7	15.1	5.4	14.0	7.5	5.4	6.5	2.2	29.0	24.7
岡村	97	27.8	20.6	8.2	—	8.2	10.3	4.1	10.3	4.1	24.7	22.7
磯子	234	15.8	16.7	6.8	4.7	17.5	5.6	7.7	9.8	4.7	28.2	22.2
汐見台	69	24.6	17.4	2.9	2.9	14.5	8.7	13.0	7.2	2.9	27.5	21.7
屏風ヶ浦	240	13.3	19.2	8.8	7.9	15.8	8.3	12.9	12.5	3.8	26.3	27.1
杉田	172	15.1	23.8	9.3	4.1	8.1	9.9	10.5	11.0	2.3	30.2	23.8
上笹下	115	15.7	12.2	5.2	4.3	8.7	10.4	8.7	8.7	3.5	31.3	25.2
洋光台	159	14.5	10.7	13.2	1.3	20.8	5.7	6.3	13.2	4.4	29.6	27.0

区分	視・指導 食品衛生・環境衛生の監	育成 子育て支援や青少年の健全	健康推進 感染症・生活習慣病など保	高齢者福祉	障害者福祉	護 経済的に困っている人の保	地域活動支援	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	身近な住民窓口サービス	誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	無回答
根岸	4.9	16.5	4.9	28.2	8.7	4.9	7.8	9.7	3.9	17.5	13.6	7.8
滝頭	4.3	18.3	1.1	25.8	7.5	6.5	5.4	4.3	3.2	10.8	11.8	16.1
岡村	5.2	17.5	5.2	23.7	10.3	9.3	7.2	5.2	3.1	13.4	8.2	14.4
磯子	7.3	20.9	5.1	29.5	5.6	9.0	3.8	7.7	7.3	15.8	17.9	8.5
汐見台	5.8	26.1	5.8	27.5	8.7	10.1	1.4	2.9	4.3	8.7	10.1	11.6
屏風ヶ浦	4.6	19.6	5.0	22.5	6.3	6.7	3.8	7.5	6.7	15.0	15.0	8.3
杉田	3.5	14.5	5.2	29.1	8.1	7.0	5.2	5.8	8.1	16.9	11.6	11.0
上笹下	4.3	14.8	5.2	37.4	13.9	7.8	7.0	4.3	3.5	8.7	19.1	12.2
洋光台	4.4	17.6	5.0	30.2	7.5	6.9	2.5	7.5	4.4	17.6	6.9	10.7

5 商店街について

問 15 あなたが、地元の商店街に対して希望することは、どのようなことですか。
(〇はいくつでも)

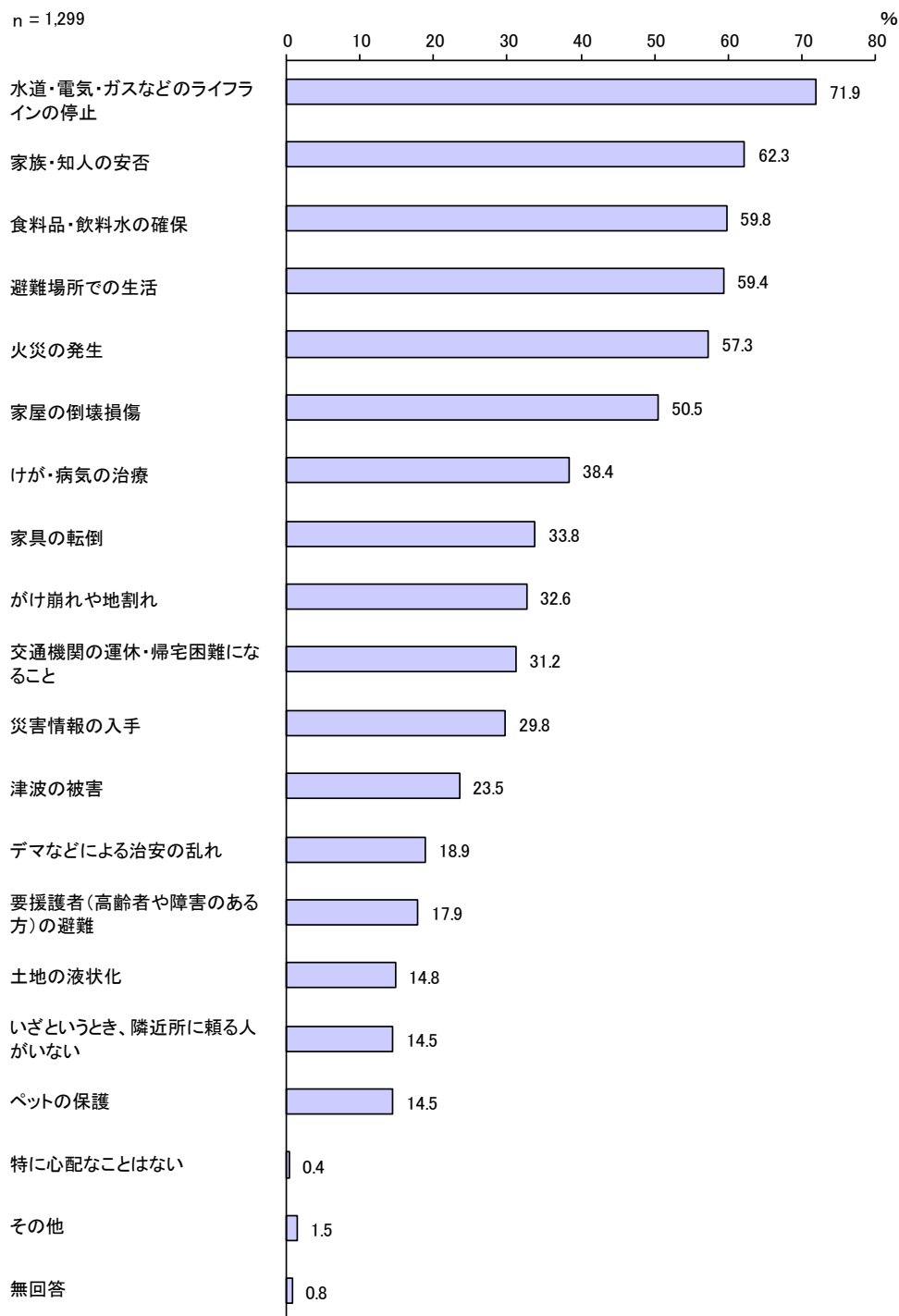
「商品の品質の向上」の割合が36.9%と最も高く、次いで「多種多様な専門店の立地」の割合が29.9%、「対面販売による信頼感」の割合が23.1%となっています。



6 災害対策について

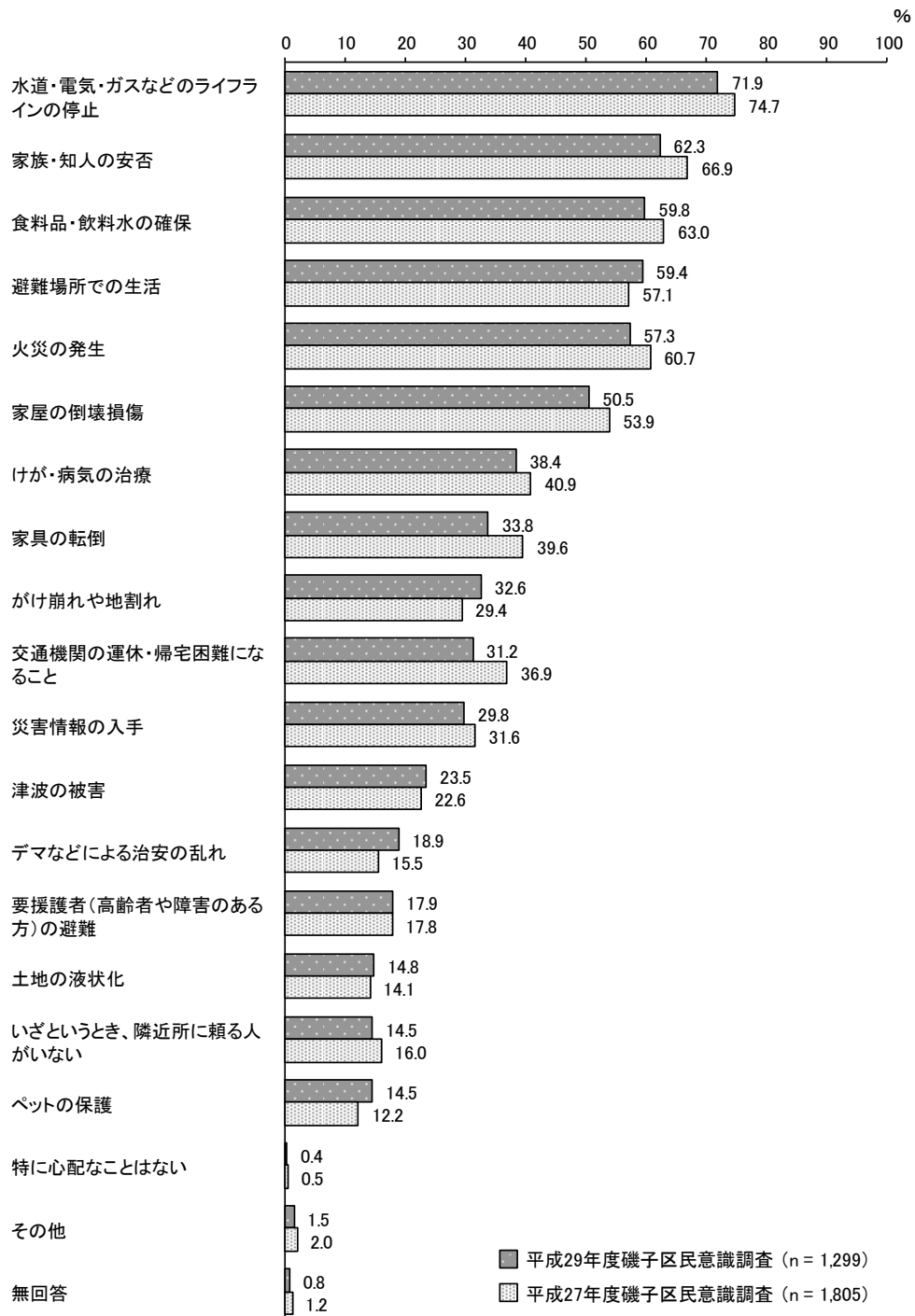
問 16 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことをあげてください。(〇はいくつでも)

「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」の割合が71.9%と最も高く、次いで「家族・知人の安否」の割合が62.3%、「食料品・飲料水の確保」の割合が59.8%となっています。



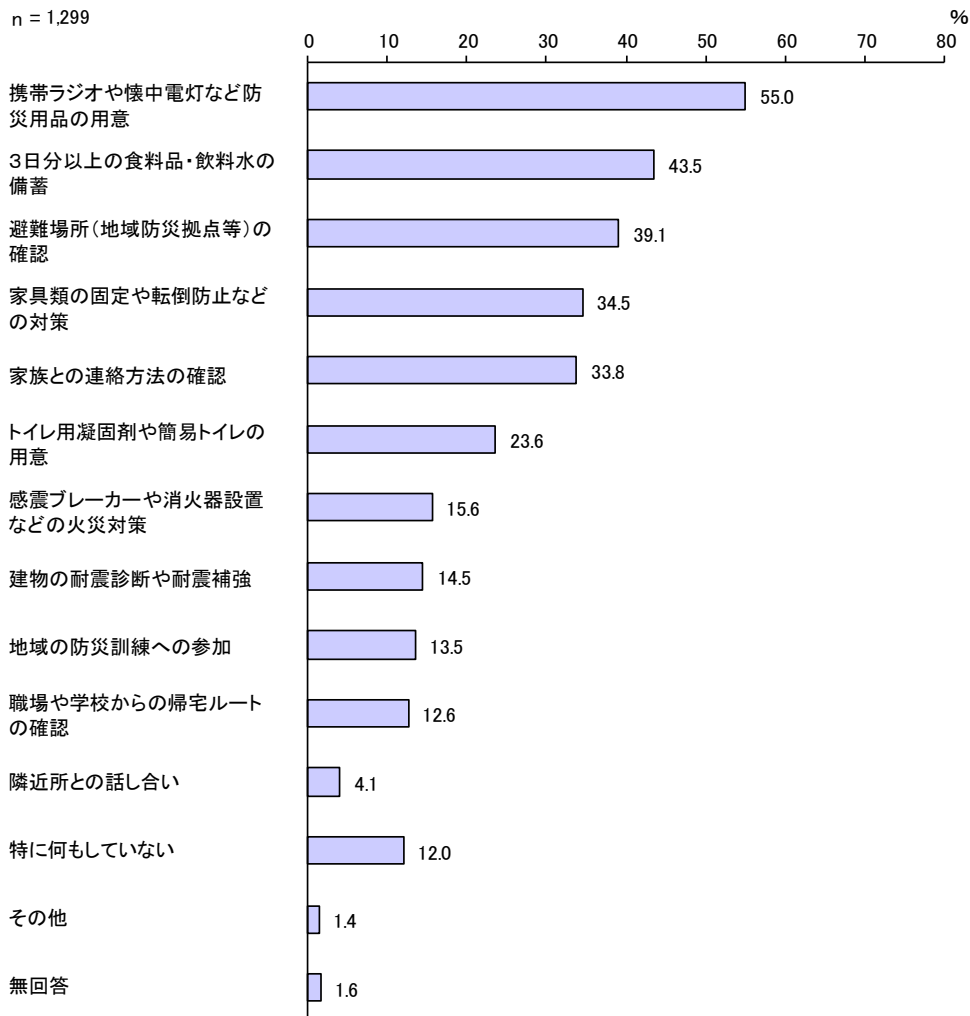
【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、「家具の転倒」「交通機関の運休・帰宅困難になること」の割合が低くなっています。



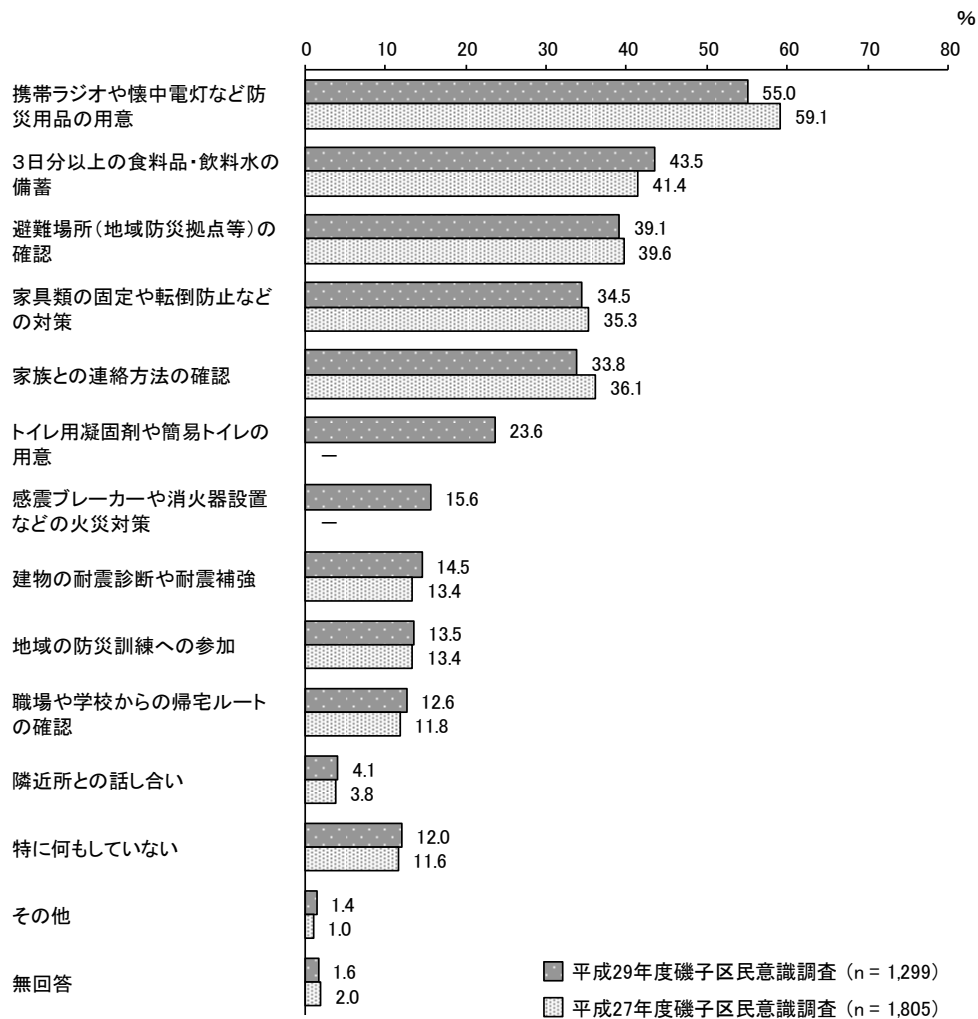
問17 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。
(〇はいくつでも)

「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」の割合が55.0%と最も高く、次いで「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」の割合が43.5%、「避難場所（地域防災拠点等）の確認」の割合が39.1%となっています。



【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、大きな差異はみられません。



※平成 27 年度調査では、「感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策」「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」の選択肢はありません。

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「家具類の固定や転倒防止などの対策」「感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策」「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」「地域の防災訓練への参加」の割合が高くなる傾向がみられます。

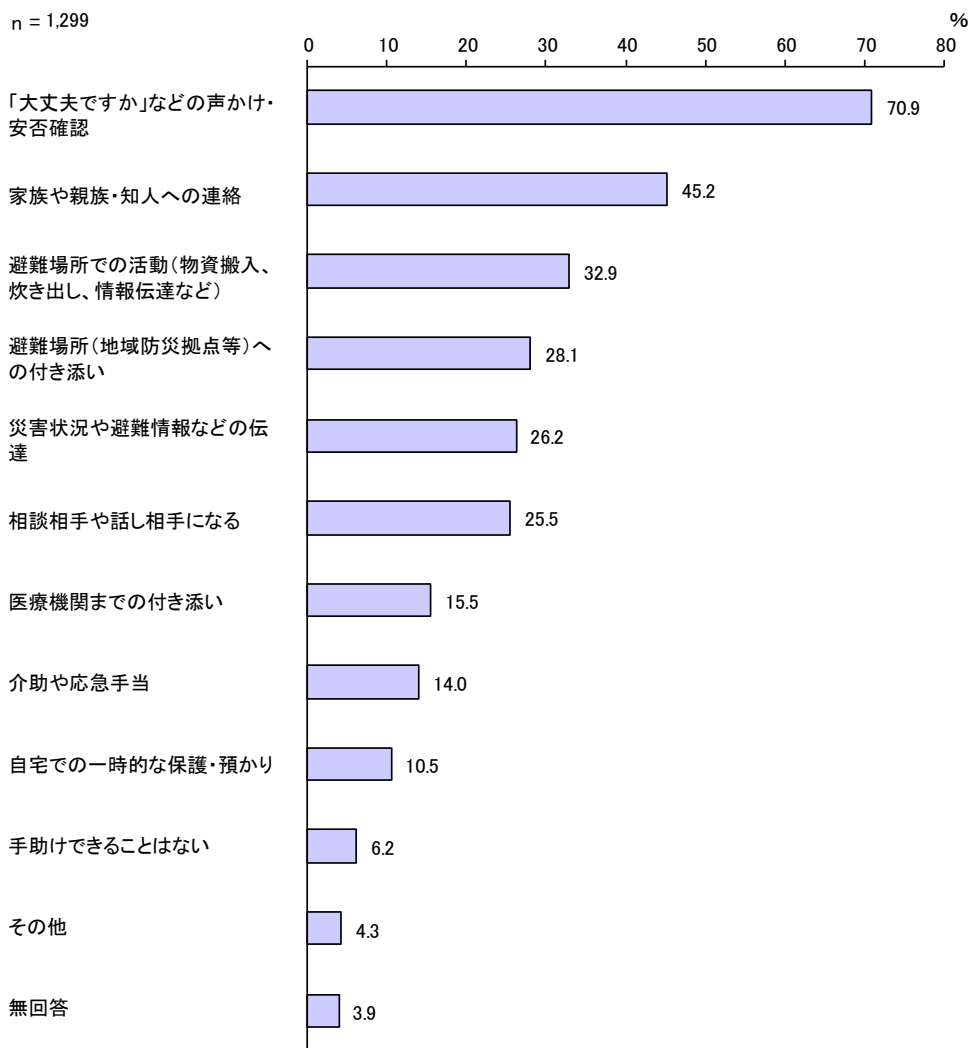
単位：%

区分	有効回答数(件)	建物の耐震診断や耐震補強	家具類の固定や転倒防止などの対策	感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策	家族との連絡方法の確認	避難場所(地域防災拠点等)の確認	携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意	トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意	3日分以上の食料品・飲料水の備蓄	地域の防災訓練への参加	隣近所との話し合い	職場や学校からの帰宅ルートの確認	特に何もしていない	その他	無回答
20代以下	91	9.9	29.7	7.7	27.5	35.2	37.4	9.9	27.5	4.4	—	24.2	20.9	2.2	1.1
30代	183	16.9	32.2	9.3	27.9	38.8	41.5	19.1	31.1	7.1	1.1	24.0	19.7	0.5	1.1
40代	207	13.0	33.8	9.7	37.2	39.6	51.2	23.7	38.2	11.1	1.4	23.7	15.0	1.0	—
50代	199	12.6	33.2	16.6	36.7	41.7	50.8	25.1	45.2	10.1	2.0	11.1	8.5	1.5	—
60代	249	12.9	31.7	16.9	36.9	40.2	62.2	23.7	43.8	14.9	6.0	6.4	10.8	1.2	1.2
70代以上	354	17.8	40.4	22.6	32.8	37.6	67.5	29.4	56.5	22.0	7.6	2.3	6.2	1.7	4.0

《区役所では、震災等の災害発生を想定して、自治会町内会において要援護者（高齢者・障害者など、避難に支援を必要とする方）の情報を把握することや、具体的な支援体制が整備されることを目指して取組を進めています。》

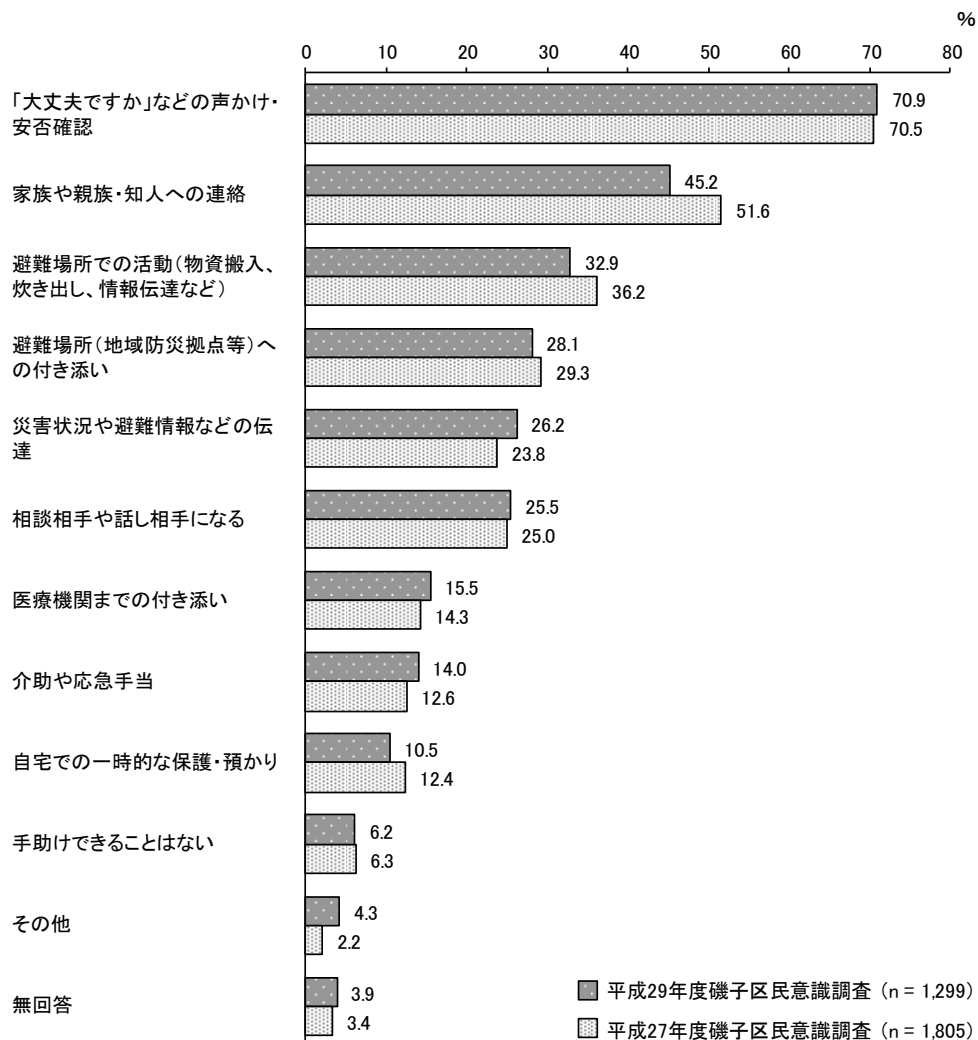
問 18 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができそうだと思いますか。（〇はいくつでも）

「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「家族や親族・知人への連絡」の割合が 45.2%、「避難場所での活動（物資搬入、炊き出し、情報伝達など）」の割合が 32.9%となっています。



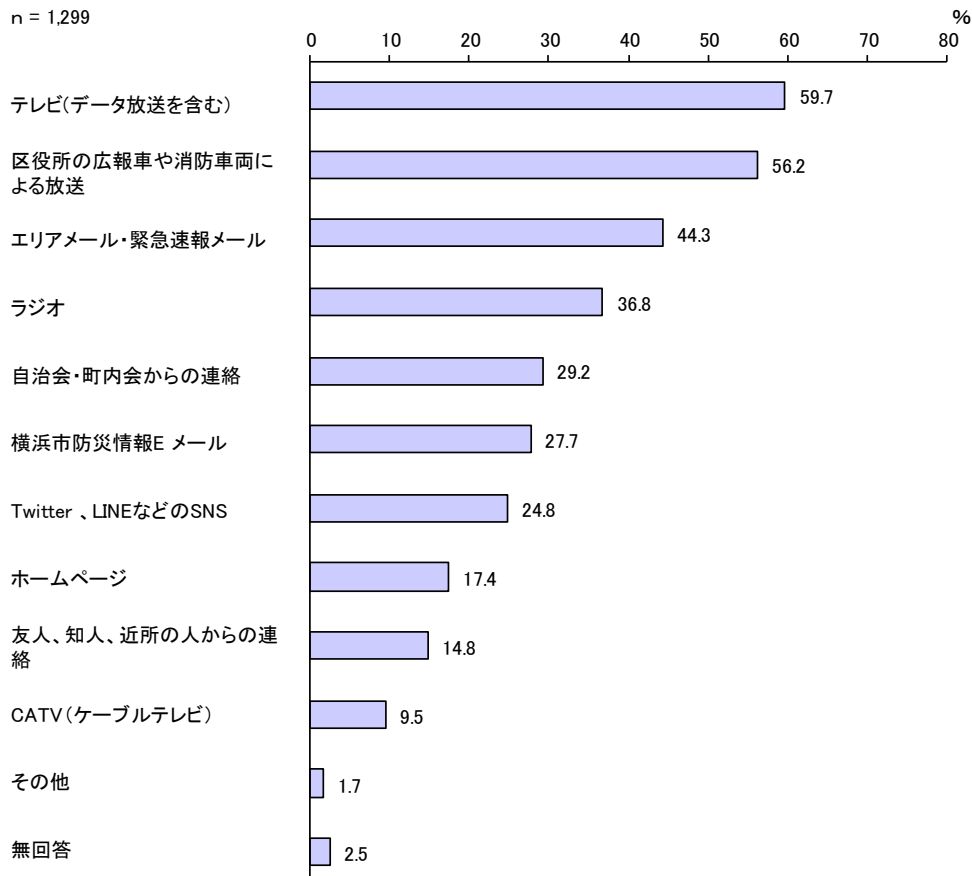
【前回との比較】

平成 27 年度調査の結果と比較すると、「家族や親族・知人への連絡」の割合が低くなっています。



問 19 あなたは、豪雨や台風が発生している場合の避難に関する情報（「避難勧告」「避難指示（緊急）」など）について、どのような手段で入手できたらよいと思いますか。（〇はいくつでも）

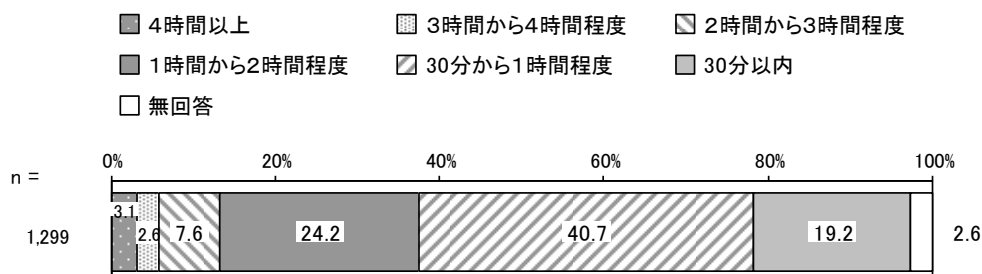
「テレビ(データ放送を含む)」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「区役所の広報車や消防車両による放送」の割合が 56.2%、「エリアメール・緊急速報メール」の割合が 44.3%となっています。



7 あなたの健康づくりについて

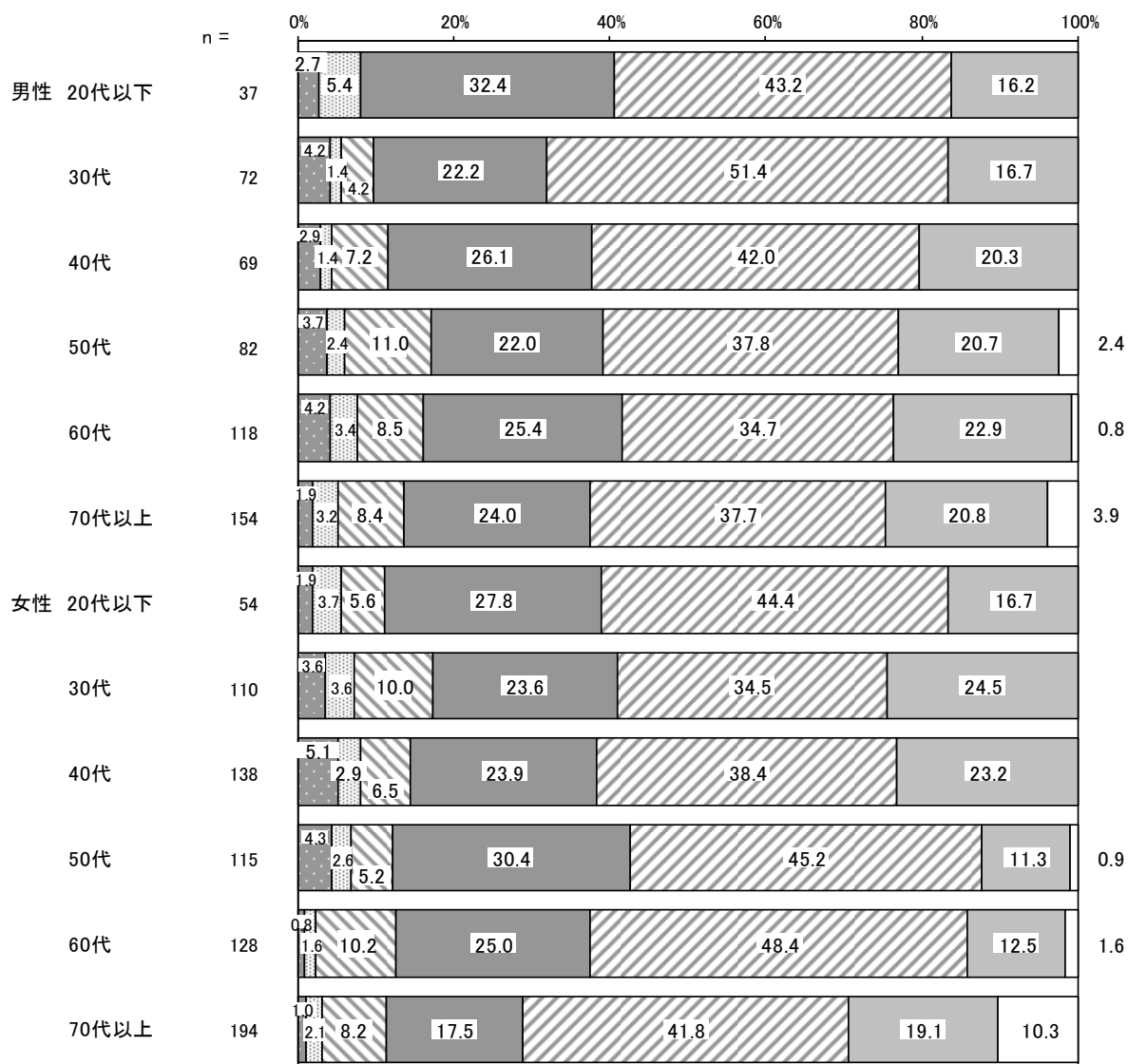
問 20 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか（通勤・通学、買い物など含む）。
（○は1つ）

「30分から1時間程度」の割合が40.7%と最も高く、次いで「1時間から2時間程度」の割合が24.2%、「30分以内」の割合が19.2%となっています。



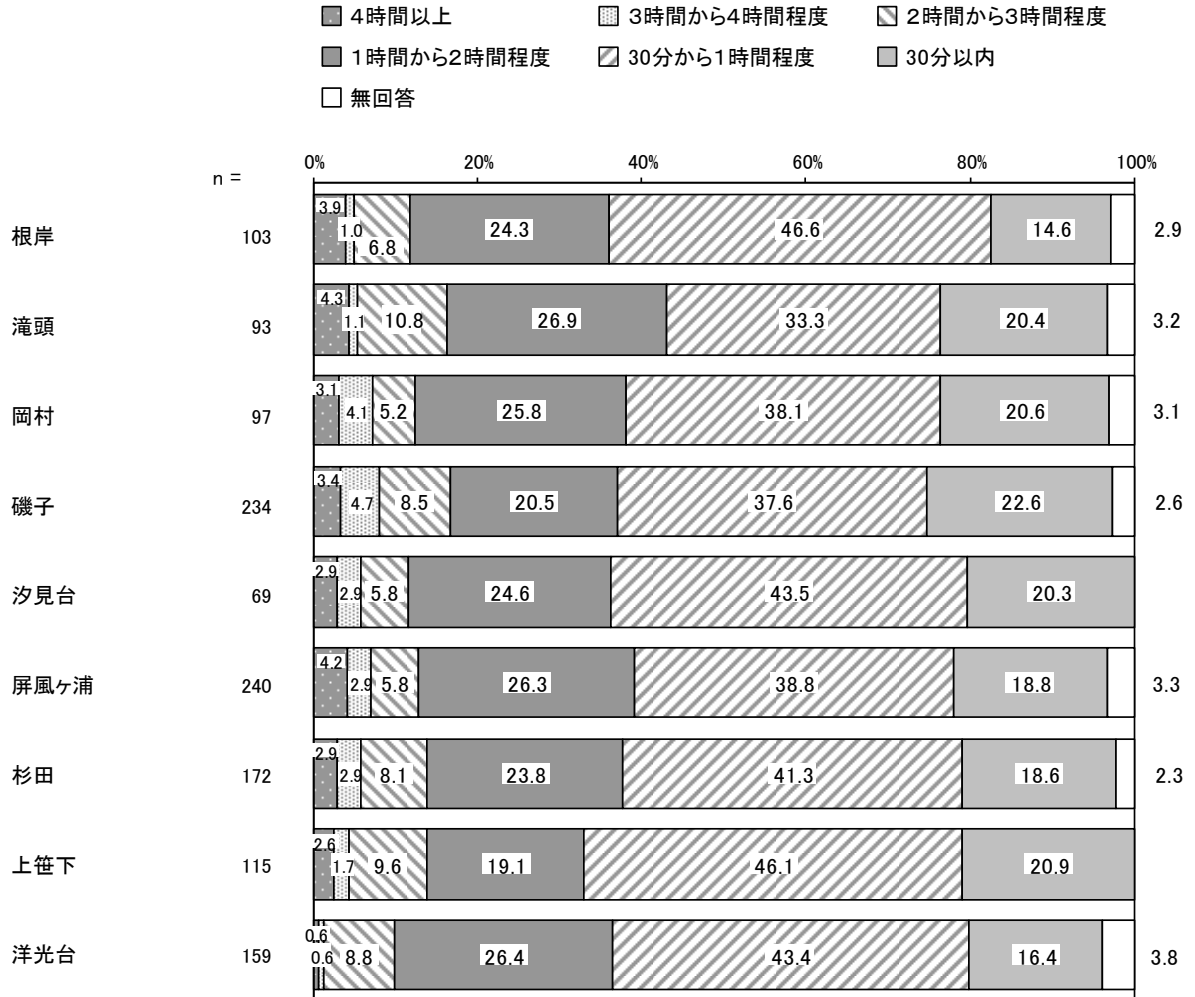
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20代以下、女性の50代で「1時間から2時間程度」の割合が高くなっています。



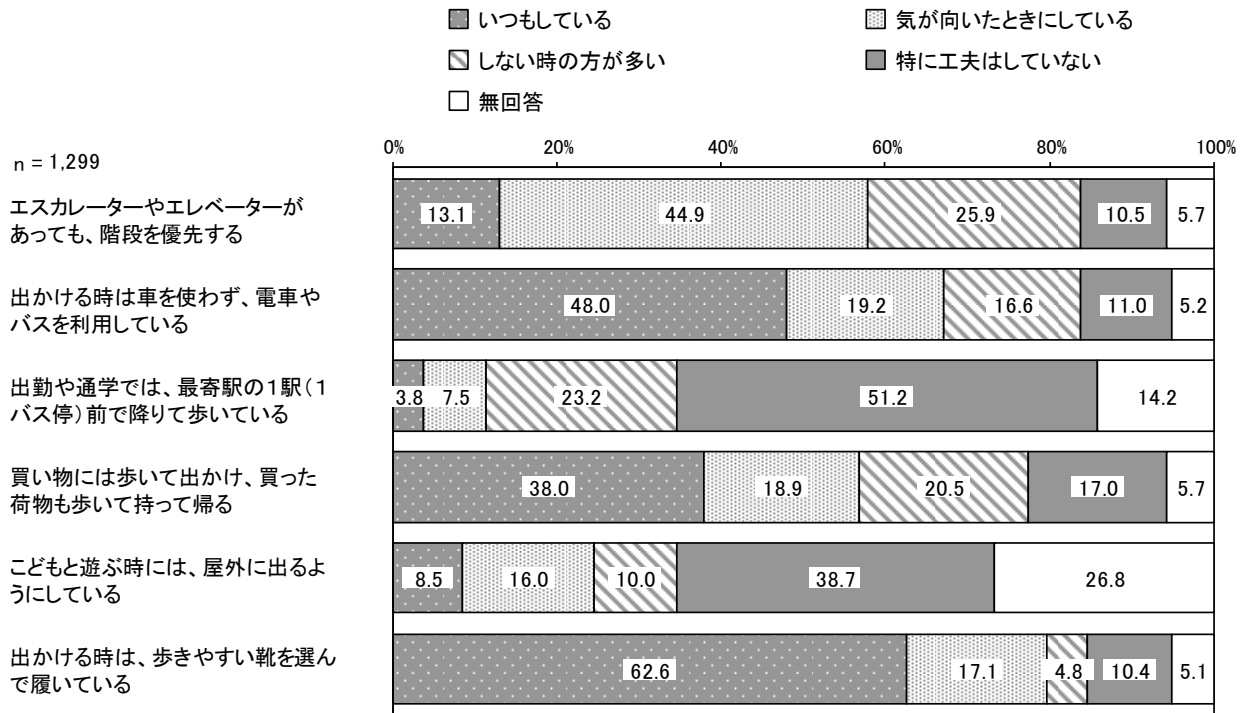
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、根岸、上笹下で「30分から1時間程度」の割合が高くなっています。



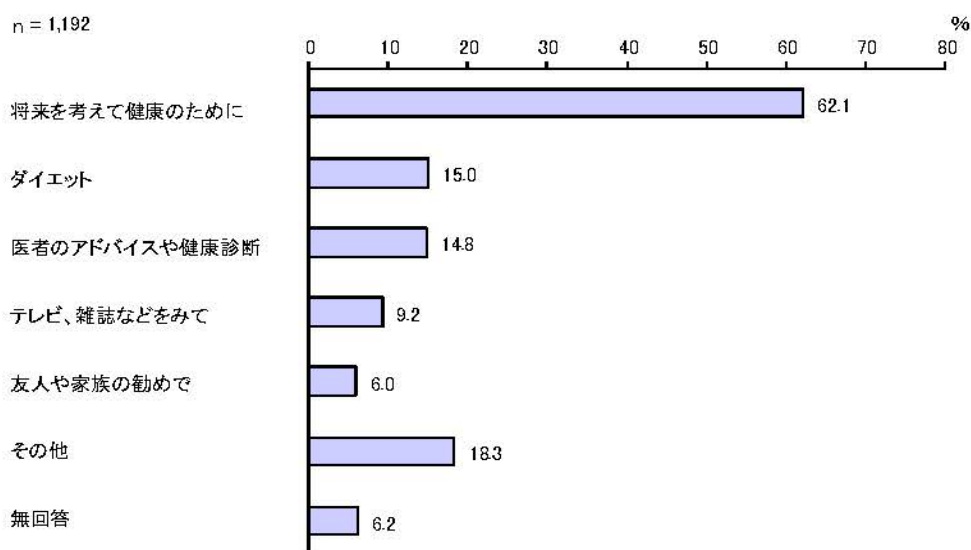
問 21 日常的に歩くことは健康増進によいとされています。あなたは、次にあげた項目をどの程度行っていますか。(○はそれぞれ1つ)

「いつもしている」の割合をみると、「出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いている」が62.6%と最も高く、次いで、「出かける時は車を使わず、電車やバスを利用している」が48.0%、「買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰る」が38.0%となっています。



問 21-1 問 21 でいずれかの項目に「いつもしている」、「気が向いたときにしている」と答えた方にお伺いします。きっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

「将来を考えて健康のために」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「ダイエット」の割合が 15.0%、「医者へのアドバイスや健康診断」の割合が 14.8%となっています。



【性・年代別】

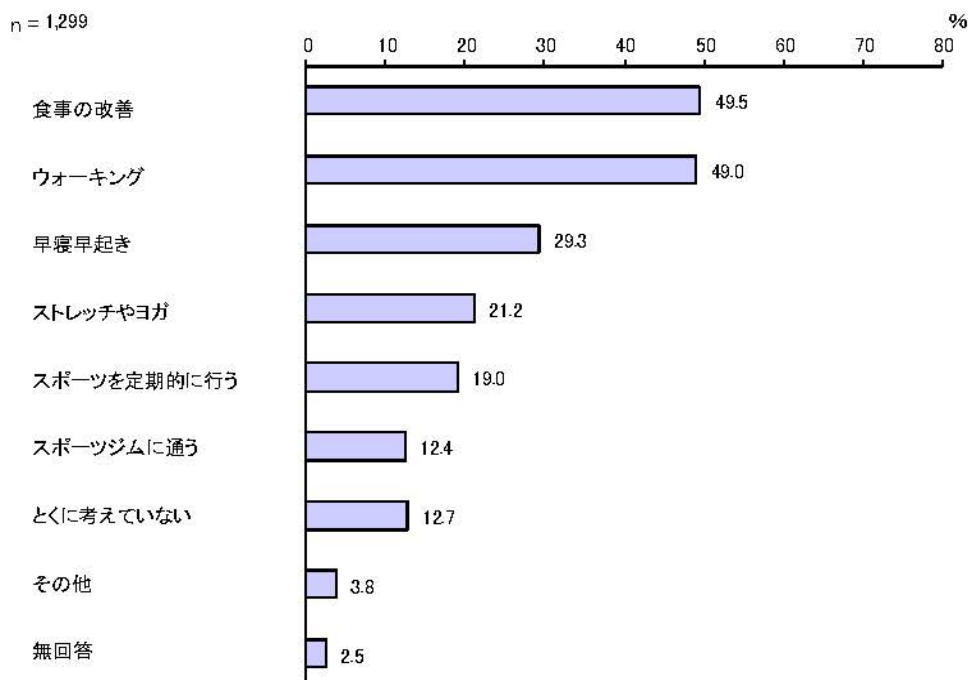
性・年代別で見ると、男女ともに年代が高くなるにつれて「医者へのアドバイスや健康診断」の割合が高くなる傾向がみられます。また、女性では年代が高くなるにつれて「将来を考えて健康のために」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	友人や家族の勧めで	テレビ、雑誌などをみて	ダイエット	将来を考えて健康のために	医者へのアドバイスや健康診断	その他	無回答
男性 20代以下	32	6.3	3.1	15.6	56.3	—	28.1	6.3
30代	66	7.6	7.6	16.7	43.9	10.6	31.8	4.5
40代	63	3.2	4.8	28.6	55.6	7.9	19.0	3.2
50代	67	4.5	4.5	10.4	65.7	20.9	11.9	1.5
60代	103	2.9	6.8	12.6	72.8	21.4	9.7	5.8
70代以上	133	9.0	12.0	6.8	66.2	33.8	9.8	7.5
女性 20代以下	53	7.5	3.8	22.6	41.5	—	37.7	—
30代	108	0.9	4.6	25.0	49.1	6.5	29.6	7.4
40代	134	5.2	9.7	20.1	59.0	8.2	22.4	4.5
50代	113	4.4	9.7	18.6	69.0	5.3	19.5	6.2
60代	122	4.1	11.5	15.6	68.9	18.0	13.9	9.0
70代以上	176	11.9	15.9	5.7	69.9	21.0	8.5	9.7

問 22 今後、どのような健康づくりを考えていますか。(〇はいくつでも)

「食事の改善」の割合が49.5%と最も高く、次いで「ウォーキング」の割合が49.0%、「早寝早起き」の割合が29.3%となっています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では年代が低くなるにつれて「スポーツを定期的に行う」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ウォーキング	スポーツジムに通う	ストレッチやヨガ	スポーツを定期的に行う	早寝早起き	食事の改善	とくに考えていない	その他	無回答
男性 20代以下	37	32.4	27.0	8.1	32.4	27.0	35.1	18.9	2.7	2.7
30代	72	29.2	12.5	8.3	31.9	19.4	47.2	18.1	1.4	—
40代	69	49.3	27.5	8.7	24.6	21.7	52.2	8.7	4.3	—
50代	82	45.1	9.8	11.0	26.8	18.3	47.6	15.9	2.4	2.4
60代	118	55.9	10.2	4.2	16.1	27.1	46.6	18.6	3.4	2.5
70代以上	154	61.7	7.1	11.7	13.0	28.6	39.6	10.4	4.5	5.8
女性 20代以下	54	40.7	13.0	37.0	20.4	46.3	53.7	9.3	1.9	—
30代	110	42.7	16.4	38.2	20.0	27.3	49.1	11.8	—	0.9
40代	138	42.8	10.1	47.1	21.7	28.3	60.9	10.9	2.9	—
50代	115	51.3	19.1	33.0	14.8	30.4	55.7	12.2	0.9	0.9
60代	128	58.6	9.4	25.8	18.8	35.9	57.0	10.9	3.9	0.8
70代以上	194	51.0	7.2	13.9	12.9	35.1	47.9	12.4	10.3	5.2

8 その他（自由意見について）

区役所に対する意見・提案や、お住まいの地域を良くするための意見・提案について、自由記述形式でたずねたところ、411人の方から計461件の有効回答がありました。自由意見の主な内容を「横浜市の広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」に従って整理すると、意見の多かった項目としては、「交通・道路」が97件と最も多く、次いで、「経済・産業」が49件、「市民利用施設」が47件でした。

内容（分類別）	件数	内容（分類別）	件数	内容（分類別）	件数
子育て	16	戸籍・税金・保険・年金	5	交通・道路	97
子育て支援	9	税金	2	総合交通対策	3
保育園	3	保険・年金	3	鉄道	8
放課後児童育成	2	市民利用施設	47	バス	29
子育て助成・給付	2	公園	21	道路	29
教育	5	スポーツ施設	9	駐車・駐輪	15
教育内容	1	公会堂・地区センター	3	交通安全対策	13
通学	4	コミュニティハウス	1	上下水道	3
福祉	25	図書館	4	下水道	3
高齢者福祉	9	市・区庁舎	2	都市経営・運営	15
障害者福祉	7	その他の市民利用施設	7	計画・調査	7
生活保護・援護対策	5	文化・スポーツ	7	行政改革・組織	6
バリアフリーの推進	3	文化	7	財政	1
福祉相談体制	1	市民活動	13	国際交流・国際協力	1
保健・衛生・医療	7	市民活動・生涯学習	5	広報・広聴・市民相談・情報公開	13
保健	3	自治会・町内会	8	広報・広聴・市民相談	6
衛生	1	防犯・防災・消防	28	情報公開	7
医療	3	防犯	19	職員（教職員を除く）	31
ごみ・リサイクル	16	防災・消防	9	市民応対	30
ごみ収集	7	観光・シティセールス	2	人事	1
ごみ処理	4	観光	1	選挙	1
まちの美化	5	シティセールス	1	選挙	1
公害・環境保全・緑	42	経済・産業	49	その他	39
環境汚染	16	産業振興	34	その他	39
騒音振動	7	土地利用	12		
環境保全対策	2	建築指導	2		
緑地保全・緑化推進	9	都市景観	1		
野生動物対策	8				

